

# 令和4年度 枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

次枚方市健康増進計画時期計画及び枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

### 2. 調査設計

- (1) 調査地域 枚方市全域
- (2) 調査対象 16歳以上の市民
- (3) 標本数 3,500人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

### 3. 調査期間

令和4年12月16日（金）から令和5年2月10日（金）

### 4. 調査方法

郵送による配布・回収  
インターネットによるウェブ回答

### 5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,500通	1,169通	33.4%

### 6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略している場合があります。

## Ⅱ 調査結果の分析

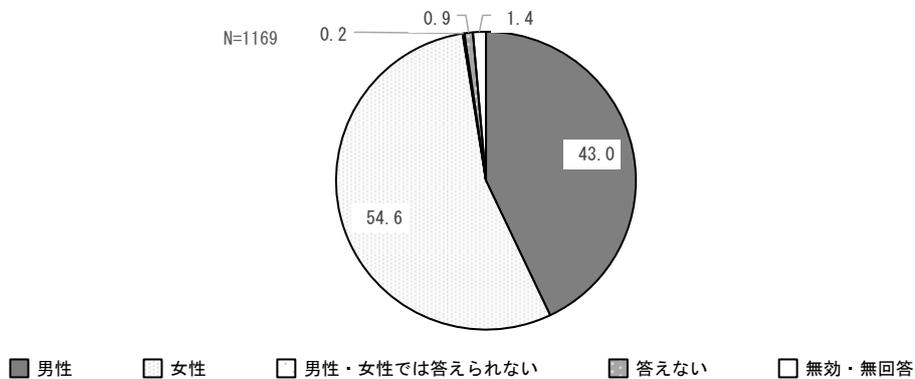
### 1. 回答者の属性について

あなたの性別、年齢をご記入ください。

#### (1) 性別

男性の割合が 43.0%、女性の割合が 54.6%となっており、女性の方が多い構成となっている。

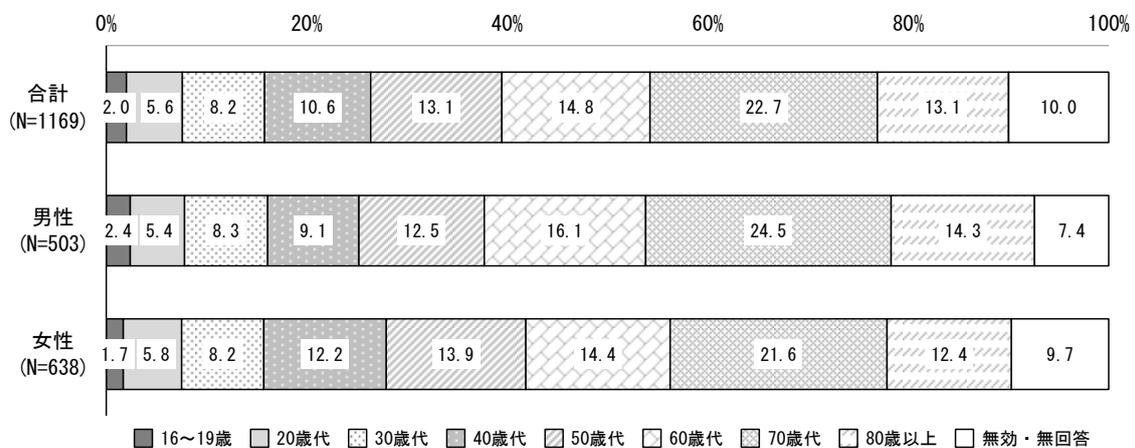
<性別（全体）>



#### (2) 年齢

「70歳代」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が 14.8%、「50歳代」及び「80歳以上」の割合がそれぞれ 13.1%となっており、回答者の約半数が 60歳以上となっている。性別では、ほとんど差はみられない

<年齢（全体、性別）>



あなたの身長と体重をご記入ください。

身長と体重から算出したBMI判定に基づき体格をみていく。

BMI：体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) で算出される値で、体格の状況を示す指数のひとつ。  
 18.5 未満で「やせ」、18.5 以上 25 未満で「標準」、25 以上で「肥満」と判定する。

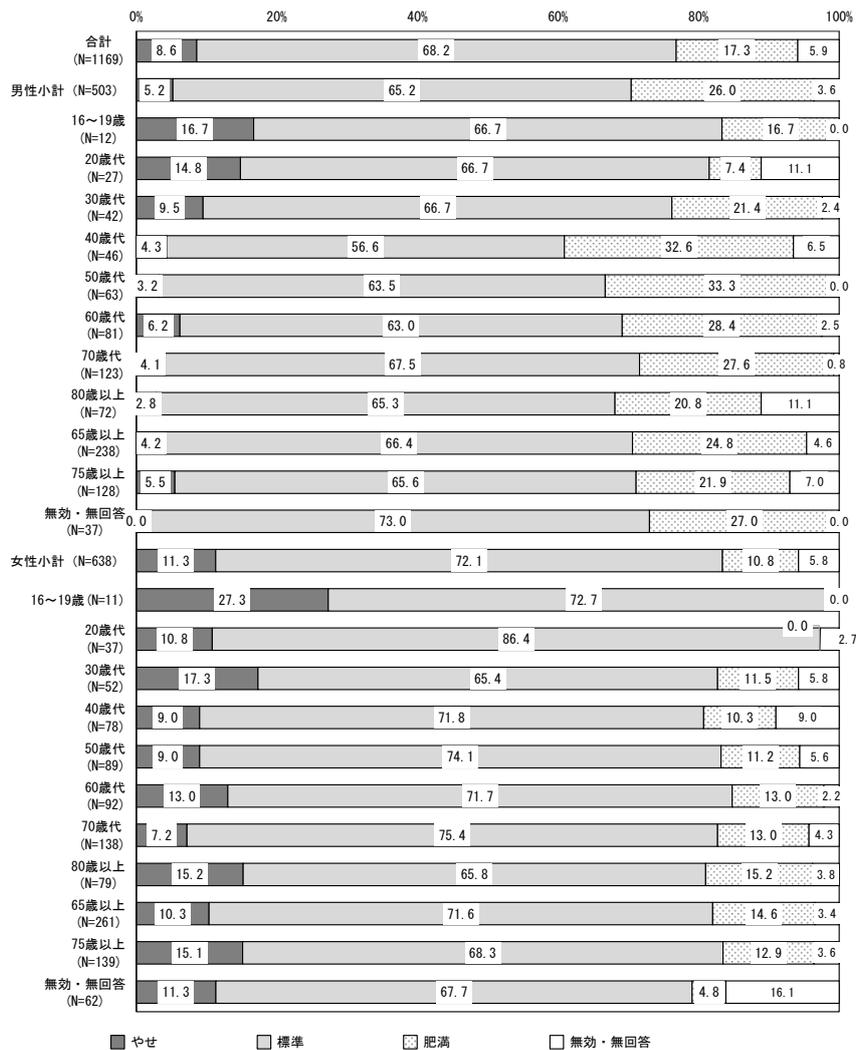
**【全体】**

「肥満」の割合が17.3%、「やせ」の割合が8.6%となっている。

**【性・年齢別】**

「肥満」の割合が高いのは、男性の40歳代、50歳代、60歳代で、約3人に1人以上が「肥満」となっている。一方、「やせ」の割合が高いのは男性の16～19歳、女性の16～19歳、30歳代で約5人に1人が「やせ」となっている。男女を比較すると、男性は若い世代から「肥満」がみられ、どの年齢層でも女性よりも「肥満」の割合が高い。

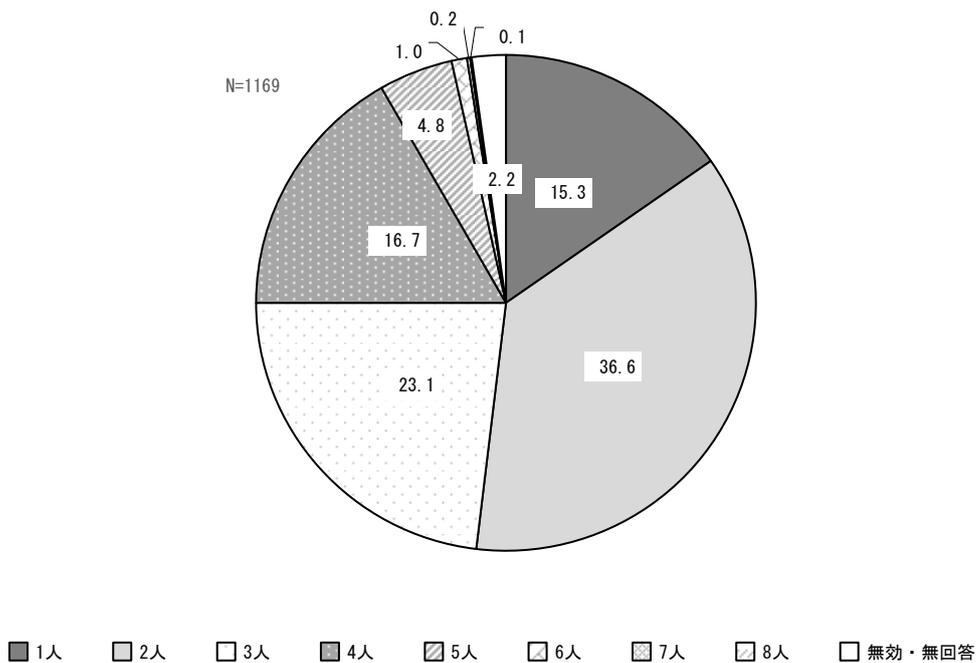
＜体格（全体、性・年齢別）＞



ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方は、あなたを含めて何人ですか。

同居家族人数（本人を含む）は、「2人」の割合が36.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.1%、「4人」の割合が16.7%となっている。

<同居家族（全体）>



あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。

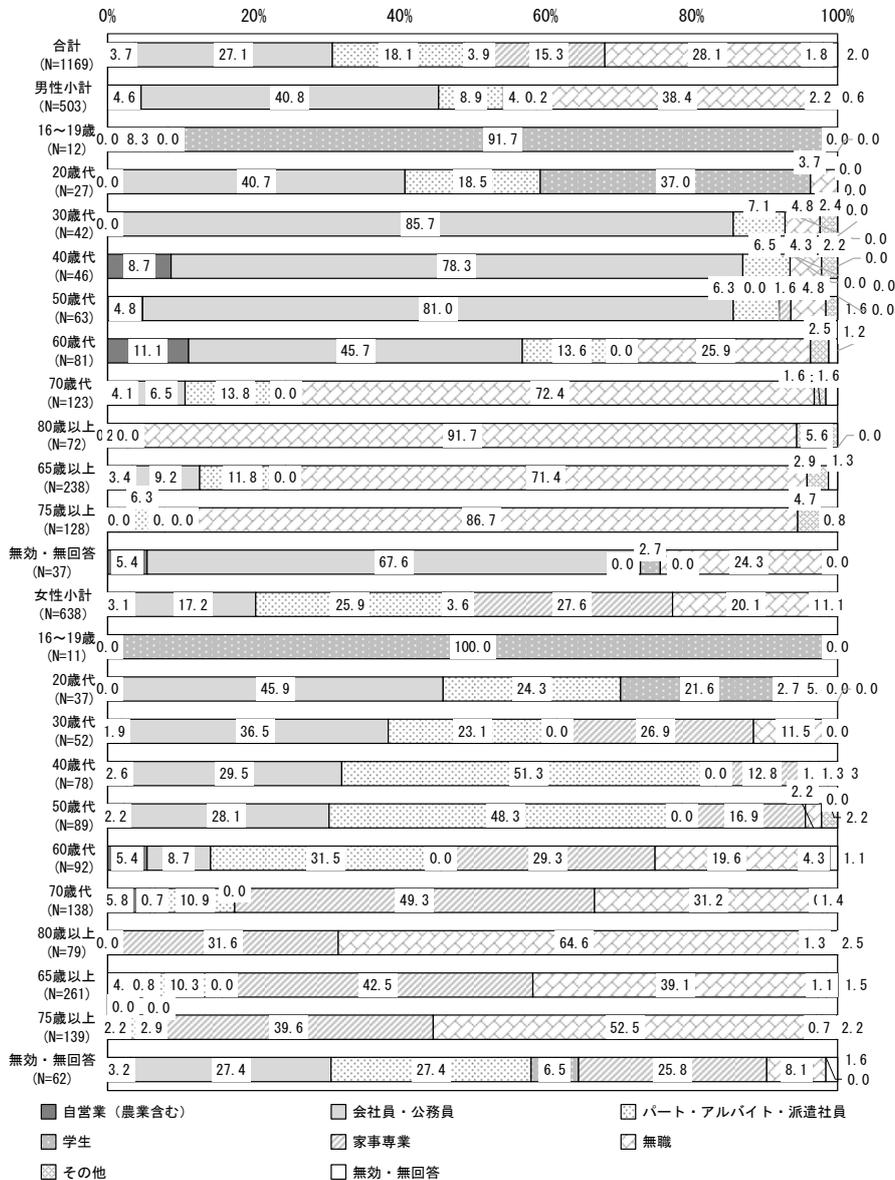
【全体】

職業は、「無職」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「会社員・公務員」の割合が 27.1%、「パート・アルバイト・派遣社員」の割合が 18.1%となっている。

【性・年齢別】

16～19 歳は、男女とも「学生」の割合が最も高く 9 割以上を占めている。男性の 20 歳代～60 歳代、女性の 20 歳代、30 歳代は、「会社員・公務員」の割合が最も高く、女性の 40 歳代～60 歳代は「パート・アルバイト・派遣社員」の割合が最も高い。男性の 70 歳代～80 歳以上、女性の 80 歳以上は「無職」の割合が最も高い。

<職業（全体、性・年齢別）>



問1-1 現在の健康状態はいかがですか。

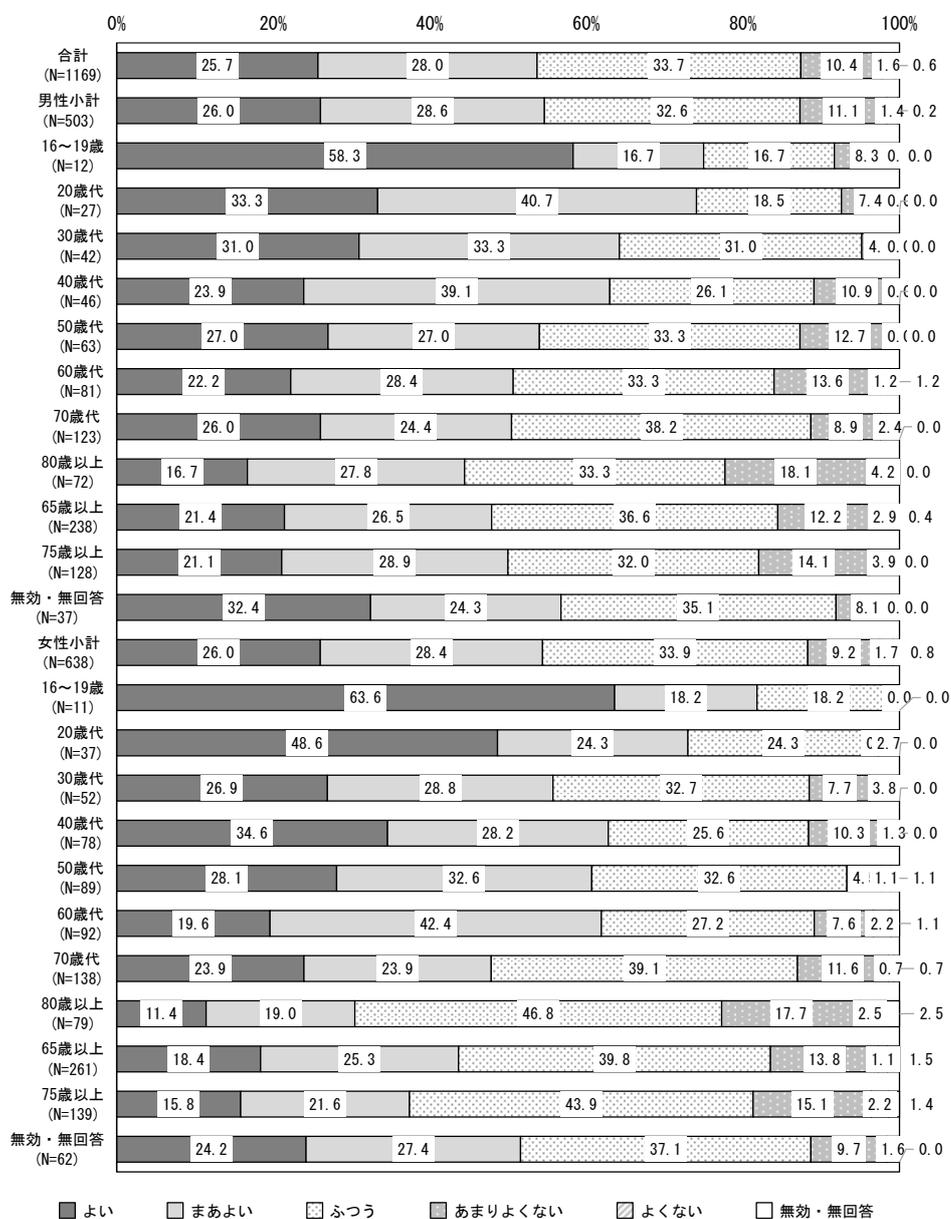
【全体】

「ふつう」の割合が33.7%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が28.0%、「よい」の割合が25.7%となっている。

【性・年齢別】

「よくない」「あまりよくない」の割合が高いのは、男女とも80歳以上で約5人に1人以上が「よくない」「あまりよくない」となっている。男性は、年齢が低いほど「よい」「まあよい」の割合が高いが、女性は30歳代におけるそれらの割合がやや低い。

<健康状態（全体、性・年齢別）>



問1-2 コロナ流行直前（令和2年（2020年）以前）の健康状態はいかがでしたか。

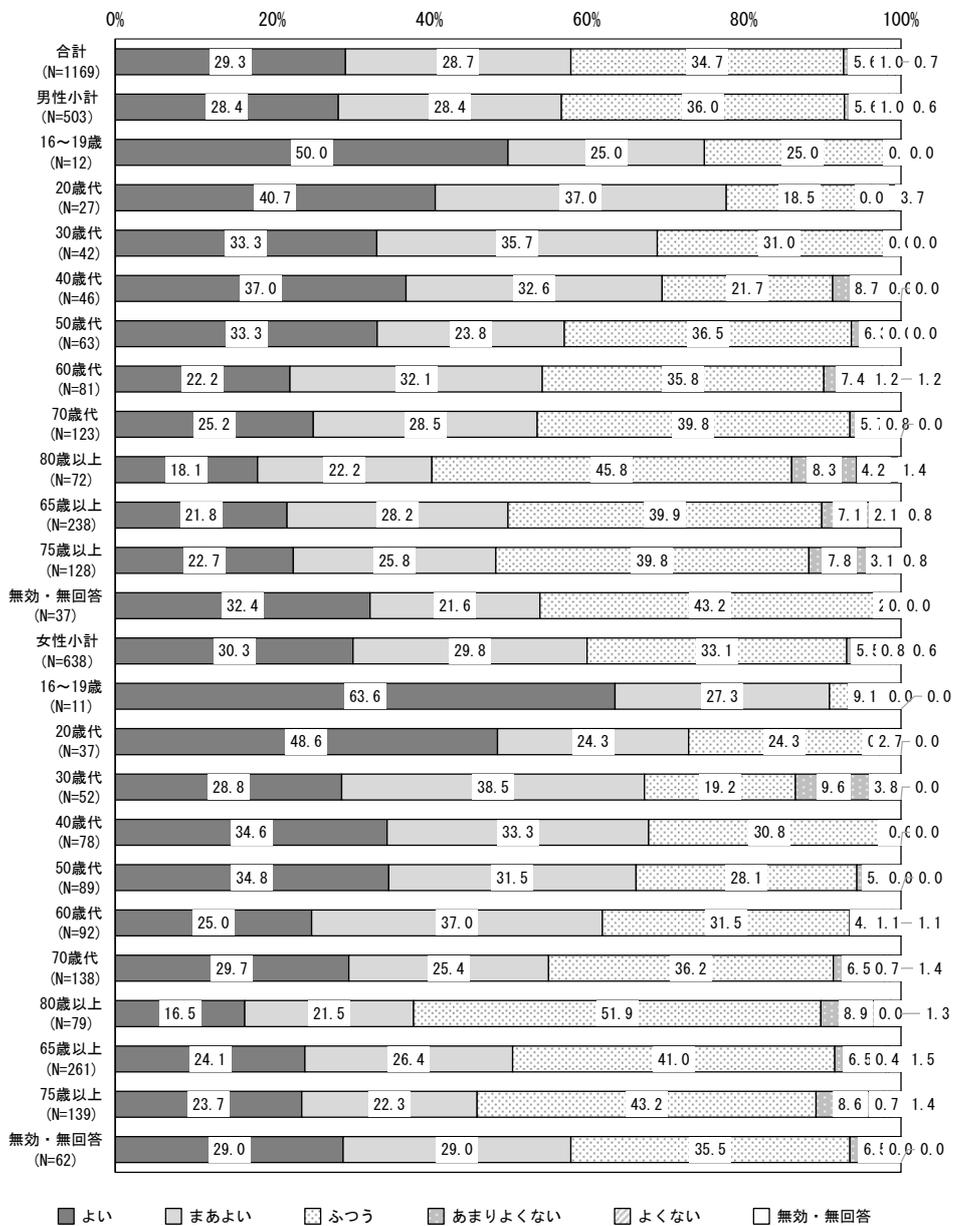
【全体】

「ふつう」の割合が34.7%と最も高く、次いで「よい」の割合が29.3%、「まあよい」の割合が28.7%となっている。

【性・年齢別】

「よくない」「あまりよくない」の割合が高いのは、男女とも80歳以上で約1割が「よくない」「あまりよくない」と回答している。男女とも30歳代の「よい」の割合がやや低い。

<健康状態（全体、性・年齢別）>



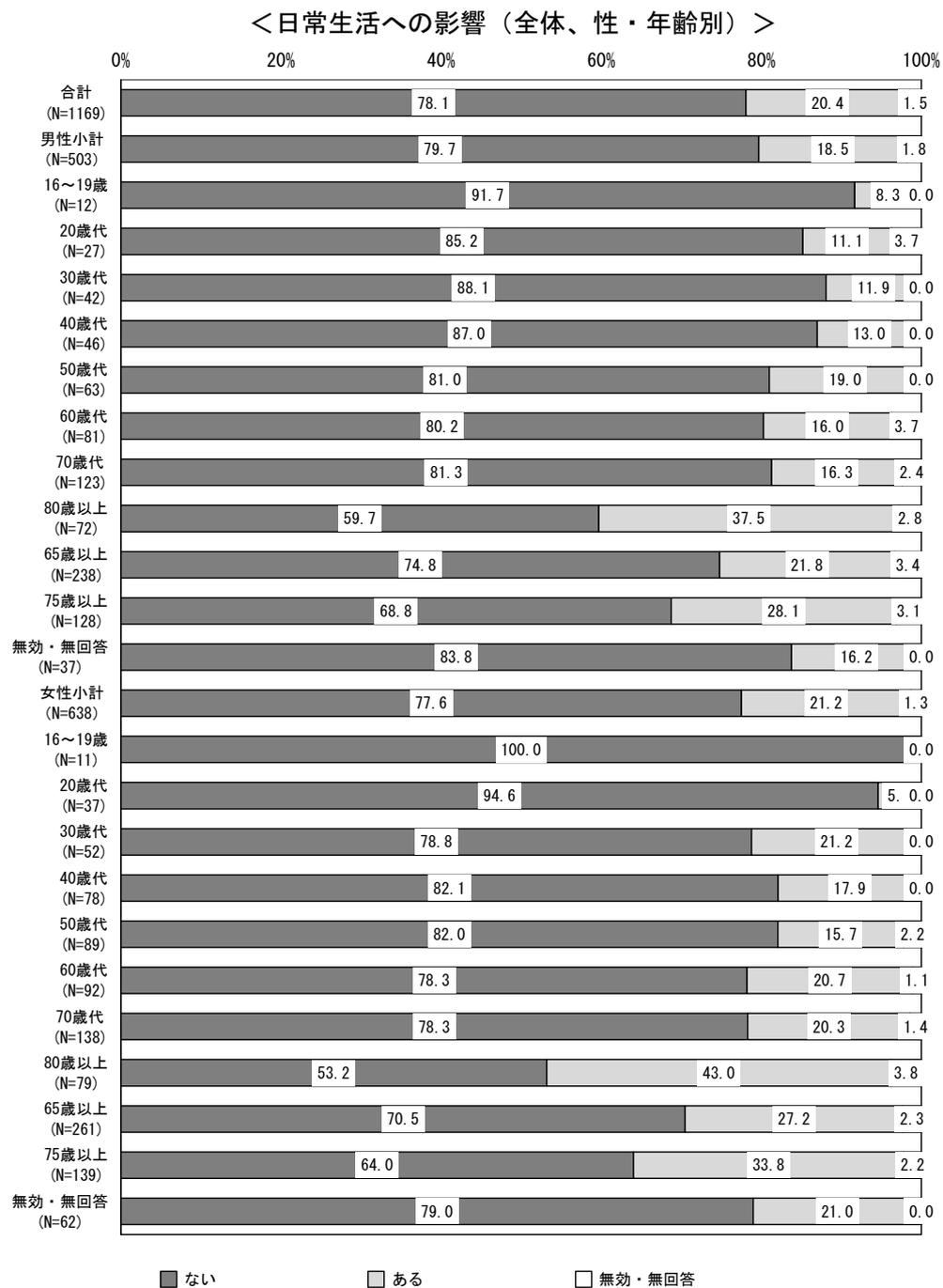
問2 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

【全体】

「ない」の割合が78.1%と最も高く、次いで「ある」の割合が20.4%となっている。

【性・年齢別】

男女とも10歳代から70歳代までは、7割以上が「ない」と回答しているが、80歳以上になると「ない」の割合は約6割になっている。



問3 過去30日間に、身体の病気やけがで、身体の健康がすぐれないことがありましたか。

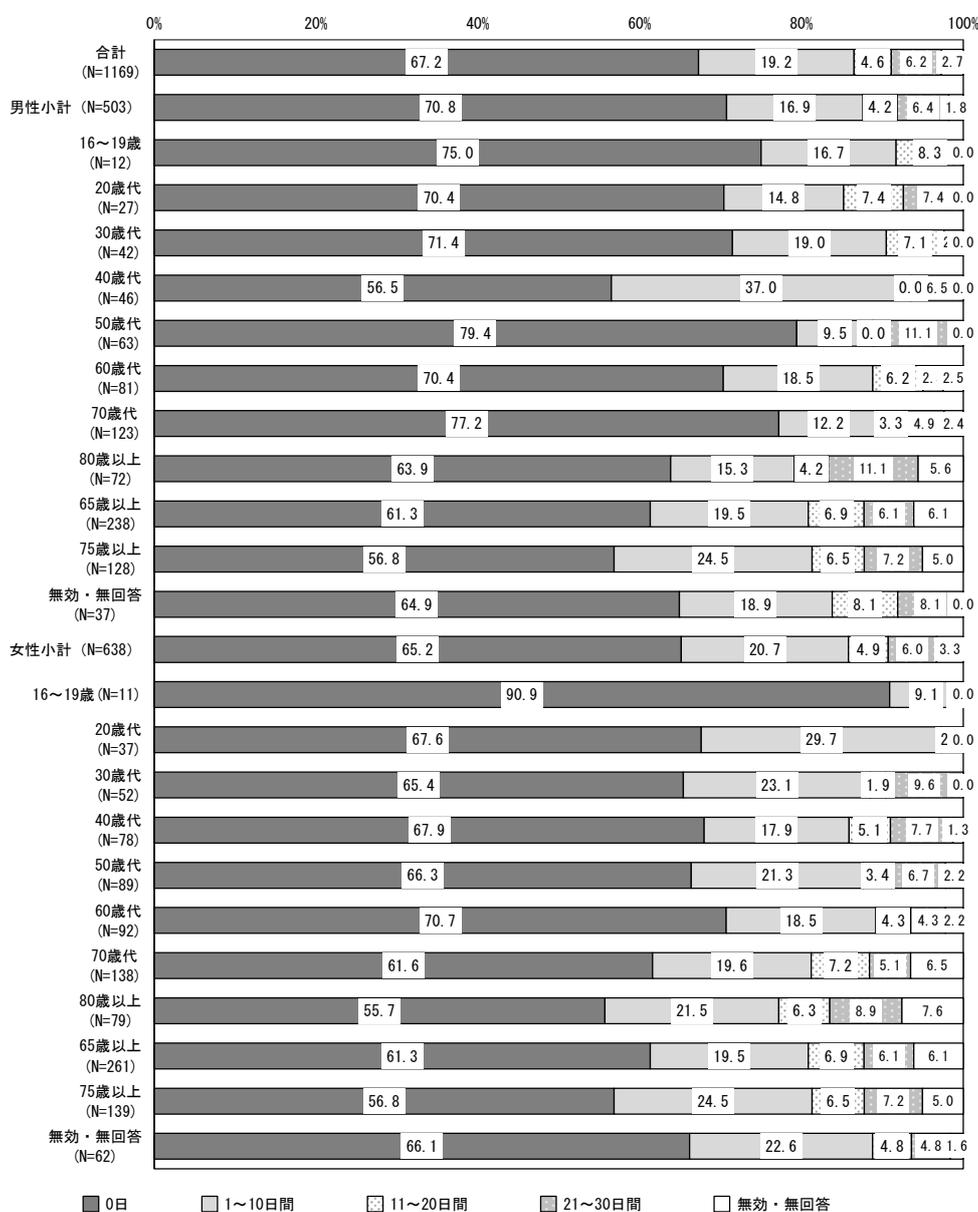
【全体】

「0日」の割合が67.2%と最も高く、ついで「1～10日間」の割合が19.2%、「11～20日間」の割合が4.6%、「21～30日間」の割合が6.2%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も6割以上が「0日」と回答しているが、男性の40歳代、女性の80歳以上は「0日」と回答した割合が6割を下回っている。

<身体の健康がすぐれない期間（全体、性・年齢別）>



問4 過去30日間に、こころの健康がすぐれないことがありましたか。

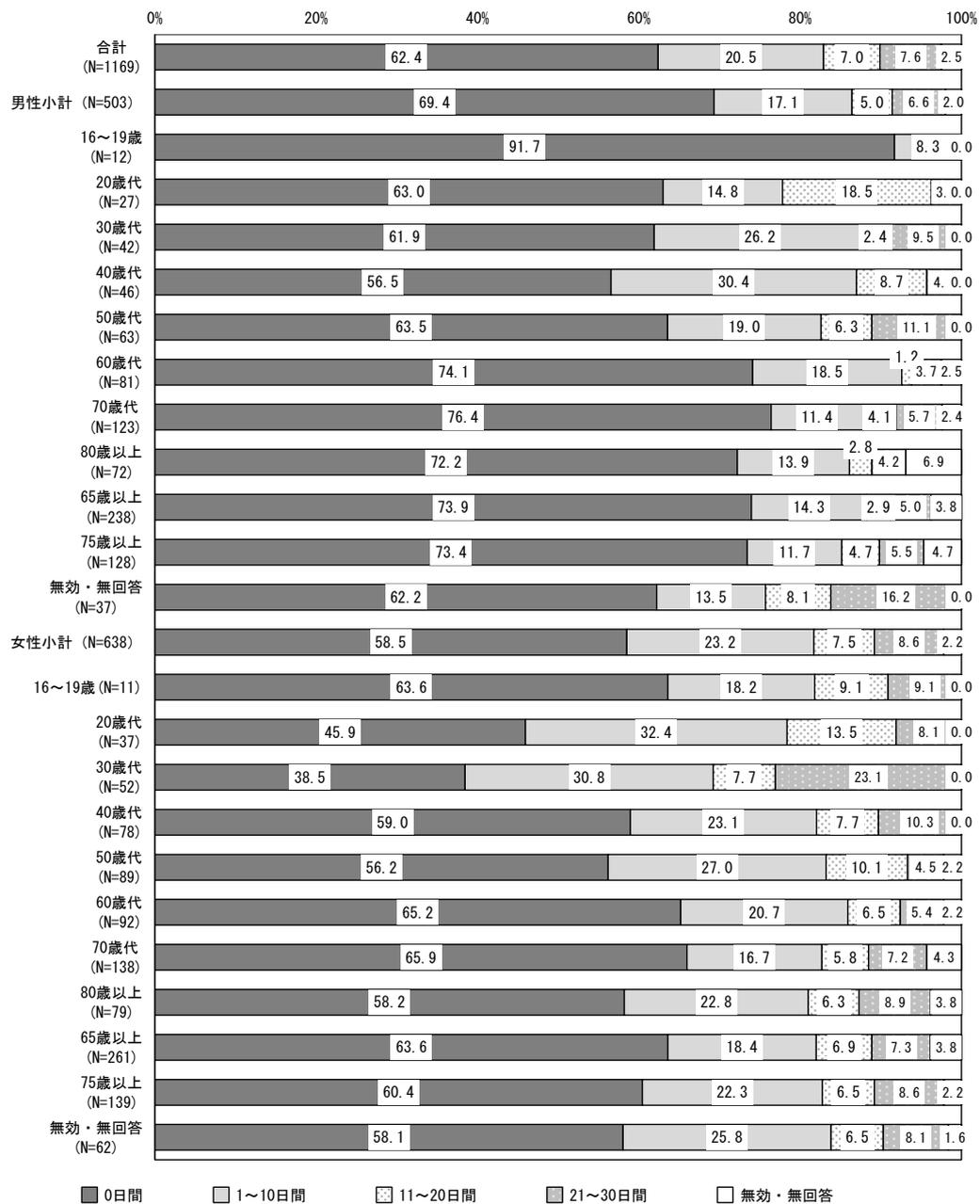
【全体】

「0日」の割合が62.4%と最も高く、「1～10日間」の割合が20.5%、「11～20日間」の割合が7.0%、「21～30日間」の割合が7.6%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も5割以上が「0日」と回答しているが、女性の20歳代、30歳代は「0日」と回答した割合が5割を下回っている。

<こころの健康がすぐれない期間（全体、性・年齢別）>



問5 過去30日間に、身体やこころの健康がよくないために普段の活動ができなかった日がありましたか。

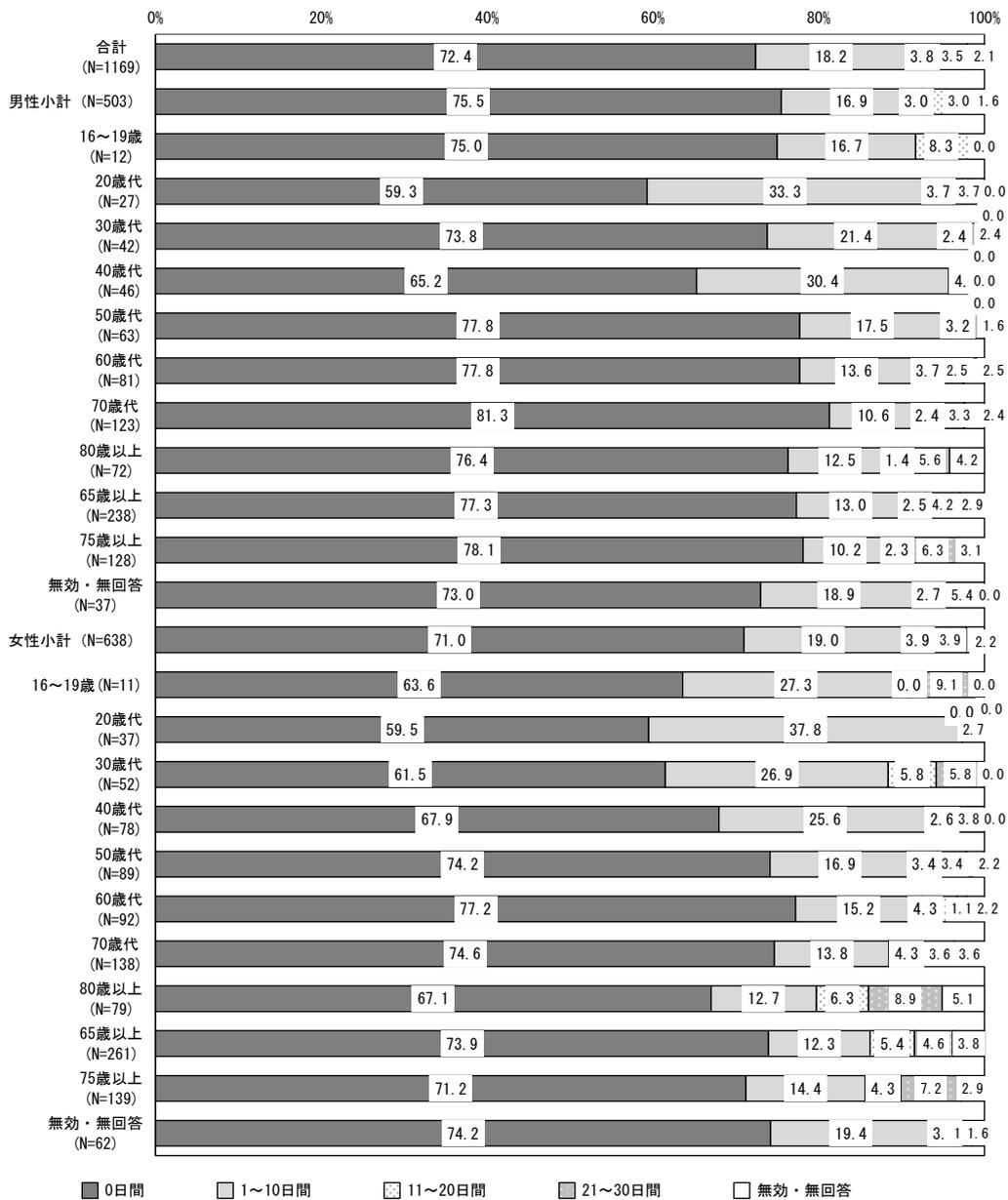
【全体】

「0日」の割合が72.4%と最も高く、次いで「1～10日間」の割合が18.2%、「11～20日間」の割合が3.8%、「21～30日間」の割合が3.5%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も6割以上が「0日」と回答しているが、男女とも20歳代は「0日」と回答した割合が6割を下回っている。

＜普段の活動ができなかった期間（全体、性・年齢別）＞



## 2. 生活習慣について

---

問6 日ごろ、健康のために次のような実践をしていますか。(複数回答可)

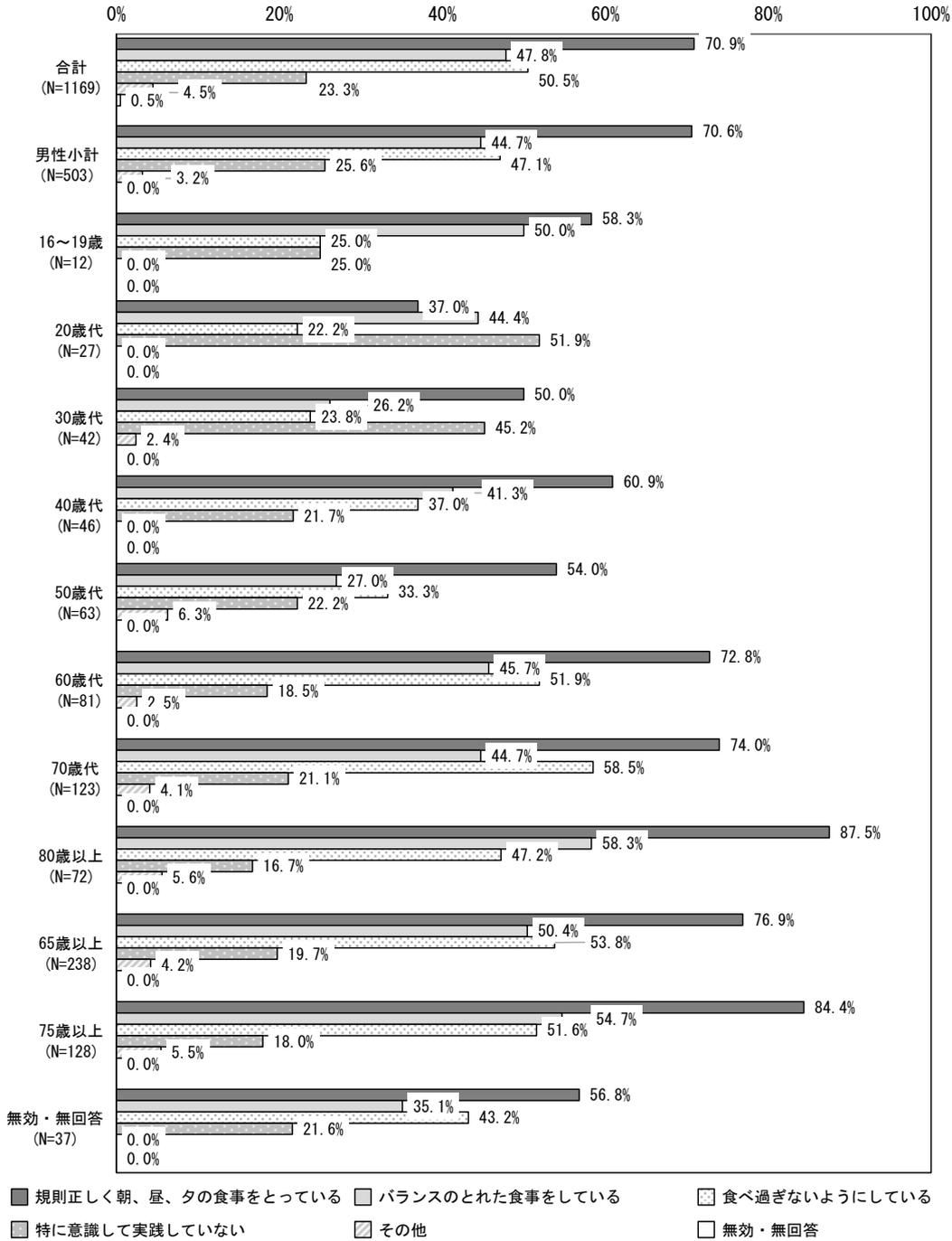
**【全体】**

「規則正しく朝、昼、夕の食事をとっている」の割合が70.9%と最も高く、次いで「食べ過ぎないようにしている」の割合が50.5%、「バランスのとれた食事をしている」の割合が47.8%となっている。その他の意見では、「食生活に気を付けている」「サプリメントなど栄養補助食品を活用している」「運動など生活習慣に気を付けている」などの意見があげられている。

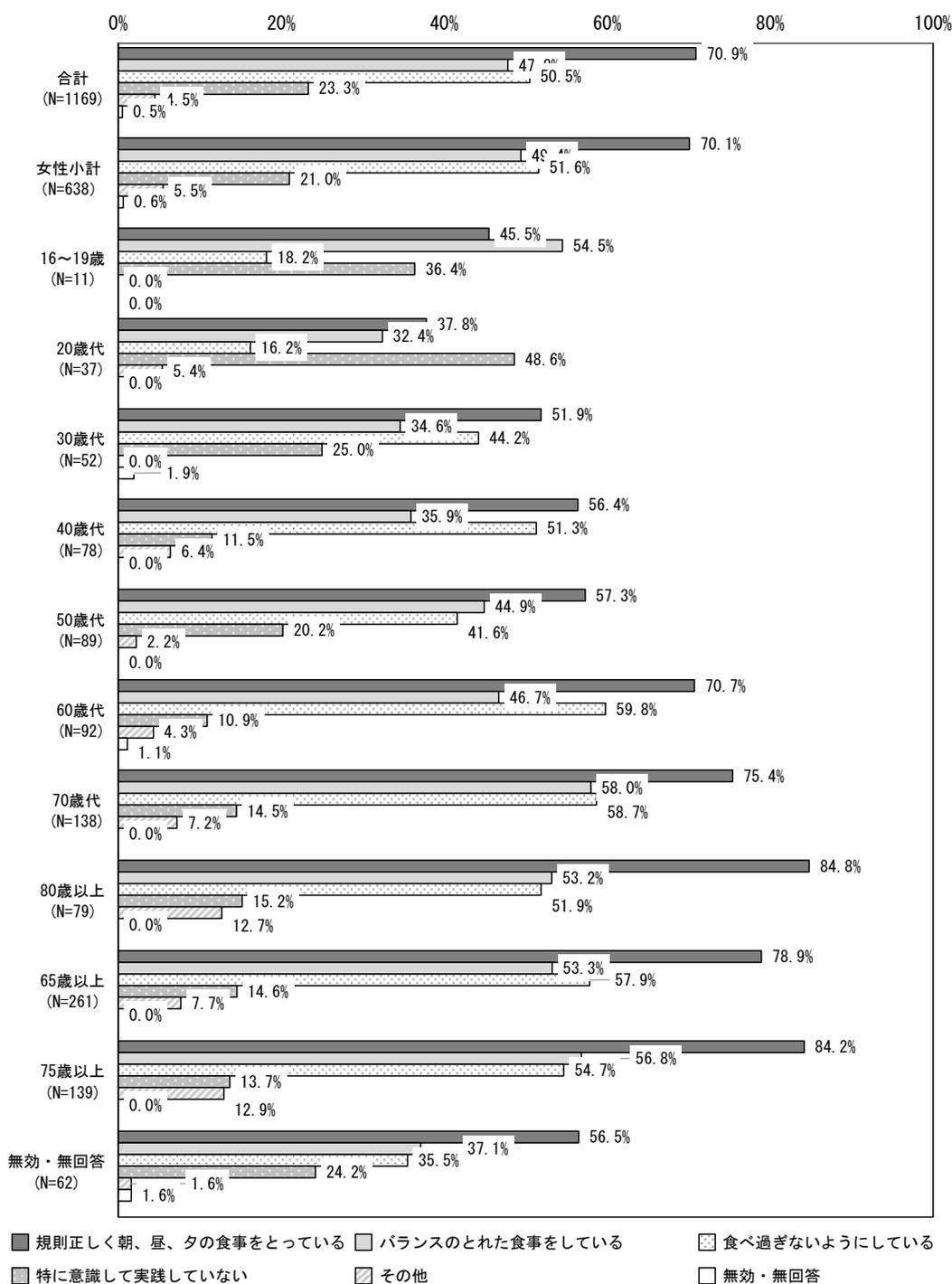
**【性・年齢別】**

男女とも20歳代以外は、「規則正しく朝、昼、夜の食事をとっている」の割合が最も高いが、20歳代は「特に意識し実践してない」の割合が最も高く約5割を占めている。

＜健康のための実践（全体、男性・年齢別）＞



<健康のための実践（全体、女性・年齢別）>



問7 野菜をなるべく多く食べるようにしていますか。

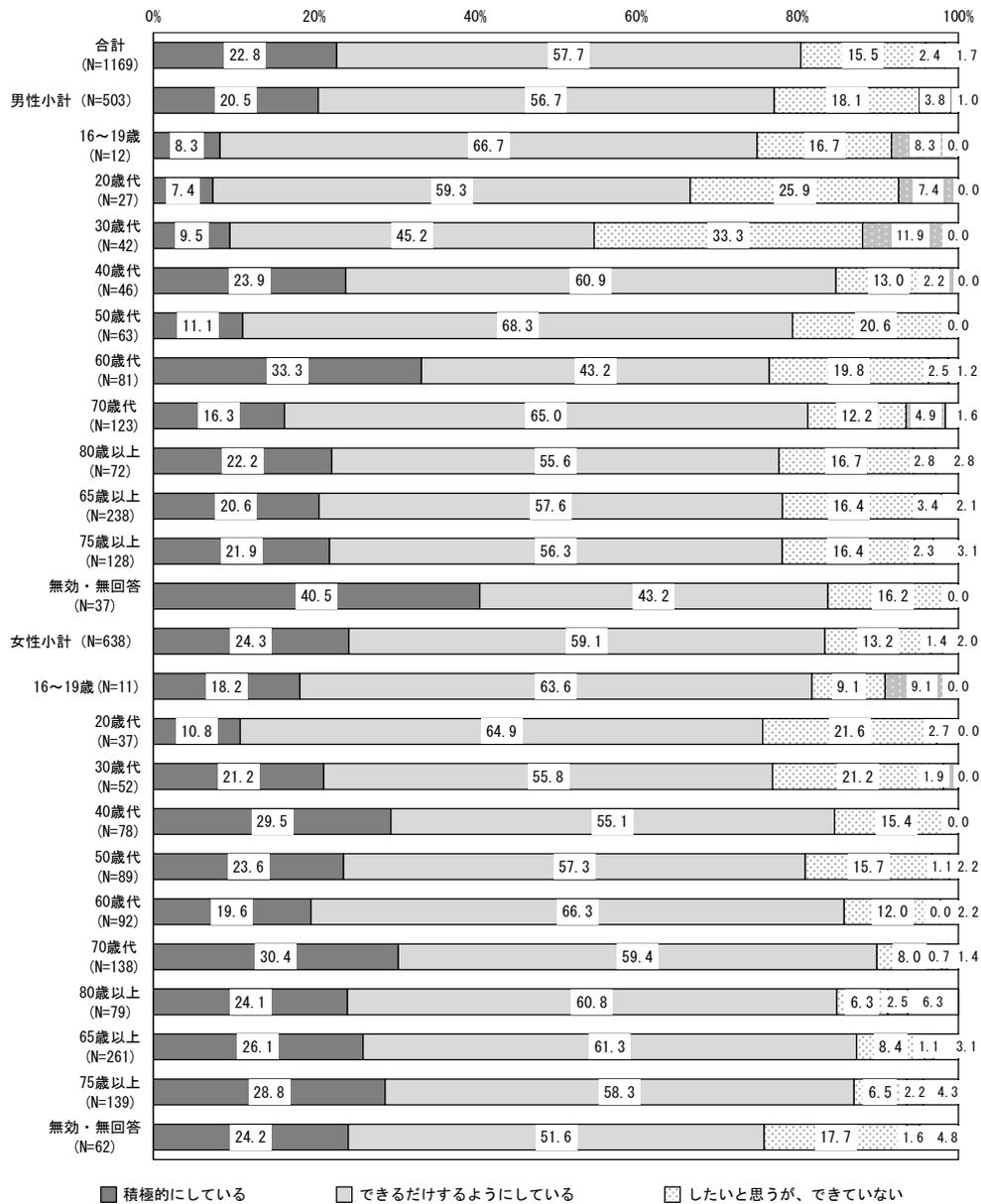
【全体】

「できるだけするようにしている」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「積極的にしている」の割合が 22.8%、「したいと思うが、できていない」の割合が 15.5%となっている。

【性・年齢別】

「積極的にしている」の割合が高いのは、男性の 60 歳代、女性の 70 歳代であり、いずれも 3 割を超えている。

<野菜の摂取（全体、性・年齢別）>



問8 減塩をしていますか。

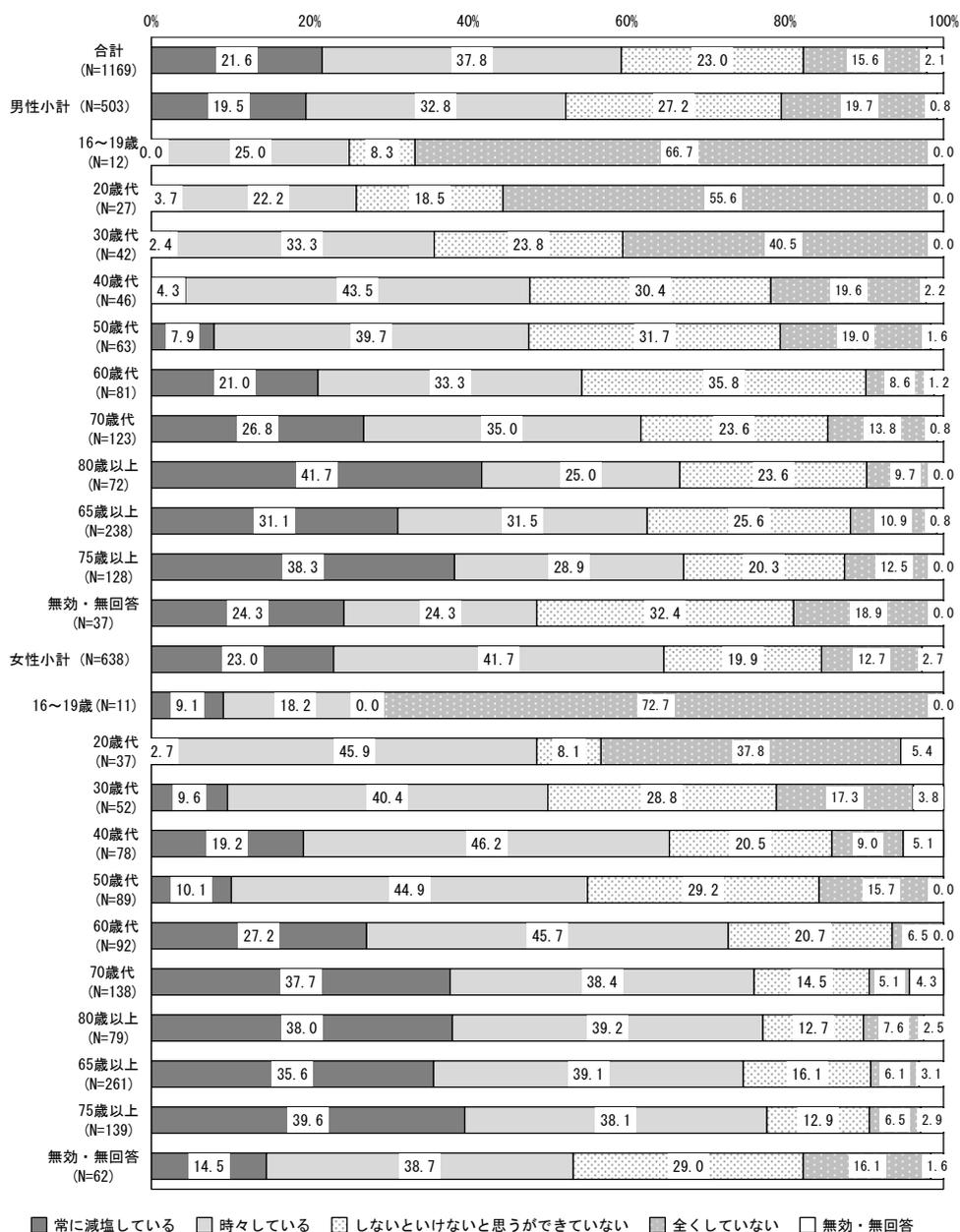
【全体】

「時々している」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「しないといけないと思うができていない」の割合が 23.0%、「常に減塩している」の割合 21.6%となっている。

【性・年齢別】

「常に減塩している」、「時々している」の割合が半数以上となるのは、男性の 60 歳代以上、女性の 30 歳代以上となっている。

<減塩（全体、性・年齢別）>



問9-1 どれくらいの頻度でお酒を飲んでいますか。

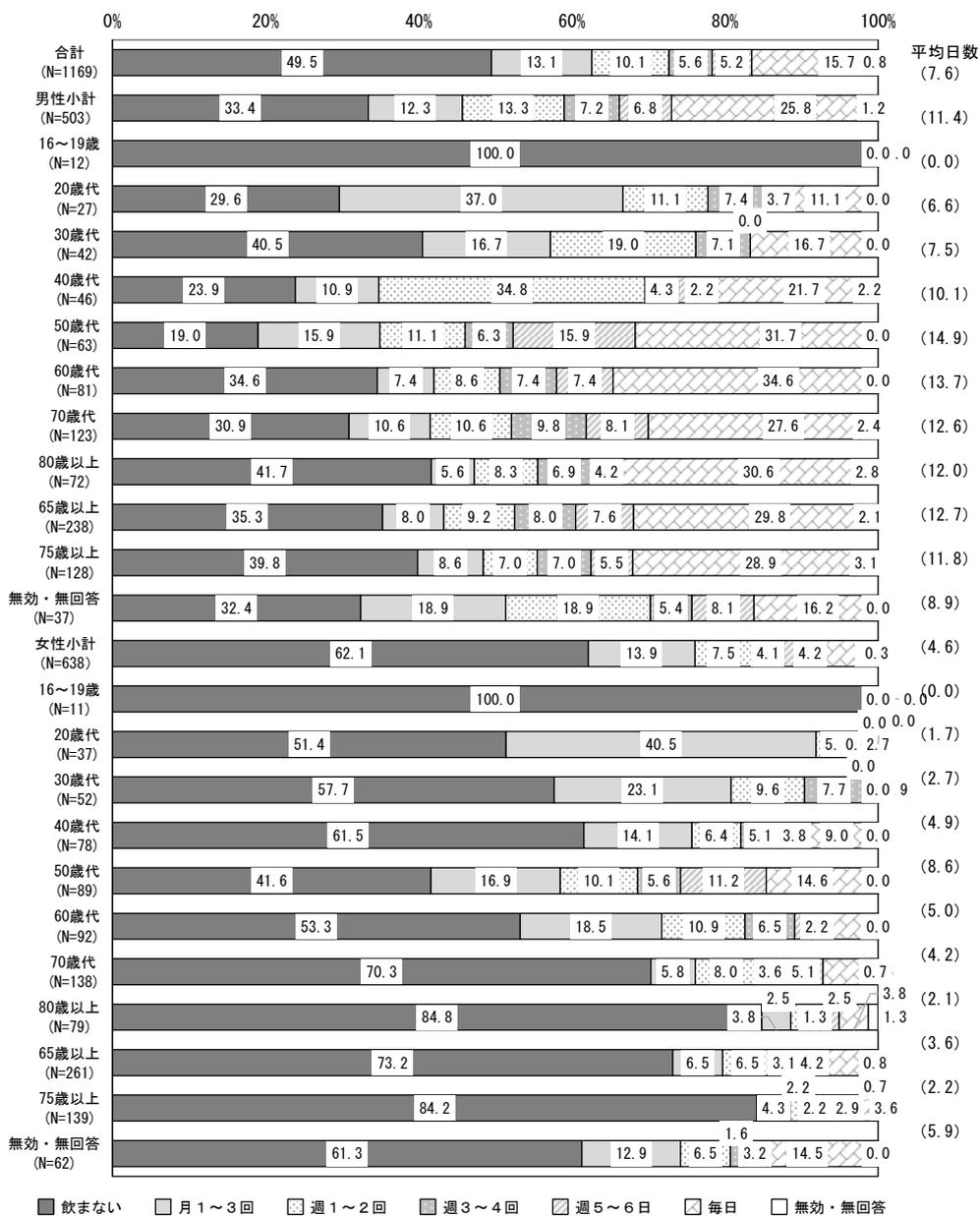
【全体】

「飲まない」の割合が49.5%と最も高く、次いで「毎日」の割合15.7%、「月1~3回」13.1%で平均7.6日/月となっている。

【性・年齢別】

平均飲酒頻度が高いのは、男性が50歳代で約14.9日/月、女性も50歳代で約8.6日/月となっている。

<1か月あたり飲酒頻度（全体、性・年齢別）>



**【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】**

問9-2 お酒を飲む日は1日当たりどれくらい飲んでいますか。

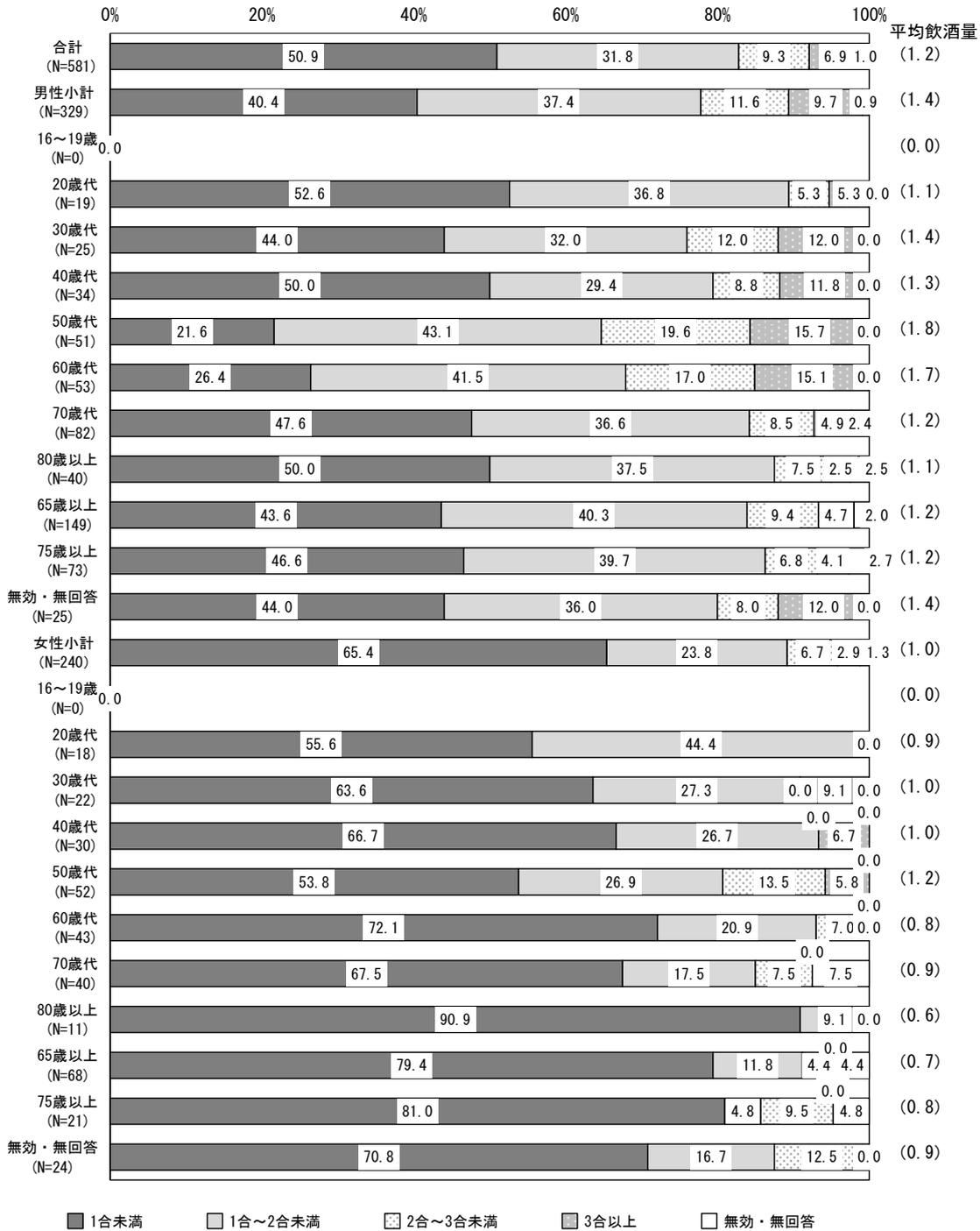
**【全体】**

1日あたり飲酒量は、「1合未満」の割合が50.9%と最も高く、次いで「1合～2合未満」の割合が31.8%、「2合～3合未満」の割合が9.3%で、平均1.2合/日となっている。

**【性・年齢別】**

平均飲酒量が多いのは、男性が50歳代で約1.8合/日、女性も50歳代で約1.2合/日となっている。

< 1日あたり飲酒量（全体、性・年齢別） >



【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】

問9-3 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、飲酒回数（頻度）に変化はありますか。

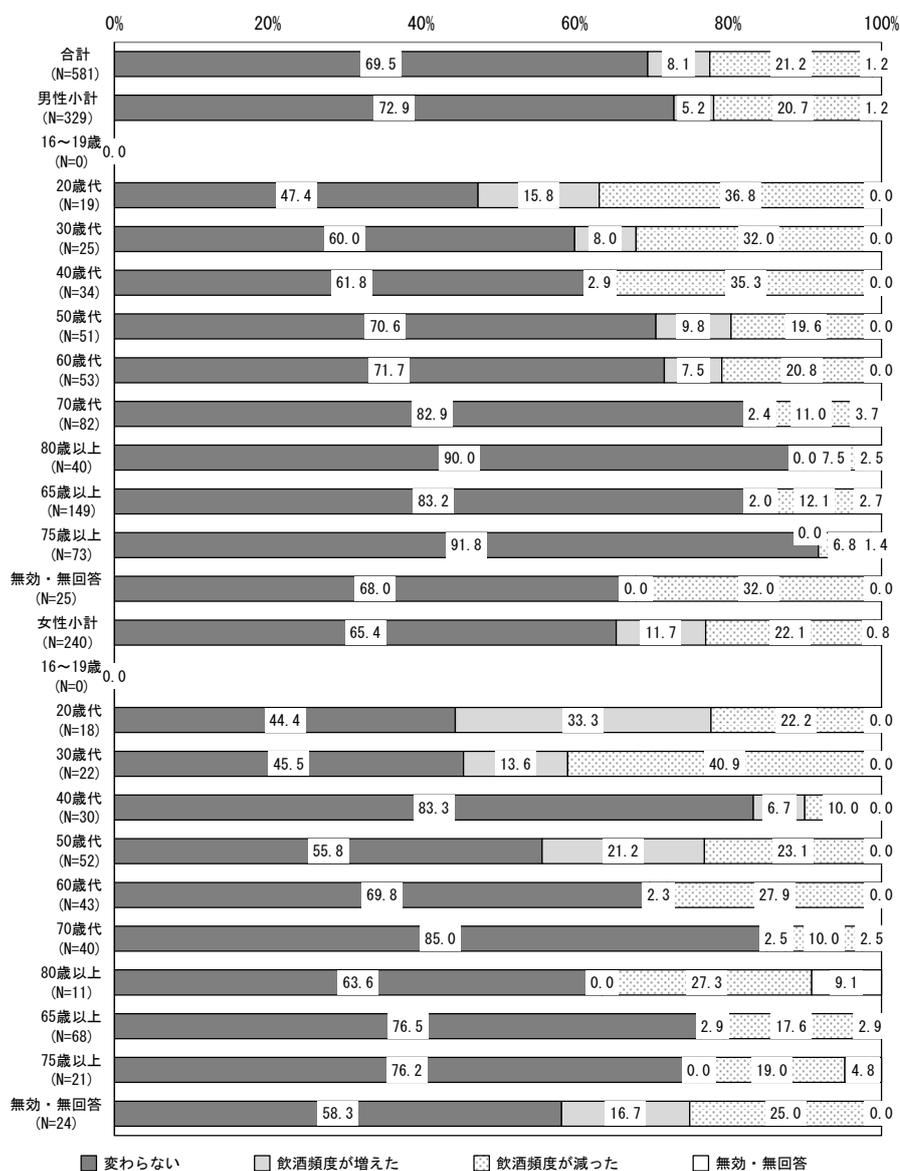
【全体】

「変わらない」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「飲酒頻度が減った」の割合が 21.2%、「飲酒頻度が増えた」の割合が 8.1%となっている。

【性・年齢別】

飲酒頻度が減ったと回答した割合が高いのは、男性の20歳代から40歳代、女性の30歳代であり、いずれも3割を上回っている。

<飲酒頻度の変化（全体、性・年齢別）>



【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】

問9-4 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、1日の飲酒量に変化はありますか。

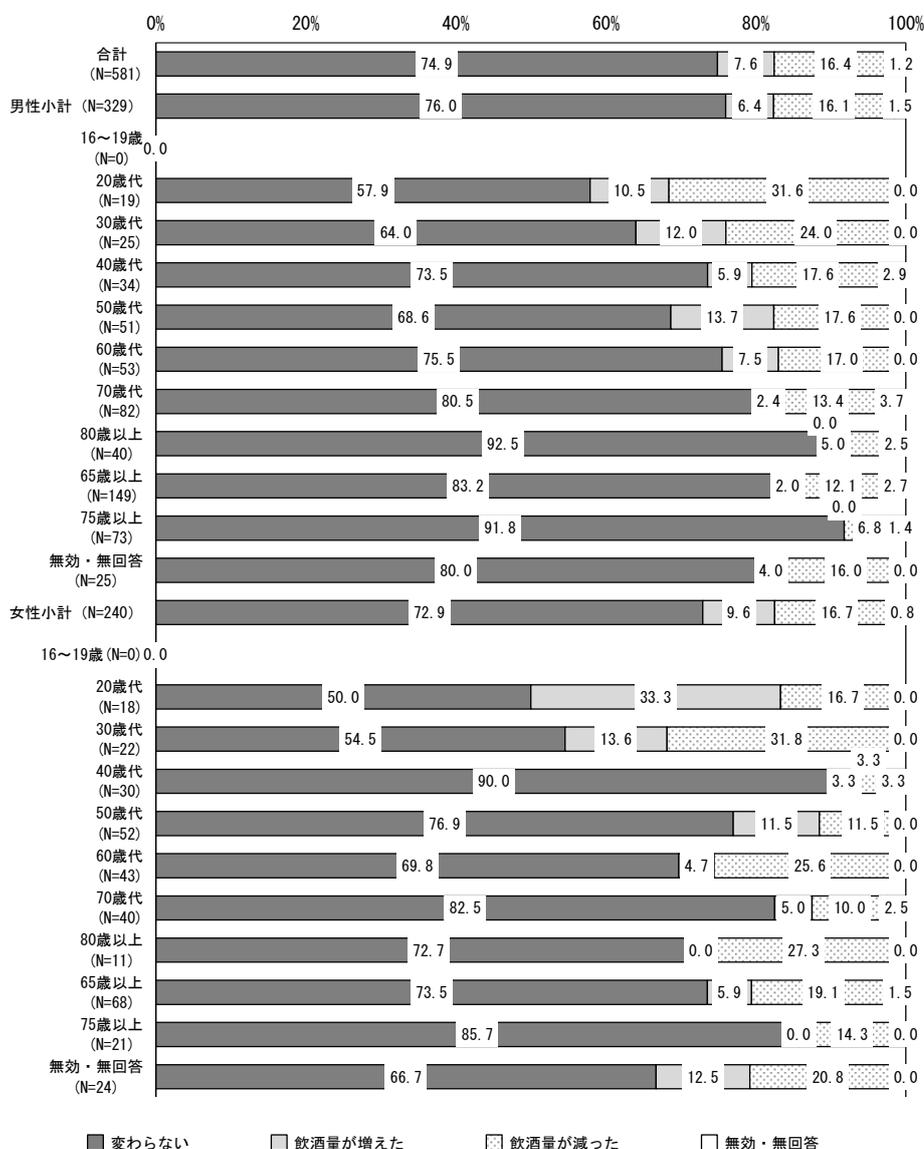
【全体】

「変わらない」の割合が74.9%と最も高く、次いで「飲酒量が減った」の割合が16.4%、「飲酒量が増えた」の割合が7.6%となっている。

【性・年齢別】

飲酒量が減ったと回答した割合が高いのは、男性の20歳代、女性の30歳代であり、いずれも3割を上回っている。

<飲酒量の変化（全体、性・年齢別）>



問10-1 あなたはタバコを吸っていますか。

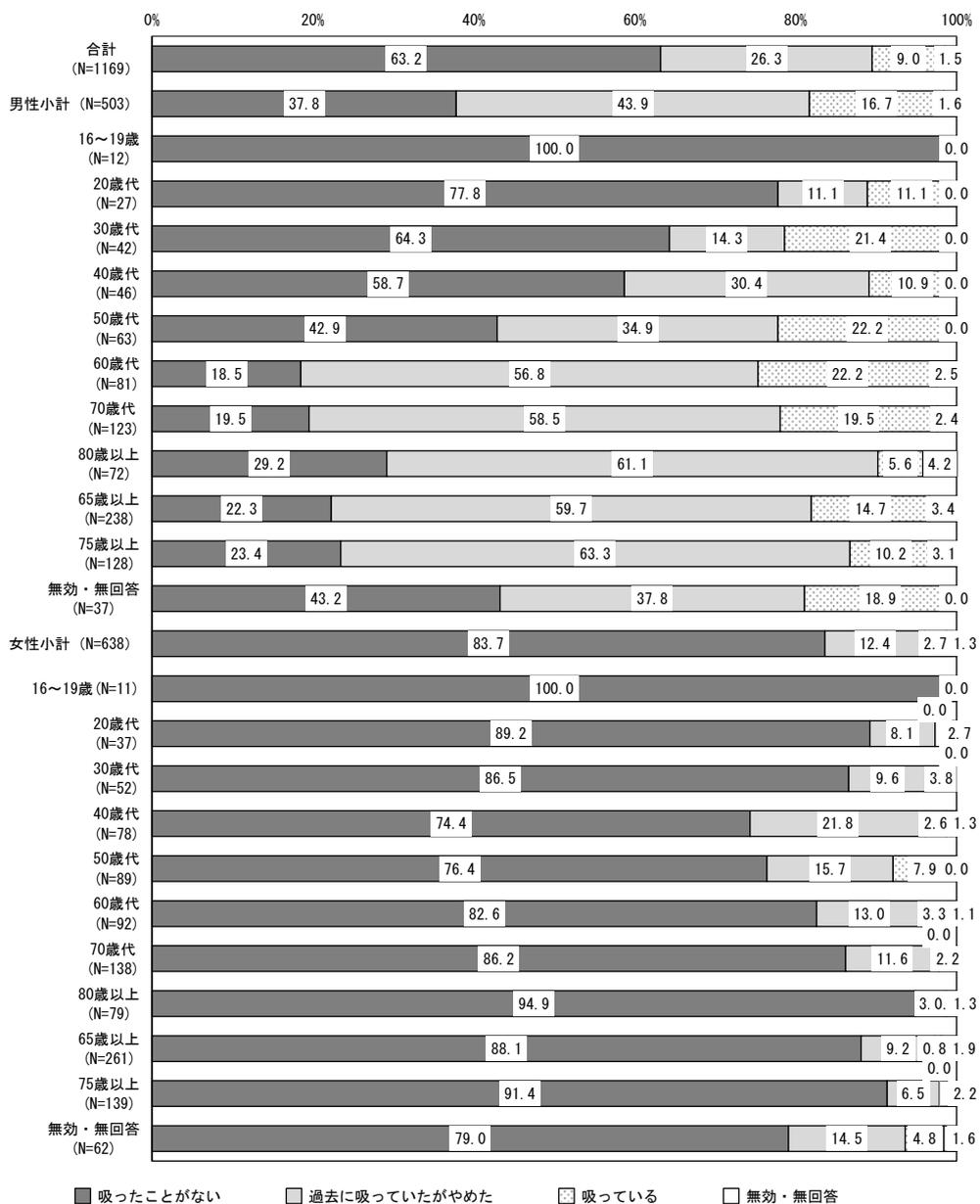
【全体】

「吸ったことがない」の割合が63.2%と最も高く、次いで「過去に吸っていたがやめた」の割合が26.3%、「吸っている」の割合が9.0%で、喫煙者の平均喫煙年数は35.3年となっている。

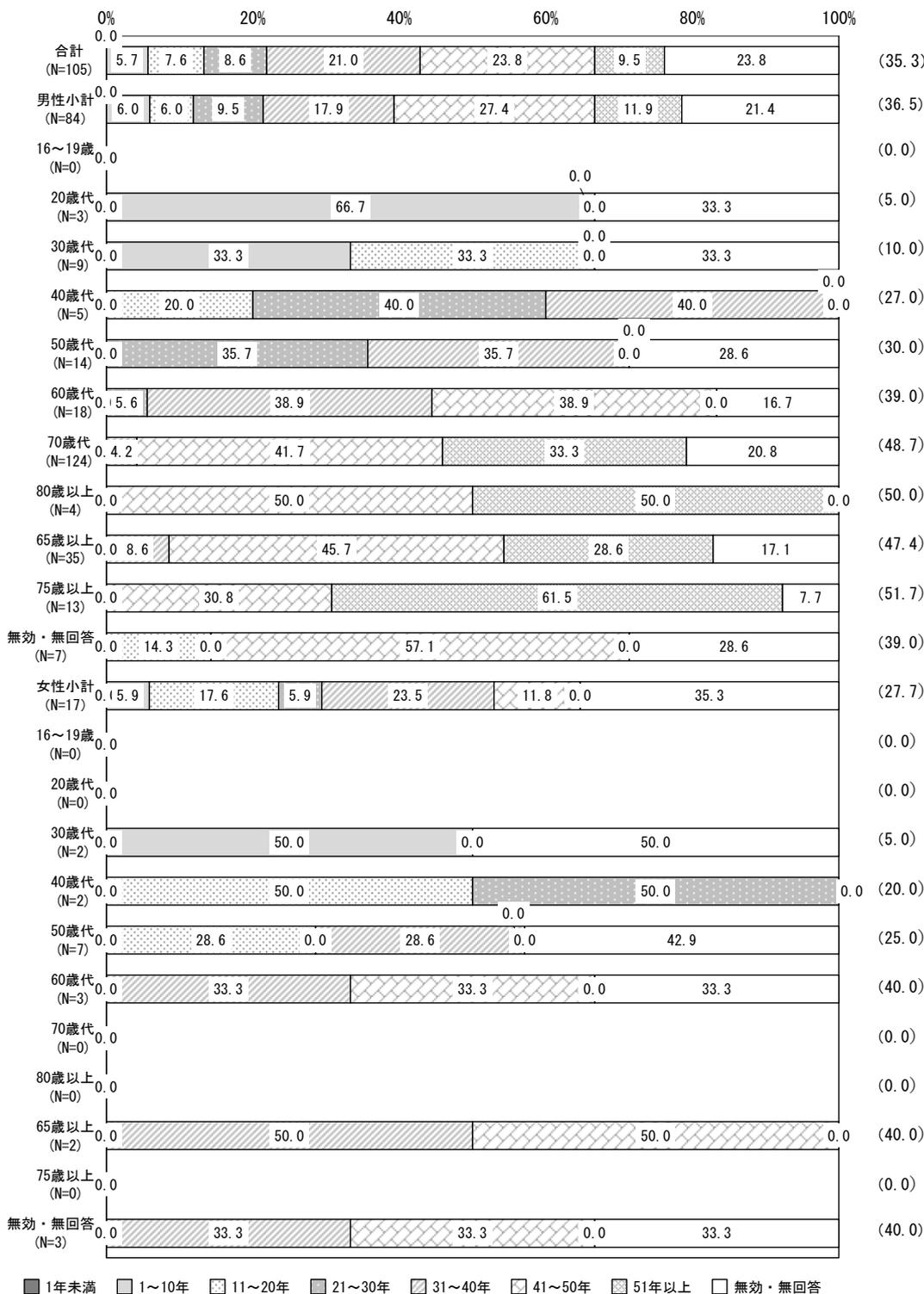
【性・年齢別】

「吸っている」の割合が高いのは、男性の30歳代、50～60歳代で約2割となっている。女性は「吸ったことがない」の割合が全世代で約7割以上となっている。

<喫煙（全体、性・年齢別）>



<喫煙歴（全体、性・年齢別）>



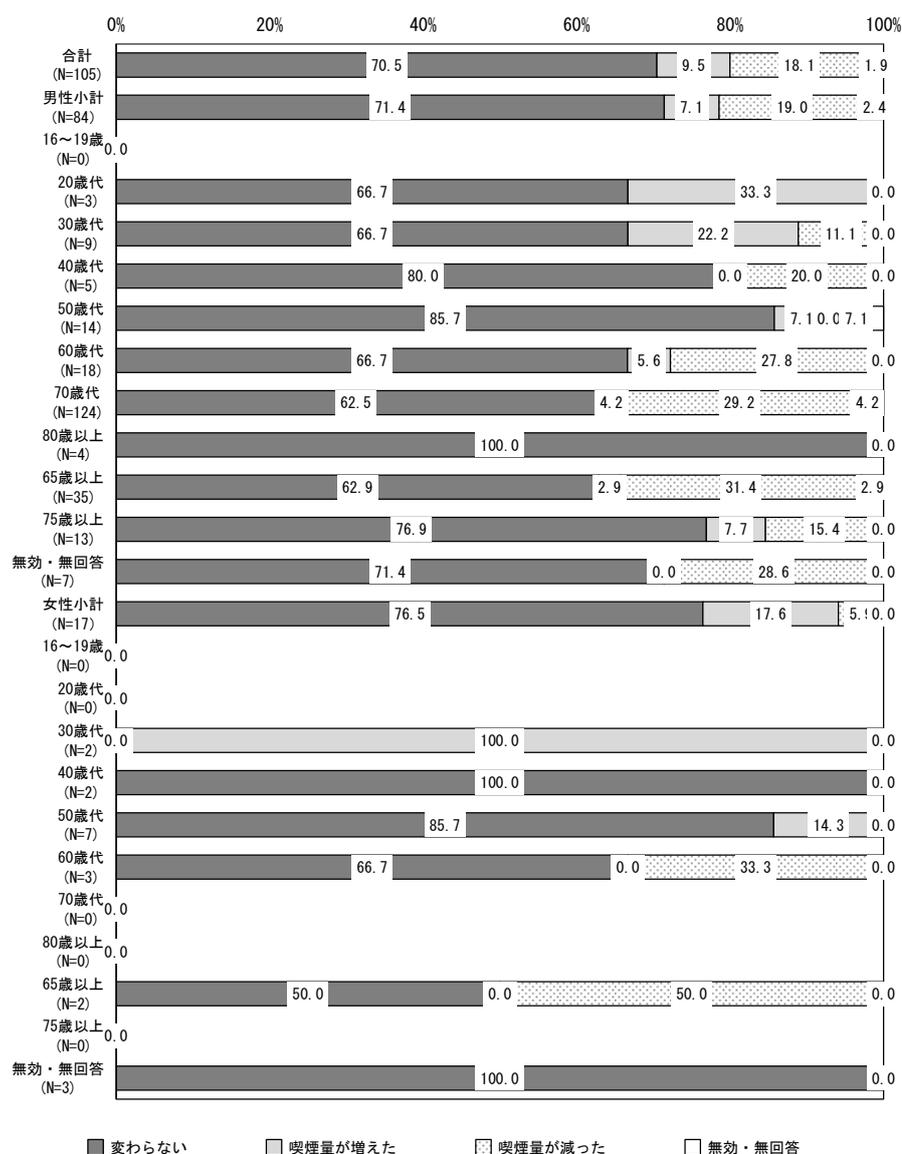
【問10-1で「3」と回答された方にお伺いします】

問10-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、喫煙量に変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が70.5%と最も高く、次いで「喫煙量が減った」の割合が18.1%、「喫煙量が増えた」の割合が9.5%となっている。

<喫煙量の変化（全体、性・年齢別）>

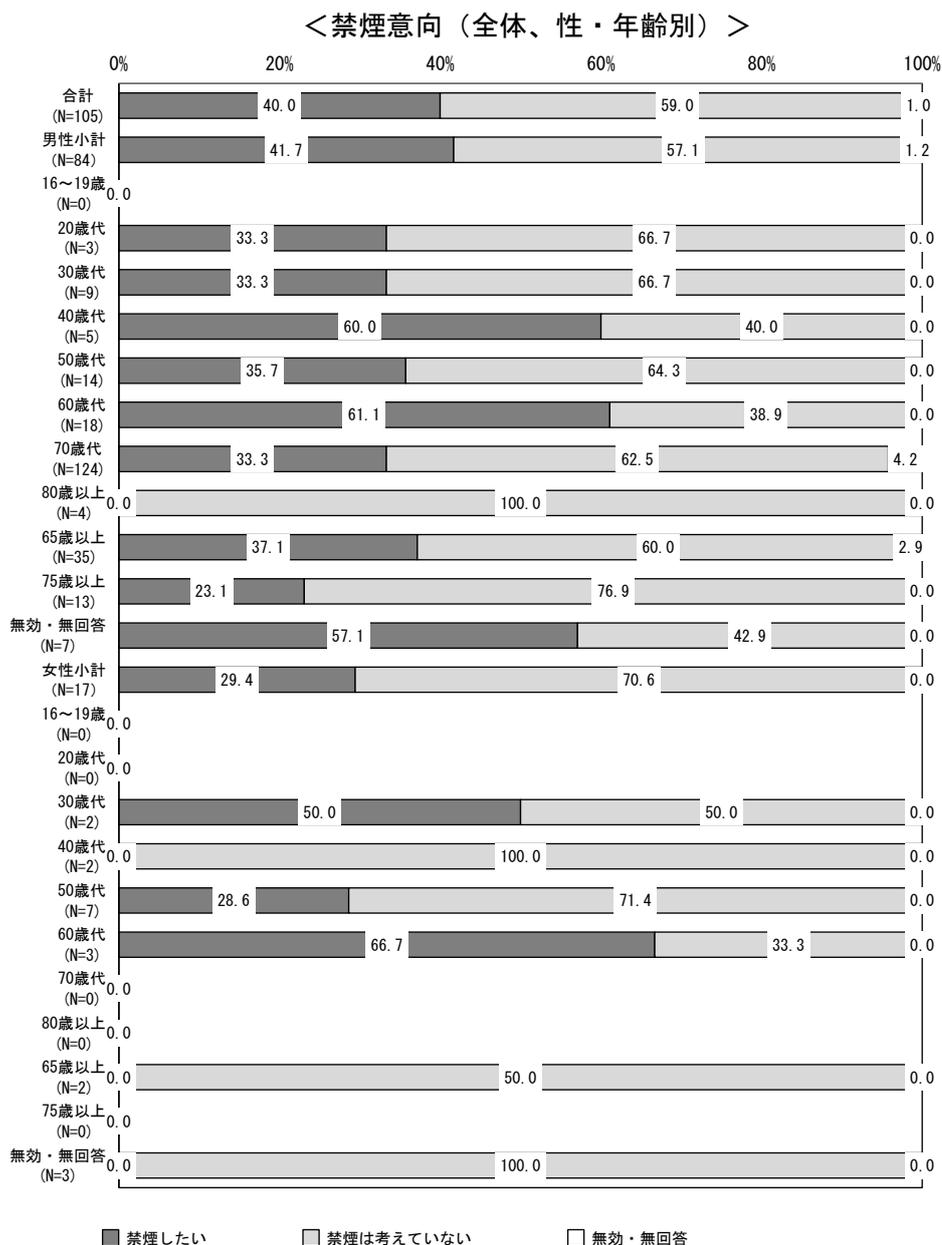


【問10-1で「3」と回答された方にお伺いします】

問10-3 今後の禁煙についてはいかがですか。

【全体】

「禁煙は考えていない」の割合が59.0%と高く、次いで「禁煙したい」の割合が40.0%となっている。



問 1 1 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という病気を知っていますか。

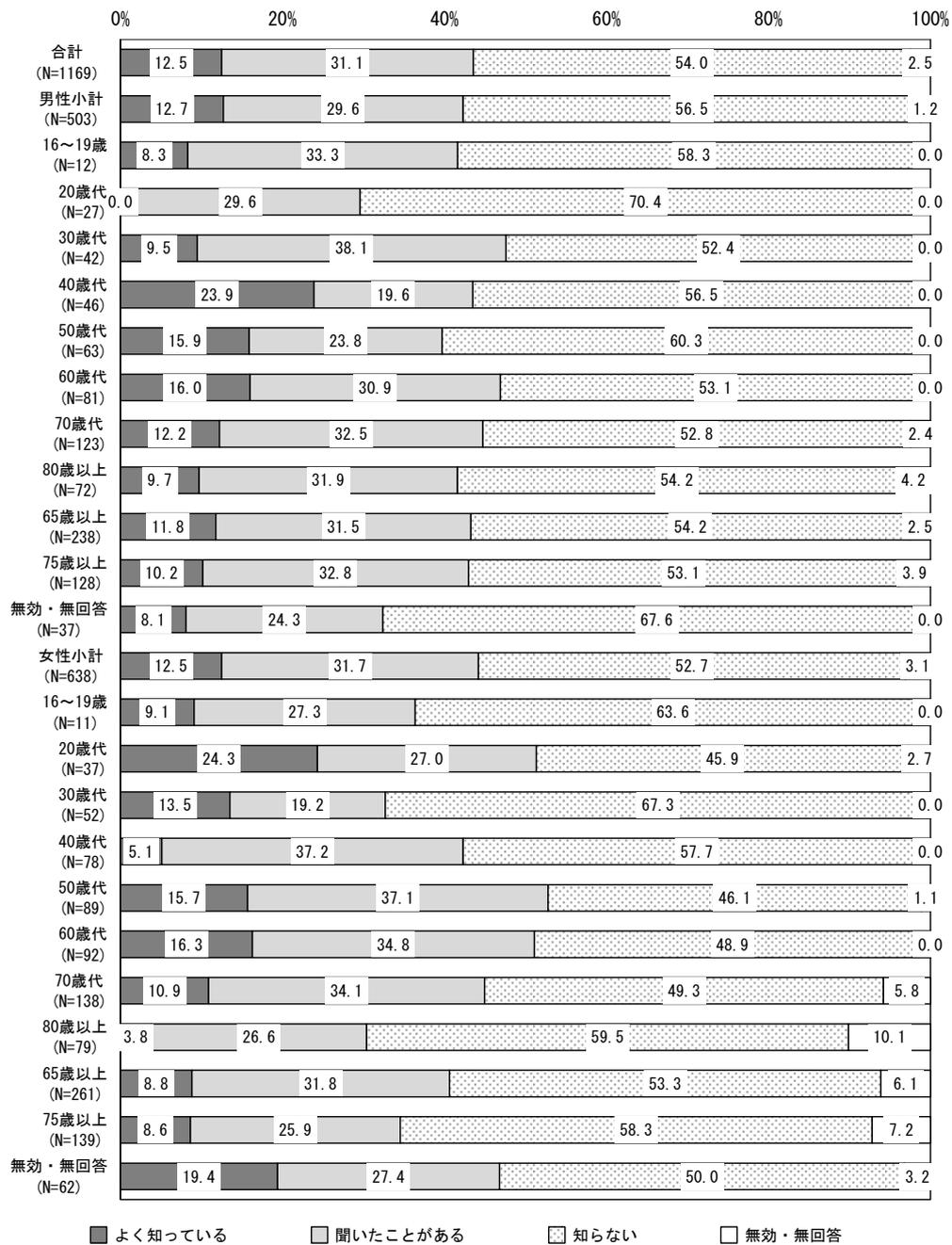
【全体】

「知らない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 31.1%、「よく知っている」の割合が 12.5%ととなっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」は、男性では 40 歳代、女性で 20 歳代で 2 割以上となっている。

<慢性閉塞性肺疾患に関する認知（全体、性・年齢別）>



問12-1 現在、ウォーキングやテニス、水泳などのスポーツ・運動を定期的に行っていますか。(通勤、通学、工作中、買い物等は運動に含めません。)

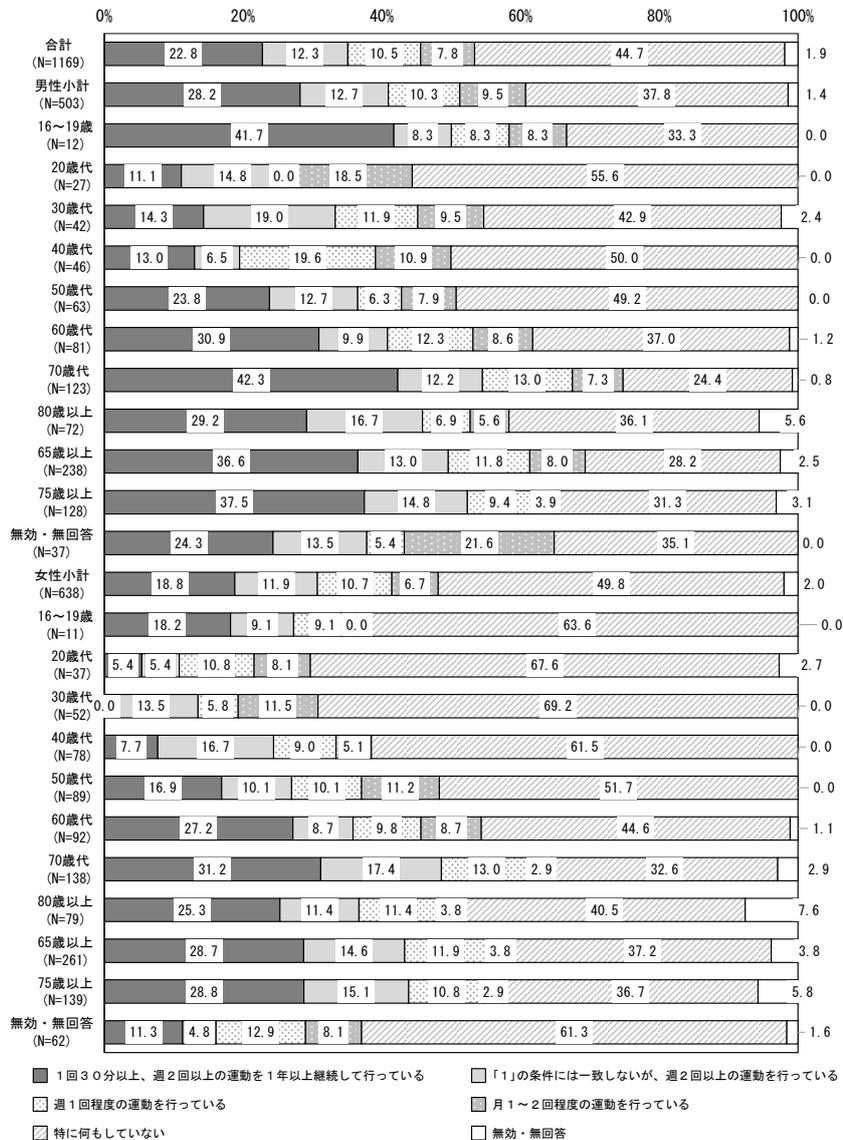
【全体】

「特に何もしていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「1回30分以上、週2回以上、1年以上運動を行っている」の割合が22.8%、「1回30分以上、週2回以上、1年以上運動を行っている」の条件には一致しないが、週2回以上の運動を行っている」の割合が12.3%となっている。

【性・年齢別】

「特に何もしていない」の割合が高いのは、男性では20歳代、女性では16～19歳から50歳代でいずれも5割を上回っている。

<定期的な運動（全体、性・年齢別）>



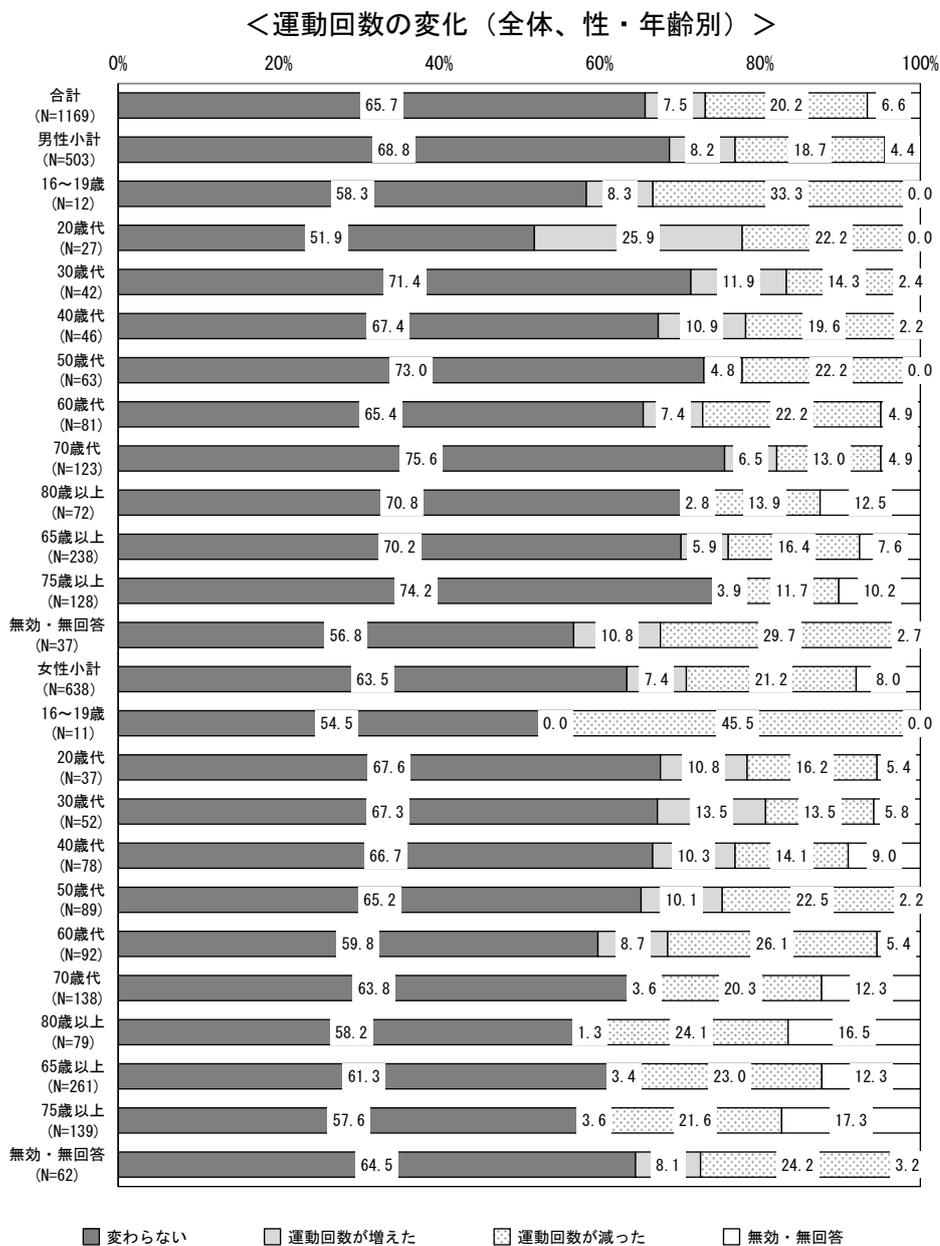
問 1 2 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、運動回数に変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「運動回数が減った」の割合が 20.2%、「運動回数が増えた」の割合が 7.5%となっている。

【性・年齢別】

運動回数が減ったと回答した割合が高いのは、男女ともに 16～19 歳であり、3 割以上が減ったと回答している。



問13-1 日常生活において、意識的に身体を動かすように心がけていますか。

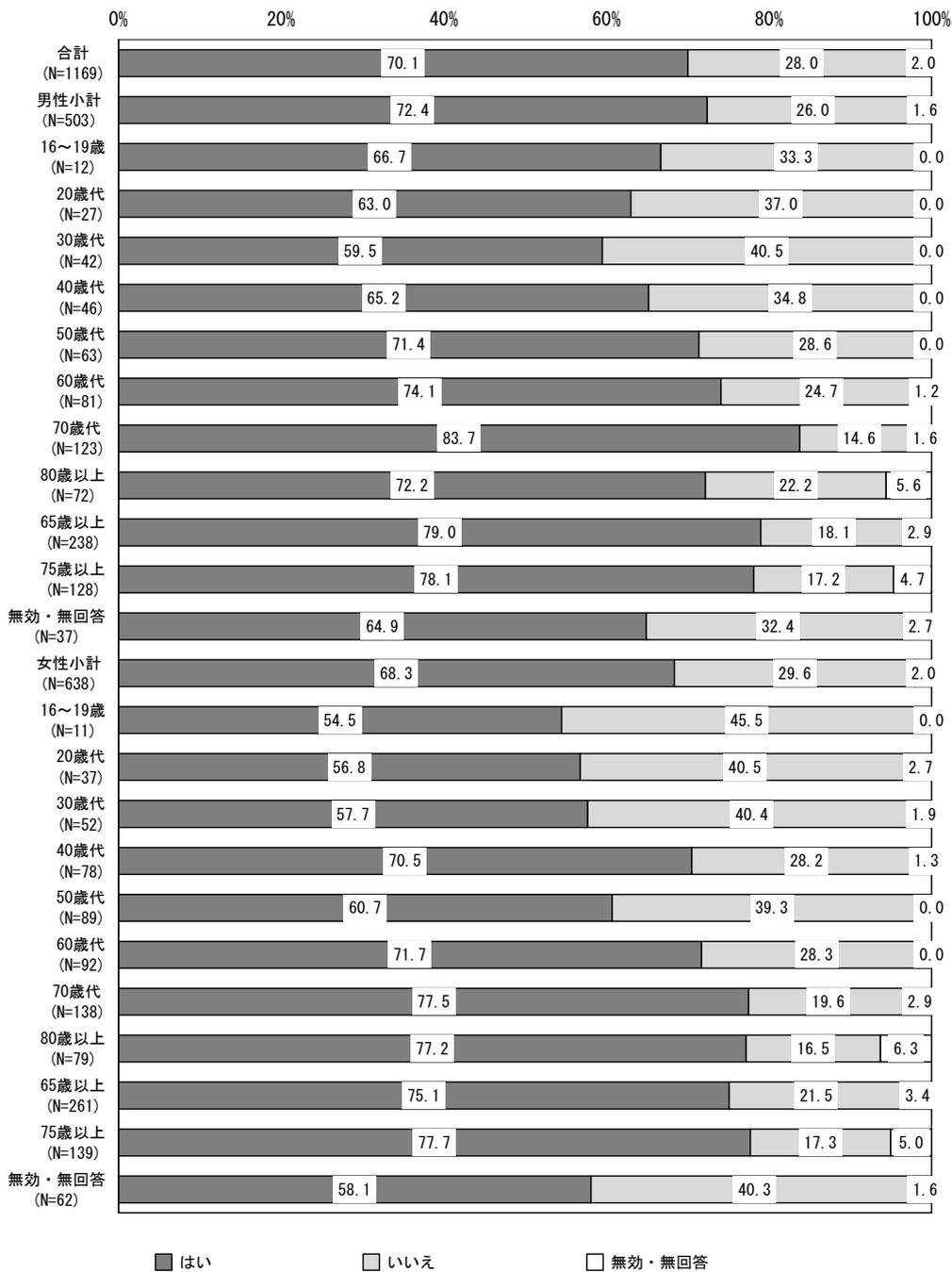
【全体】

「はい」の割合が70.1%となっている。

【性・年齢別】

男女とも全世代で5割以上が意識的に身体を動かすように心がけている。

<身体を動かす意識（全体、性・年齢別）>



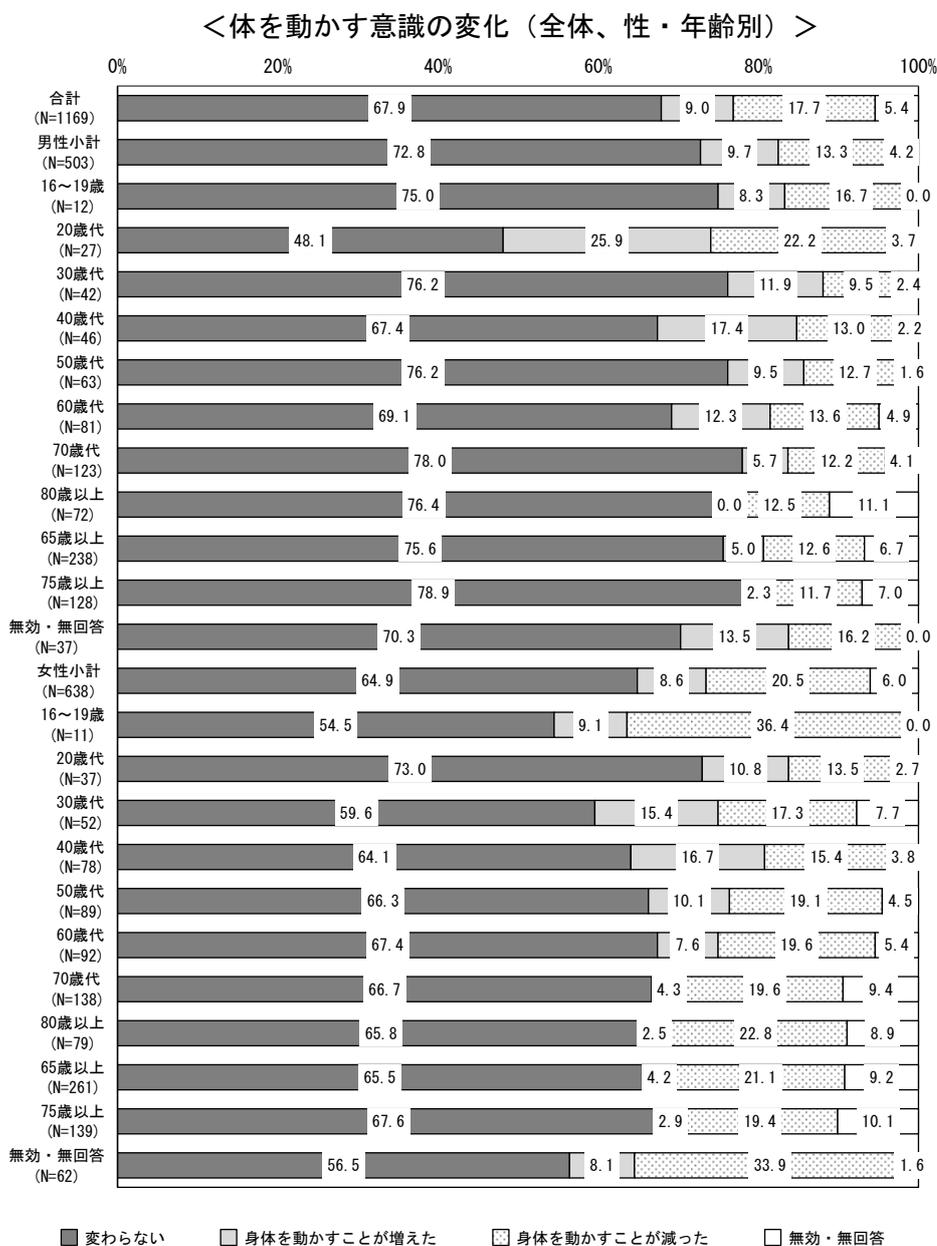
問 1 3 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、意識的に身体を動かすことに変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「身体を動かすことが減った」の割合が 17.7%、「身体を動かすことが増えた」の割合が 9.0%となっている。

【性・年齢別】

運動回数が減ったと回答した割合が高いのは、男性では 20 歳代、女性では 16～19 歳と 80 歳以上であり、2 割以上が減ったと回答している。



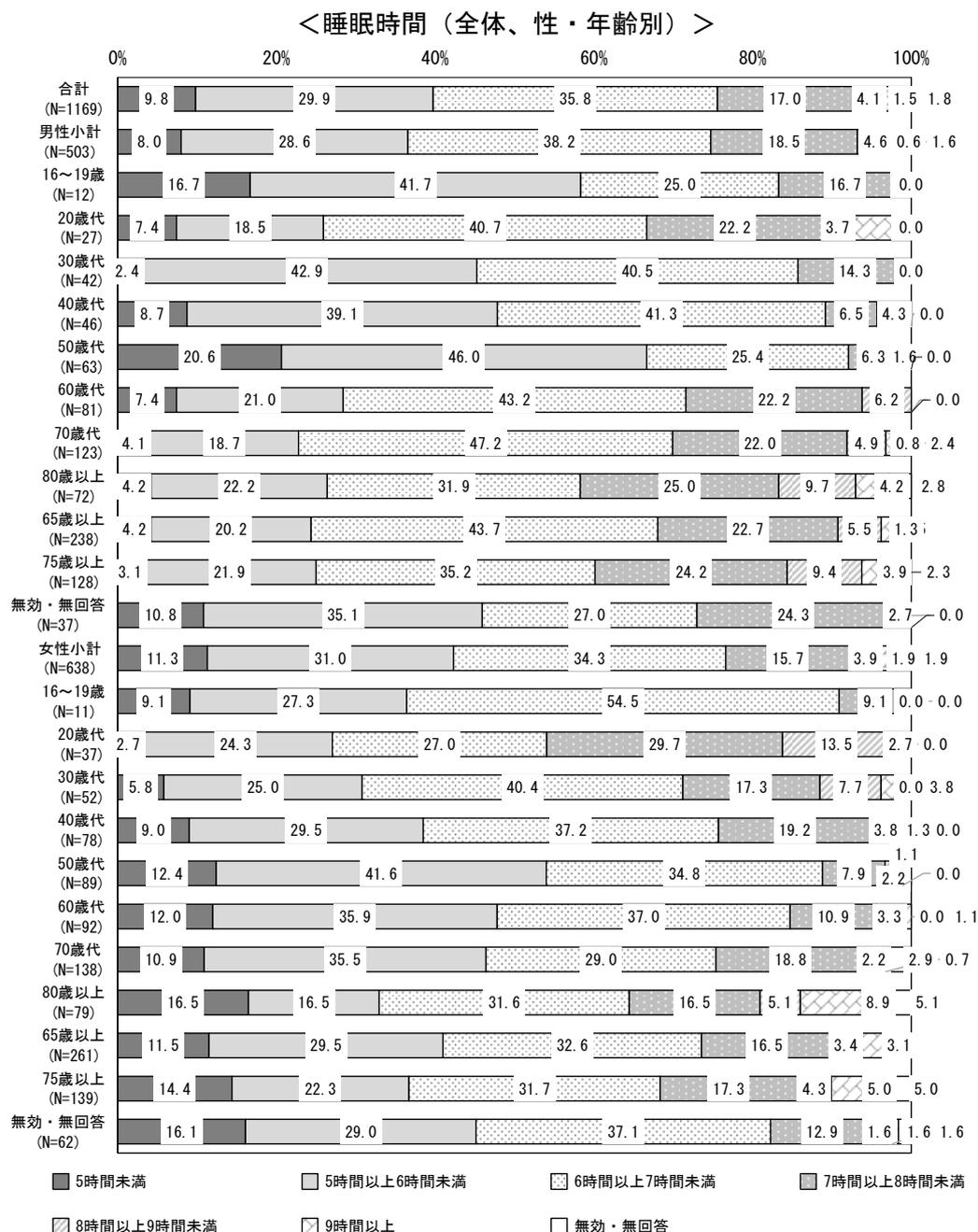
問14-1 過去1か月の1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。

【全体】

「6時間以上7時間未満」の割合が35.8%と最も高く、次いで「5時間以上6時間未満」の割合が29.9%、「7時間以上8時間未満」の割合が17.0%となっている。

【性・年齢別】

6時間未満の割合が高いのは、男性では16～19歳と50歳代、女性では50歳代であり、5割以上となっている。



問 1 4 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、睡眠時間に変化はありますか。

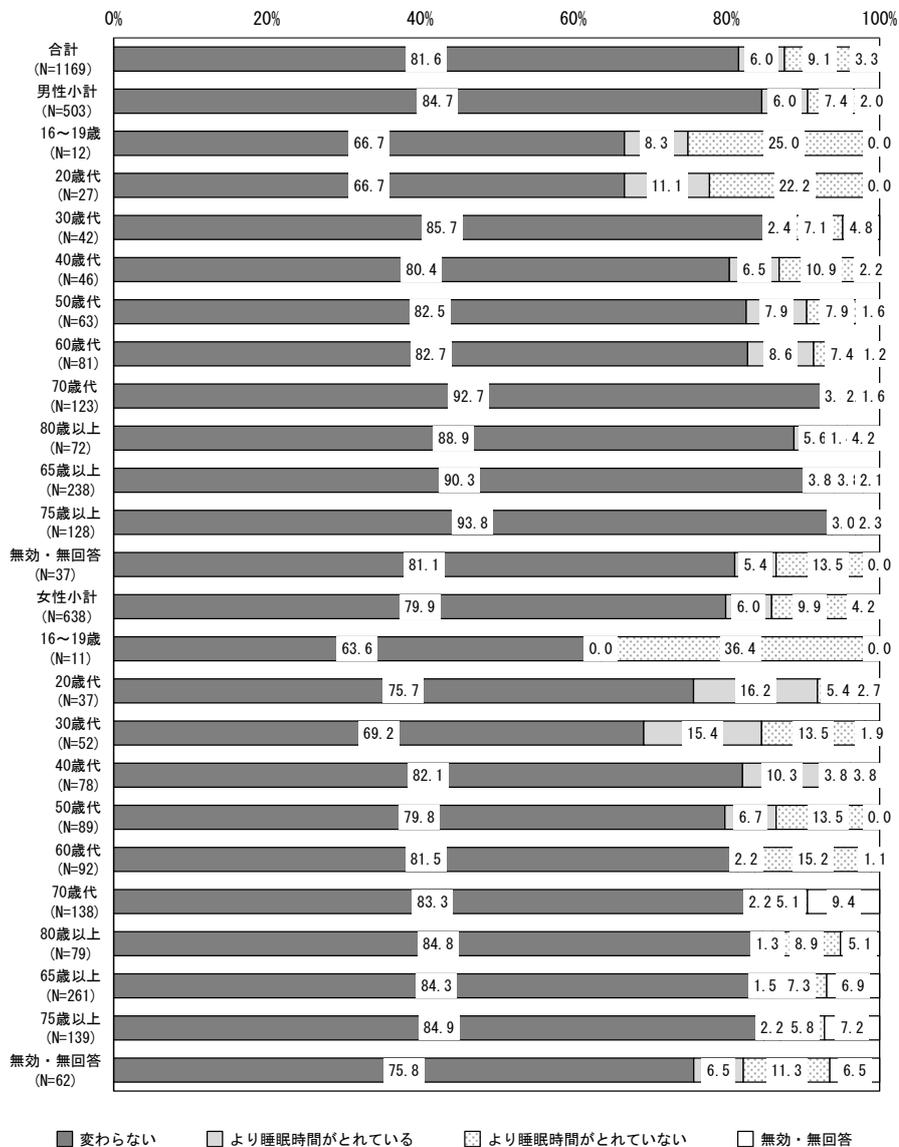
【全体】

「変わらない」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「より睡眠時間がとれていない」の割合が 9.1%、「より睡眠時間がとれている」の割合が 6.0%となっている。

【性・年齢別】

より睡眠時間がとれていないと回答した割合が高いのは、男性では 16～19 歳と 20 歳代、女性では 16～19 歳であり、2 割以上となっている。

＜睡眠時間の変化（全体、性・年齢別）＞



問 15-1 睡眠による休養が十分とれていますか。

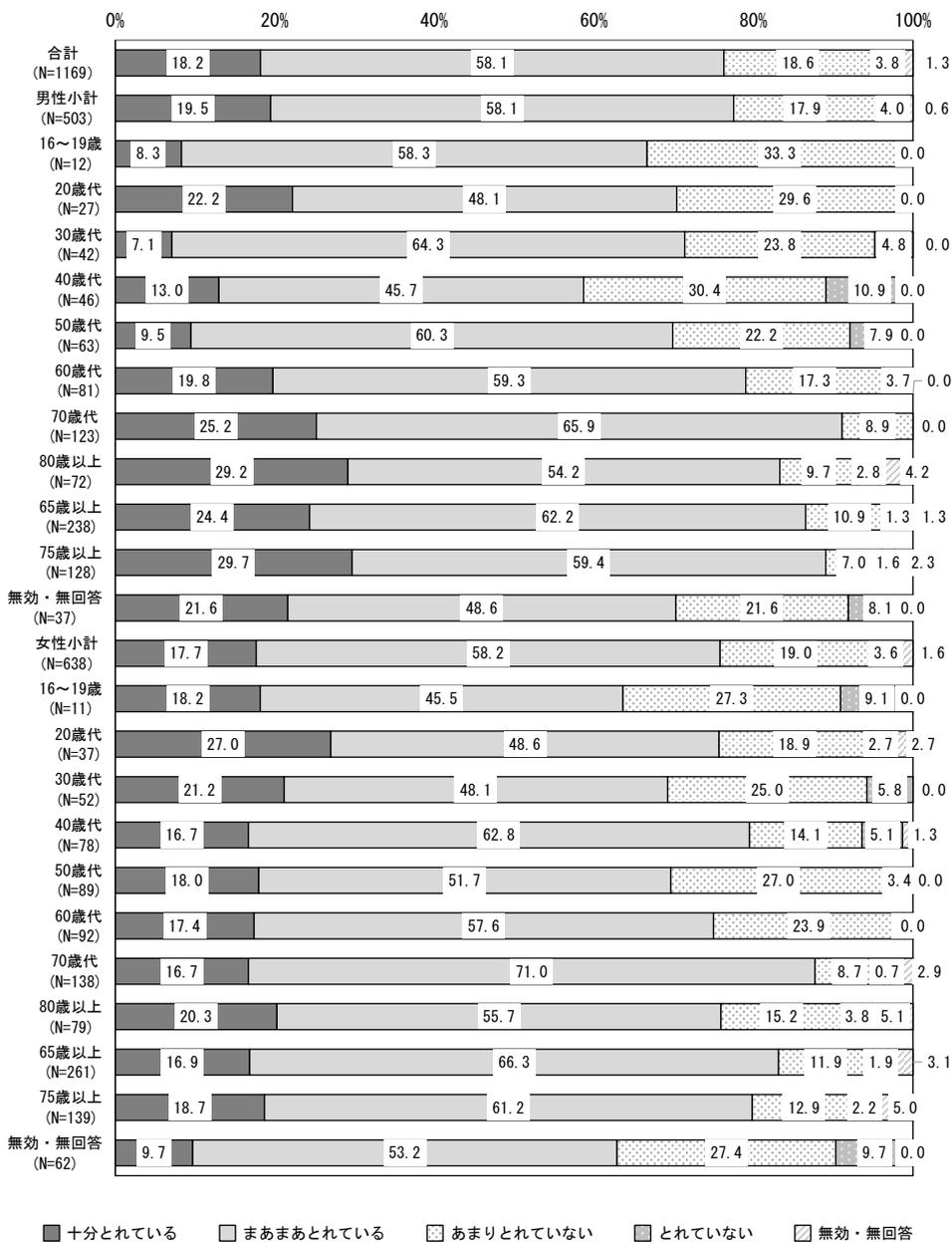
【全体】

「まあまあとれている」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が 18.6%、「十分とれている」の割合が 18.2%となっている。

【性・年齢別】

「あまりとれていない」「とれていない」の割合が高いのは、男性の 16～19 歳、40 歳代、50 歳代、女性の 16～19 歳、30 歳代、50 歳代であり、3 割以上となっている。

<睡眠による休養（全体、性・年齢別）>



問15-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、睡眠による休養に変化はありますか。

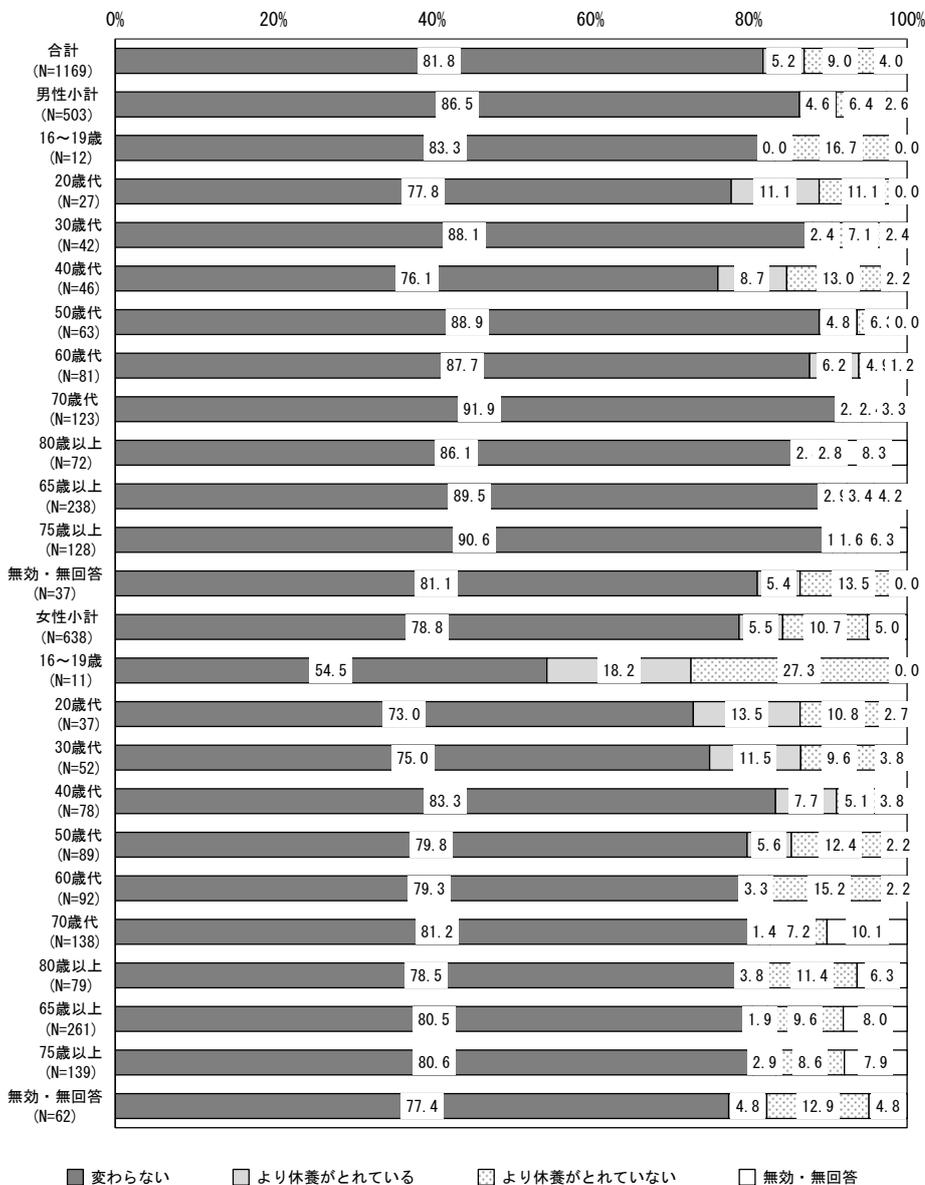
【全体】

「変わらない」の割合が81.8%と最も高く、次いで「より休養がとれていない」の割合が9.0%、「より休養がとれている」の割合が5.2%となっている。

【性・年齢別】

より休養がとれていないと回答した割合が高いのは、女性の16～19歳代であり、2割以上となっている。

＜睡眠による休養の変化（全体、性・年齢別）＞



問16 コロナ流行前と比べて生活習慣の質問（問9. 飲酒、問10. 喫煙、問12. 運動、問13 身体活動問14. 睡眠、問15. 休養）で変化があったと答えた方にお伺いします。変化した理由であてはまるものすべてに○をしてください。

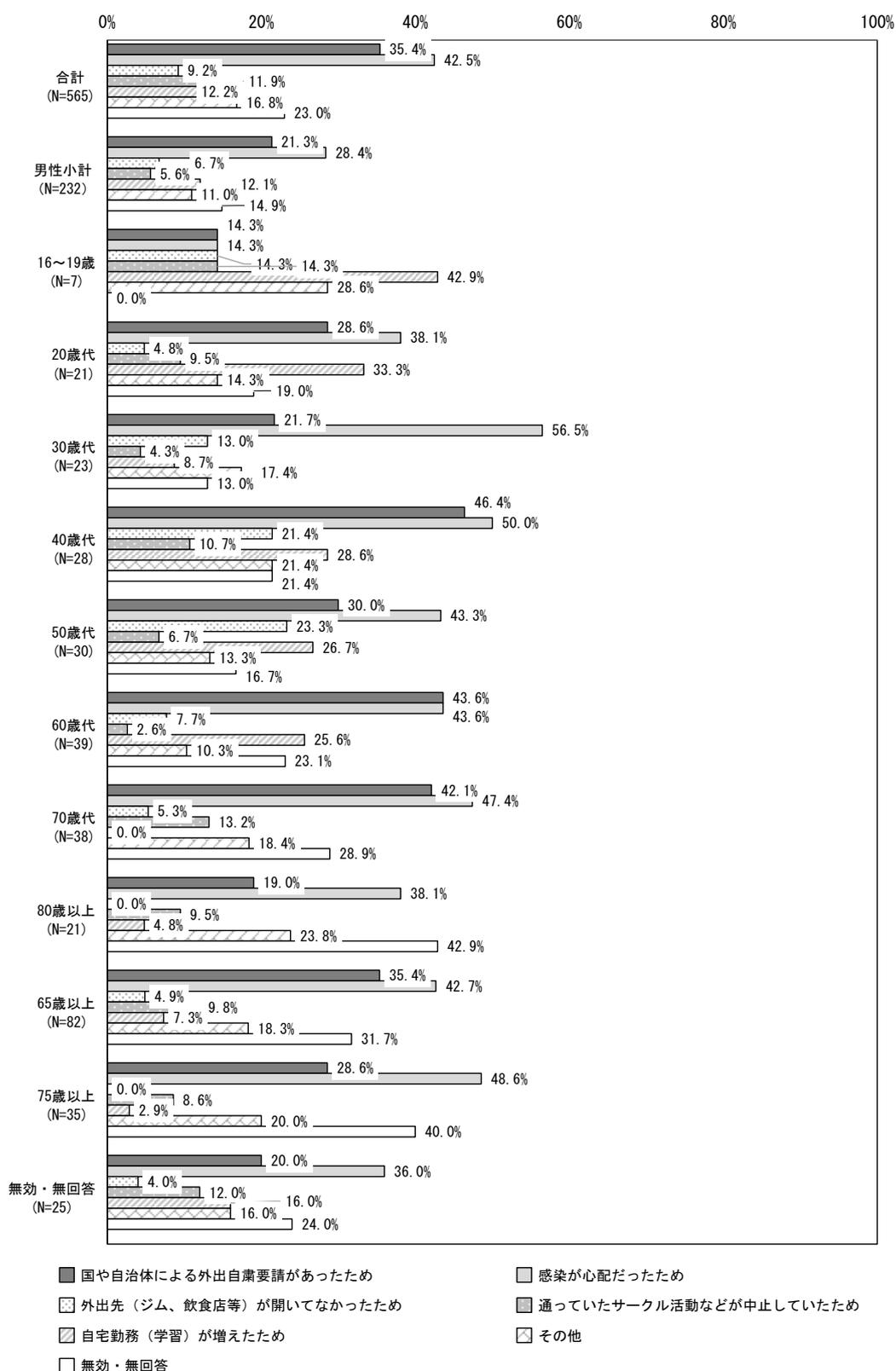
**【全体】**

「感染が心配だったため」と回答した割合が42.5%と最も高く、次いで「国や自治体による外出自粛要請があったため」の割合が35.4%、「その他」の割合が16.8%となっている。その他の意見では「出産や育児により生活習慣が変わったため」「職場の勤務体系が変わったため」などの意見が挙げられている。

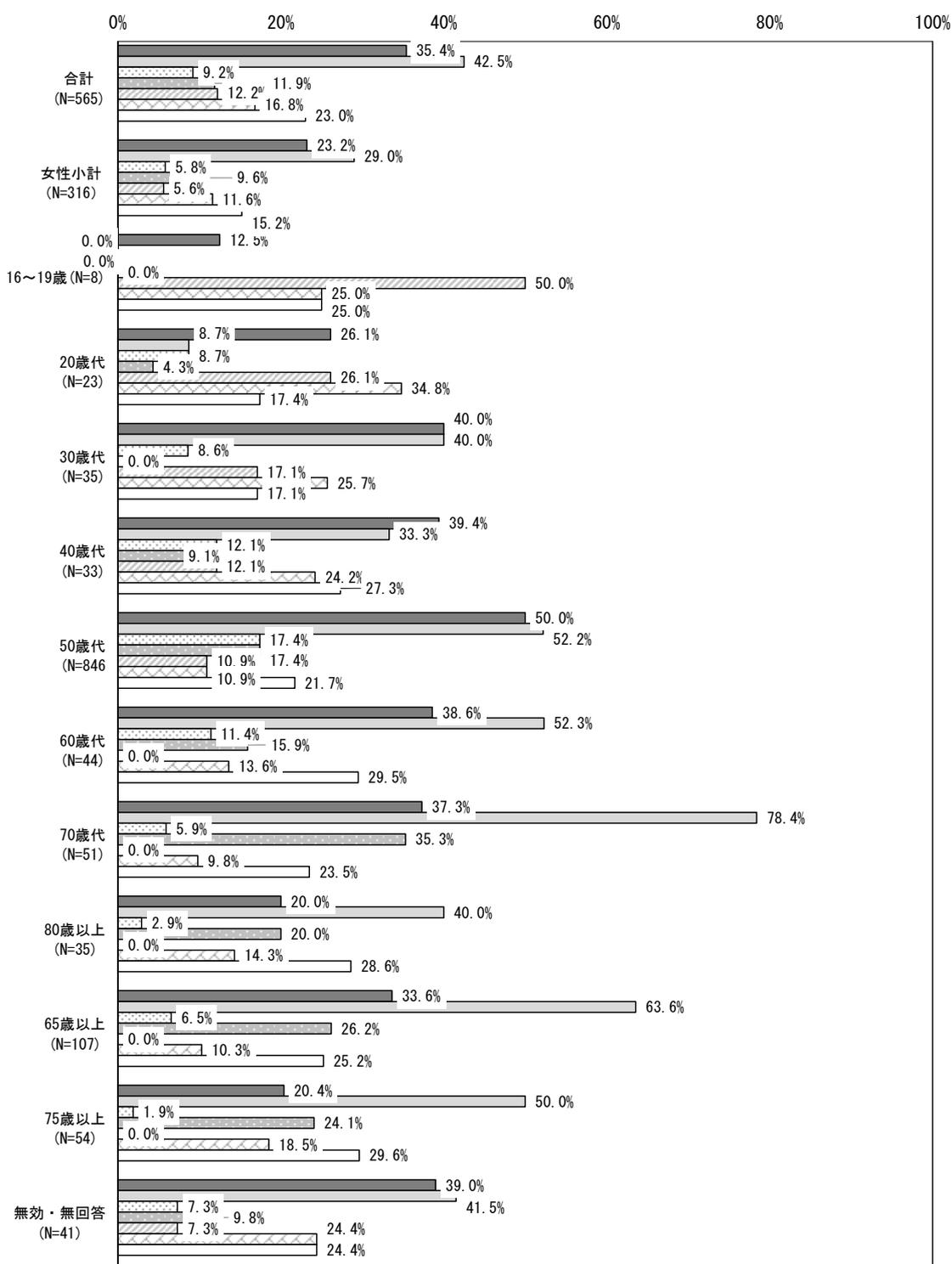
**【性・年齢別】**

「感染が心配だったため」と回答した割合が高いのは、男性の30歳代、40歳代、女性の50歳代から70歳代であり、5割以上が理由として挙げている。特に女性の70歳代は78.4%となっている。

<生活習慣が変化した理由（全体、男性・年齢別）>



＜生活習慣が変化した理由（女性・年齢別）＞



- 国や自治体による外出自粛要請があったため
- 感染が心配だったため
- ▨ 外出先（ジム、飲食店等）が開いてなかったため
- 通っていたサークル活動などが中止していたため
- ▨ 自宅勤務（学習）が増えたため
- ▨ その他
- 無効・無回答

問17 あなたは、悩み、ストレスなどのために身体や心の不調がありますか。

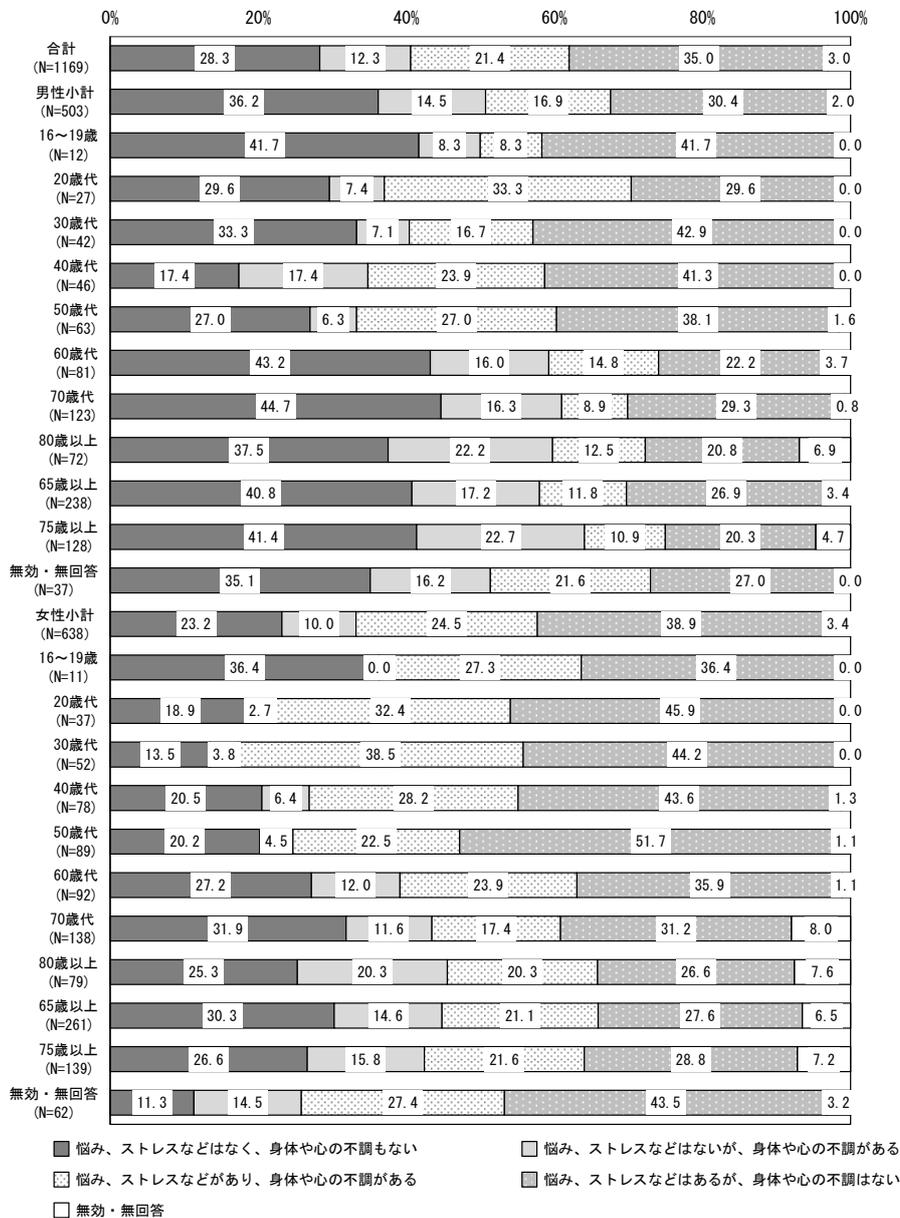
【全体】

「悩み、ストレスなどはあるが、身体や心の不調はない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「悩み、ストレスなどはなく、身体や心の不調もない」の割合が28.3%、「悩み、ストレスなどがあり、身体や心の不調がある」の割合が21.4%となっている。

【性・年齢別】

「悩み、ストレスなどがあり、身体や心の不調がある」の割合が高いのは、男性の20歳代、女性の20歳代、30歳代であり、3割以上となっている。

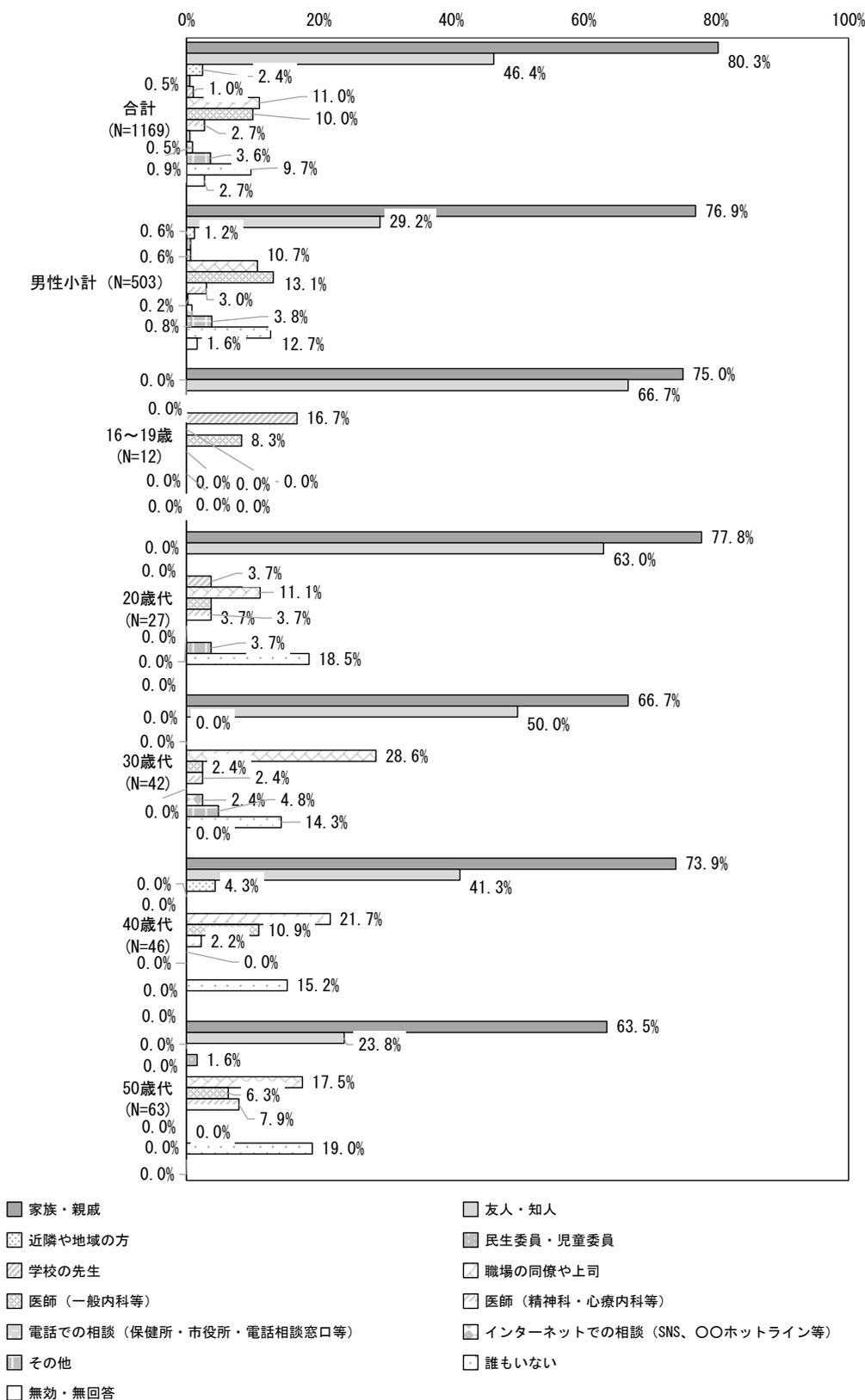
<悩み、ストレスによる不調（全体、性・年齢別）>

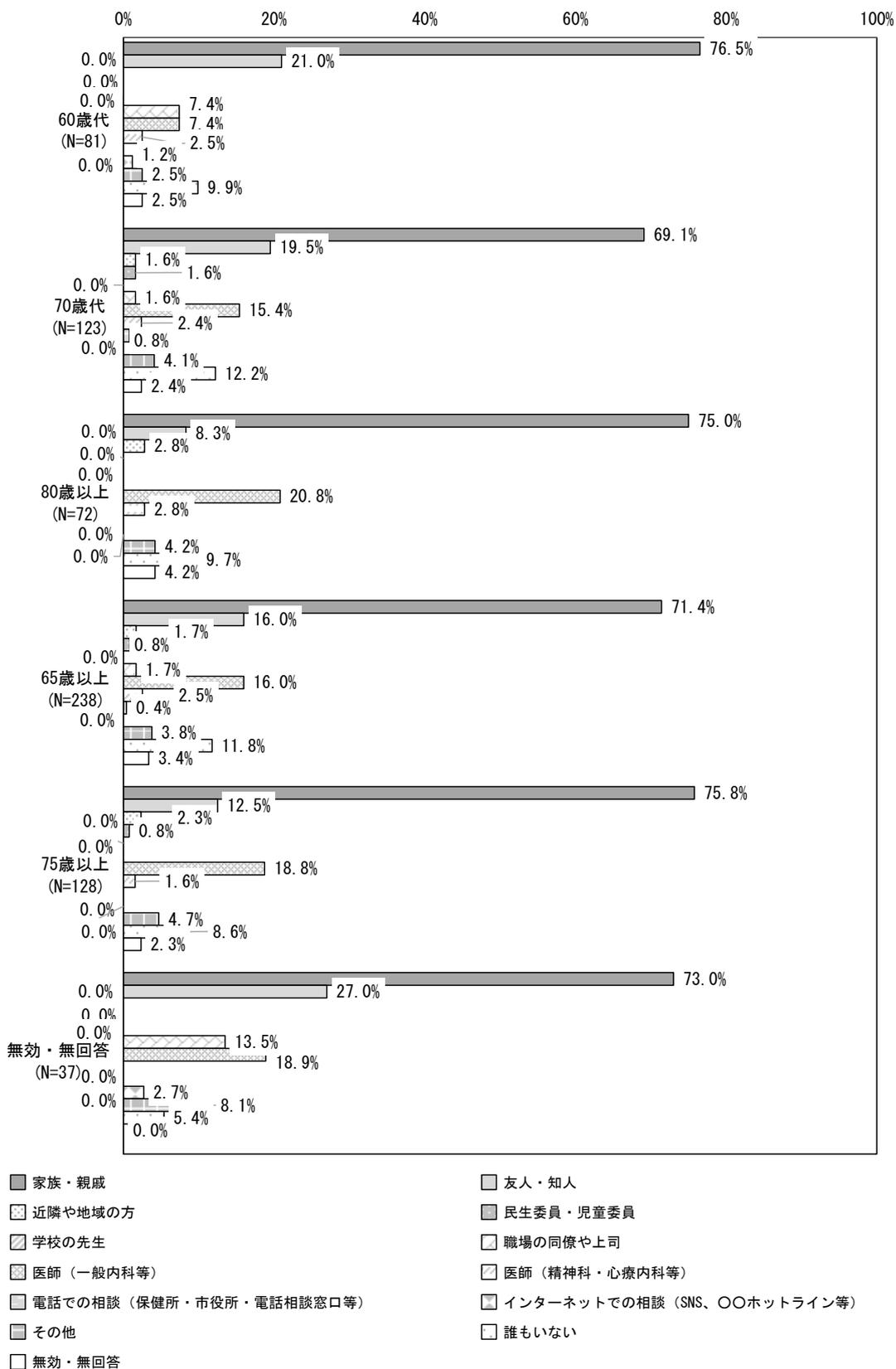


問18 あなたは、心配ごとや悩みを誰に相談しますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

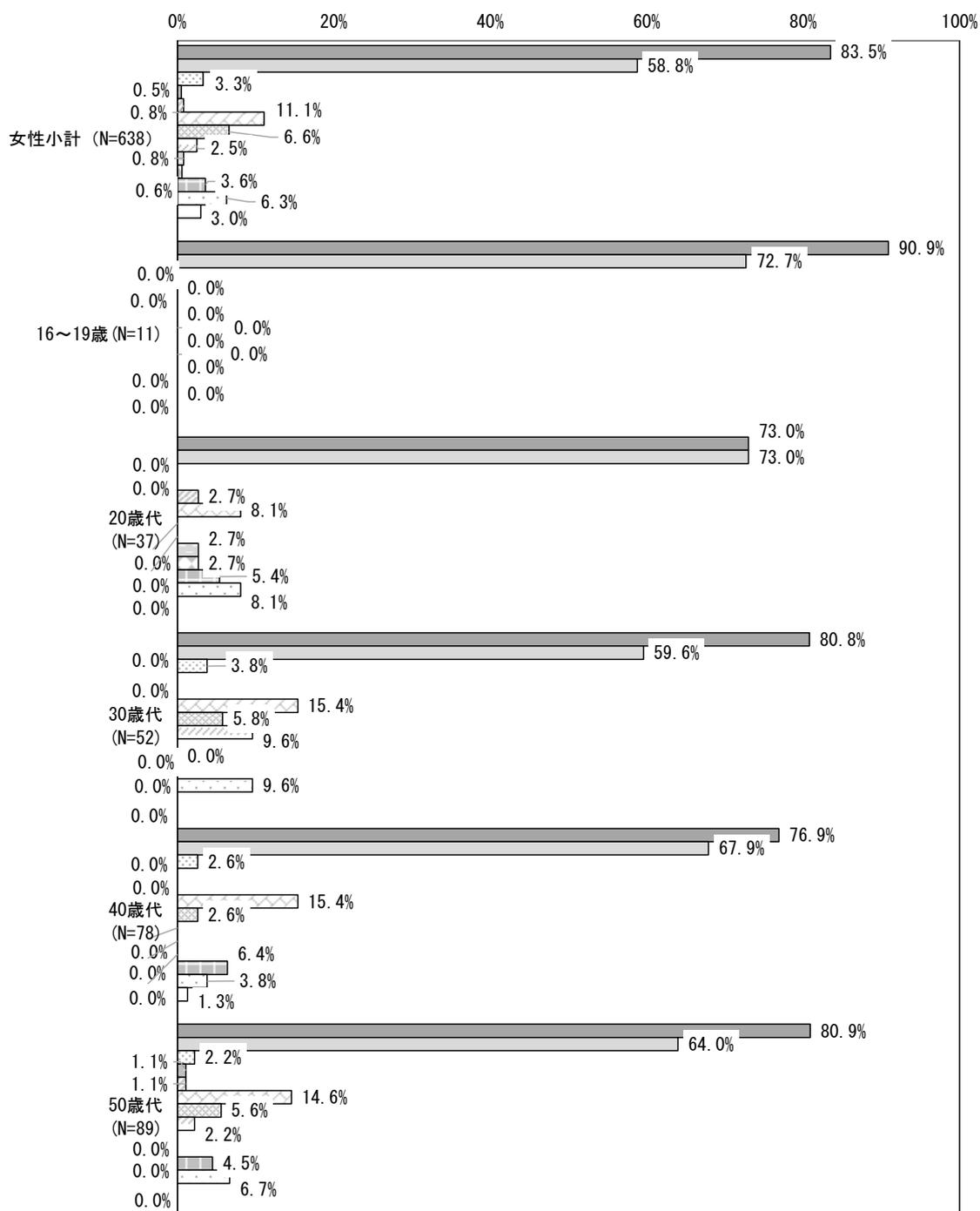
「家族・親戚」の割合が80.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が46.4%、「職場の同僚や上司」の割合が11.0%となっている。その他の意見では「資格をもったカウンセラー」「普段利用している職員」などの意見と、「誰にもしない」「人に話さないようにしている」などの意見も挙げられている。

<相談先（全体、男性・年齢別）>

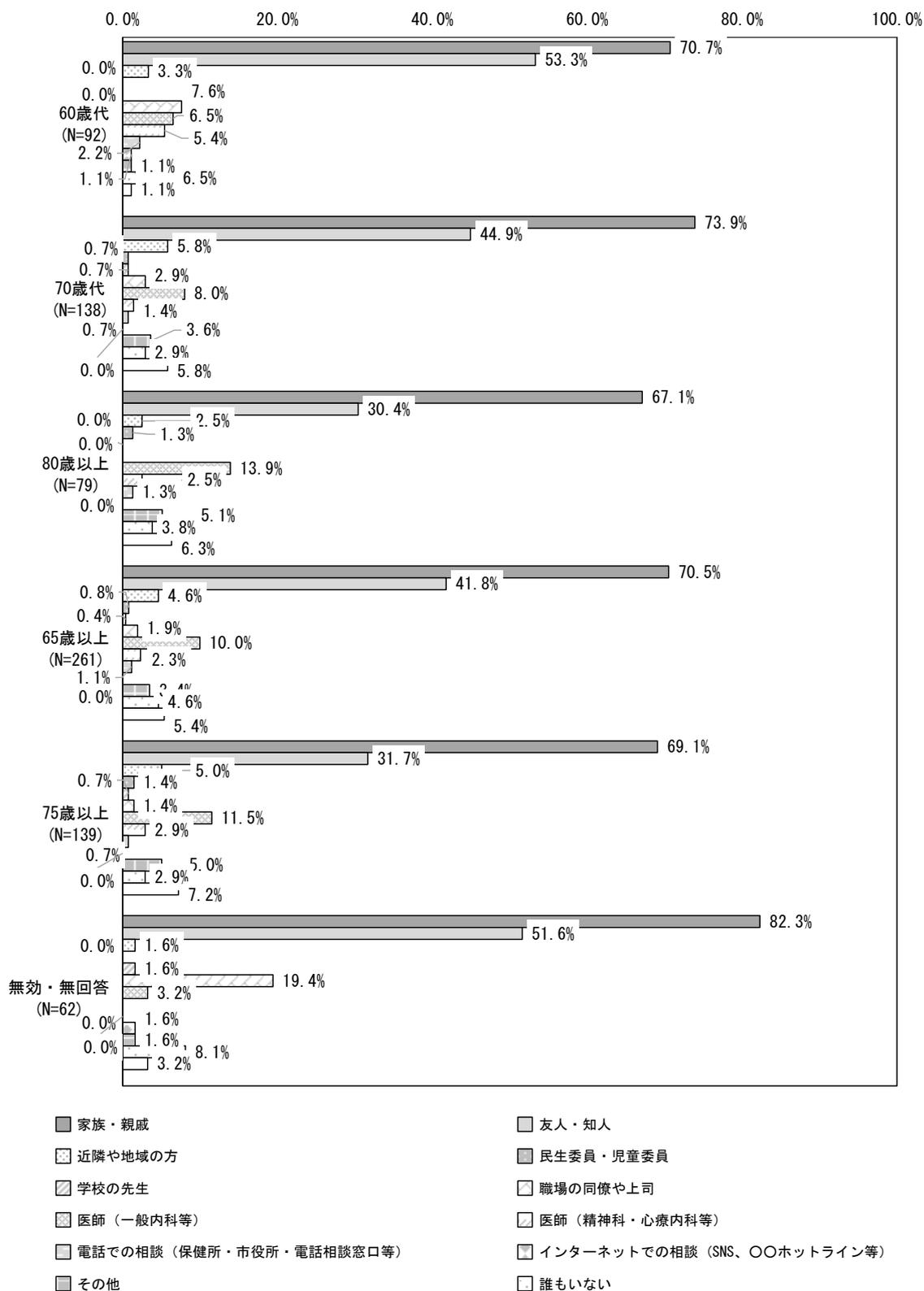




<相談先（女性・年齢別）>



- 家族・親戚
- 友人・知人
- ▨ 近隣や地域の方
- 民生委員・児童委員
- ▨ 学校の先生
- ▨ 職場の同僚や上司
- ▨ 医師（一般内科等）
- ▨ 医師（精神科・心療内科等）
- ▨ 電話での相談（保健所・市役所・電話相談窓口等）
- ▨ インターネットでの相談（SNS、〇〇ホットライン等）
- その他
- 誰もいない
- 無効・無回答



問19 あなたは、かかりつけ医（又はかかりつけ医療機関）がいますか（ありますか）。

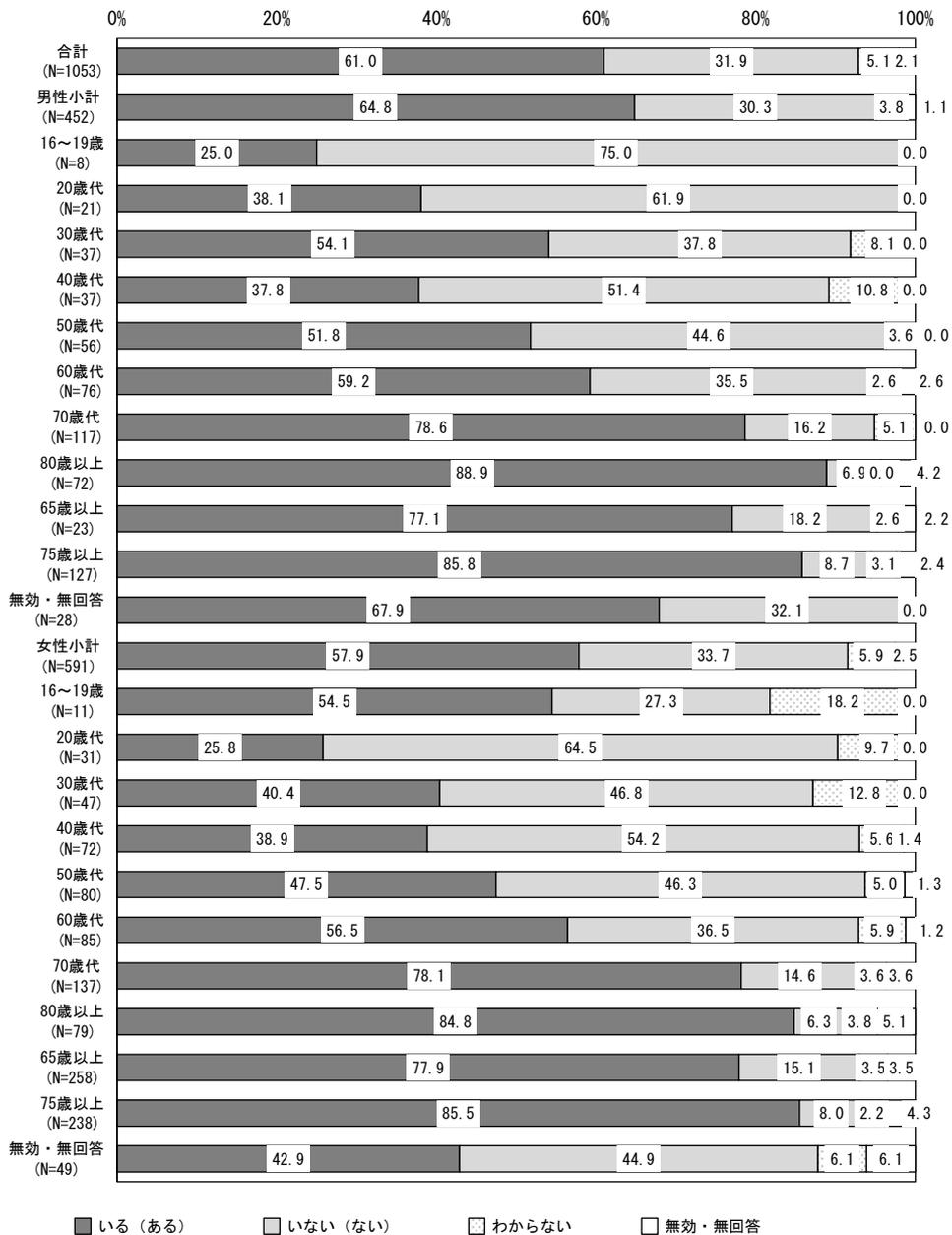
【全体】

「いる（ある）」の割合が61.0%となっている。

【性・年齢別】

「いない（ない）」の割合が高いのは、男性は16～19歳、20歳代、女性は20歳代で概ね6割以上となっている。男女ともに年齢が上がると「いる（ある）」の割合が増えている。

<かかりつけ医（全体、性・年齢別）>



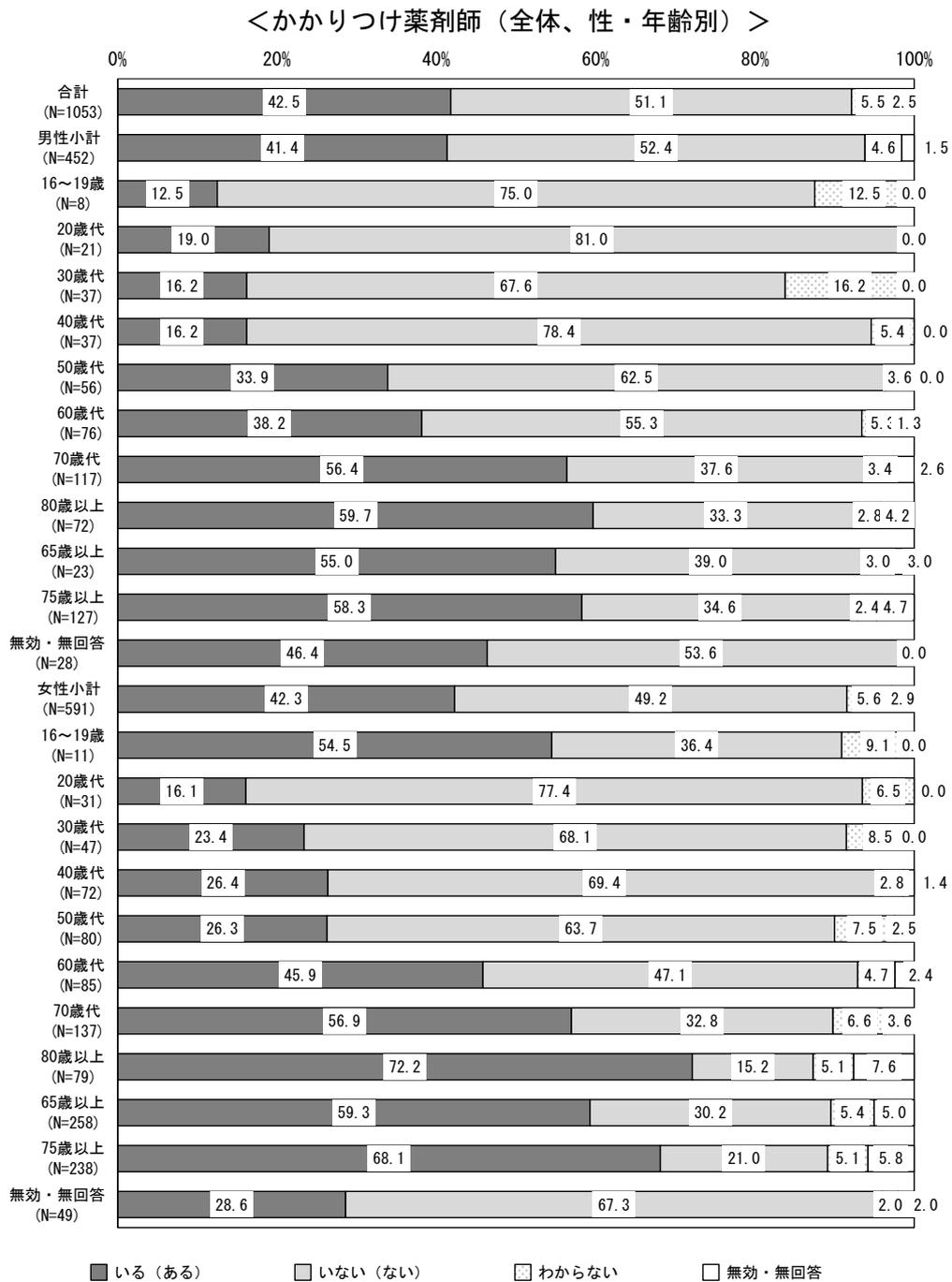
問20 あなたは、かかりつけ薬剤師（又はかかりつけ薬局）がいますか（ありますか）。

【全体】

「いる（ある）」の割合が42.5%となっている。

【性・年齢別】

「いない（ない）」の割合が高いのは、男性は20歳代以下、40歳代、女性は20歳代で7割以上となっている。男性は70歳代、女性は60歳代から「いる（ある）」の割合が増えている。



問 2 1 あなたのお住まいの地域は、お互いに助け合っていると思いますか。

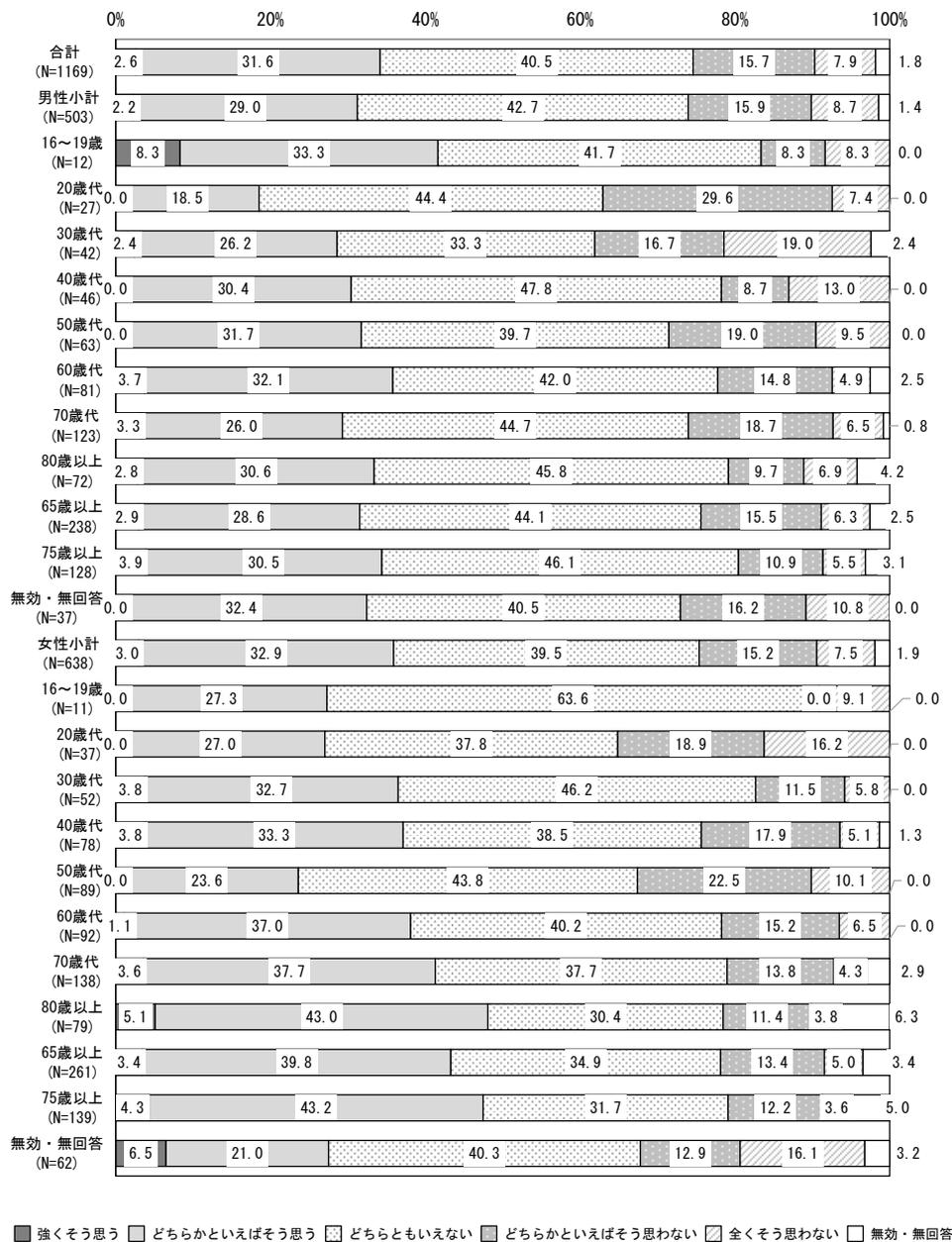
【全体】

「どちらともいえない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 31.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 15.7%となっている。

【性・年齢別】

「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が高いのは、男性は 16～19 歳、女性は 70 歳代以上で 4 割以上となっている。

<助け合い（全体、性・年齢別）>

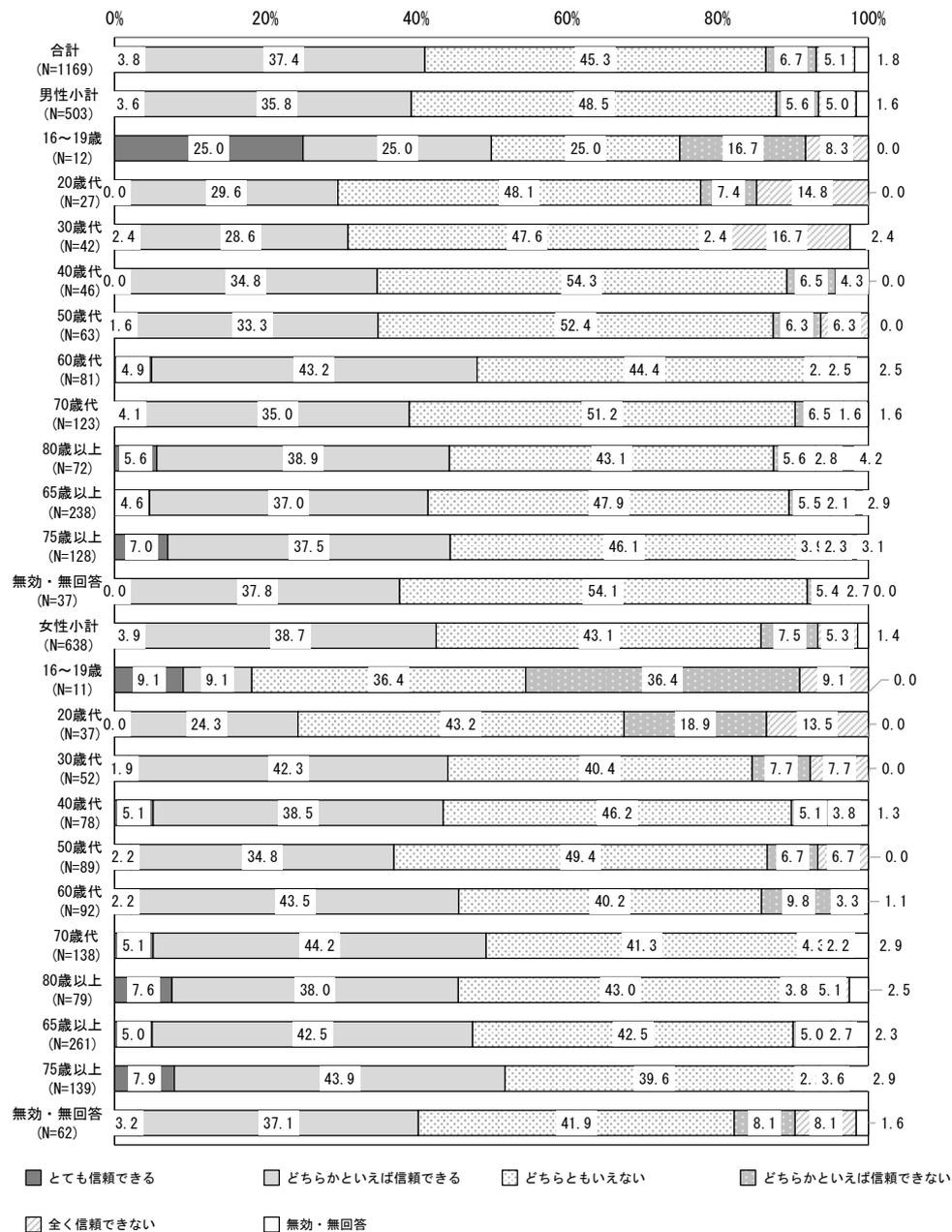


問 2 2 あなたは、近隣の人を一般的に信頼できますか。

【全体】

「どちらともいえない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば信頼できる」の割合が 37.4%、「どちらかといえば信頼できない」の割合が 6.7%となっている。

＜近隣の人への信頼（全体、性・年齢別）＞



問23 あなたは、この1年間で、以下の項目について1つでもボランティア活動をしましたか。

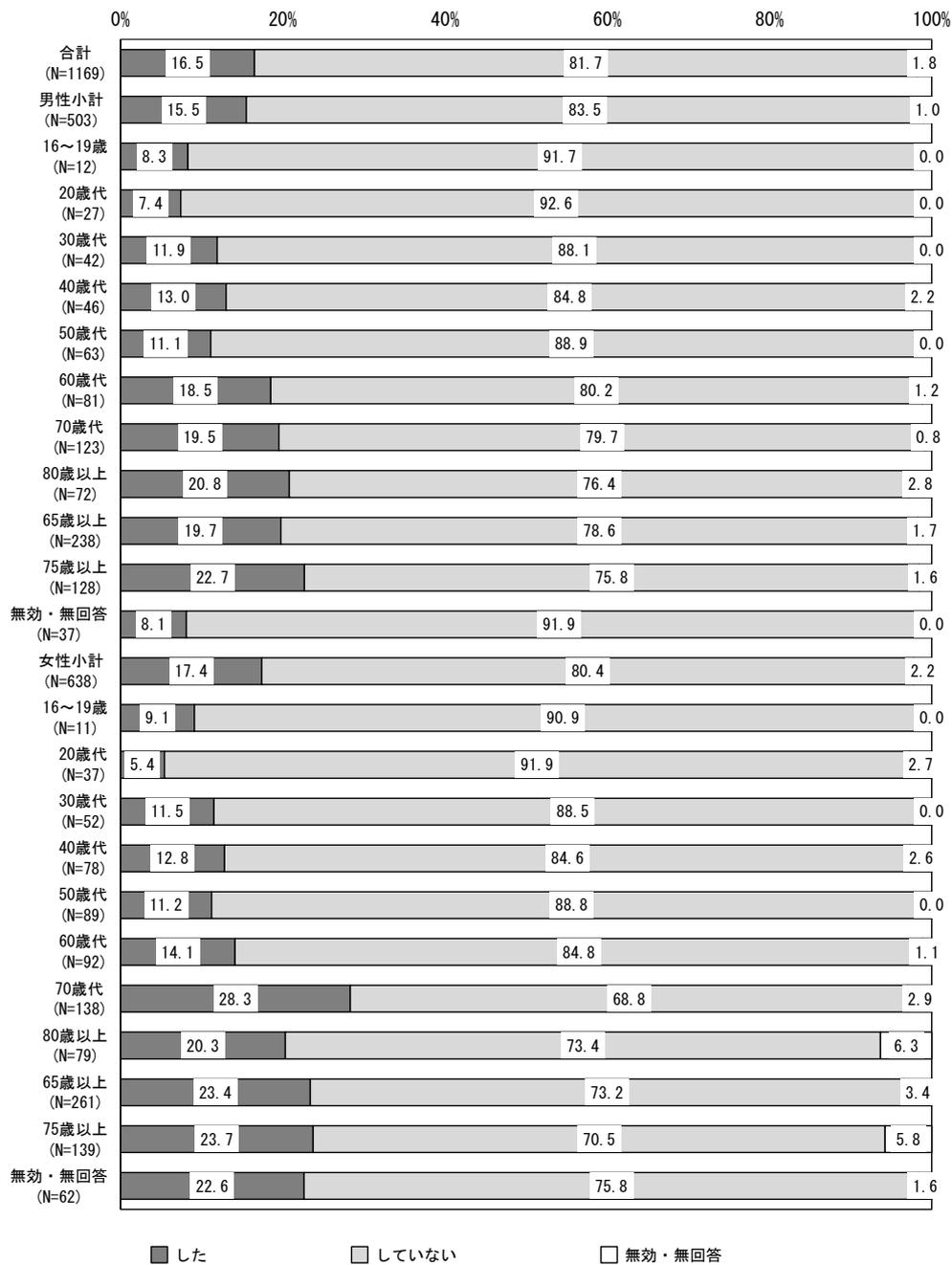
【全体】

「した」の割合が16.5%となっている。

【性・年齢別】

「した」の割合が高いのは、男性は60歳以上、女性は70歳以上となっている。

<ボランティア（全体、性・年齢別）>



問 2 4 あなたは、生活の中で夢中になれることがありますか。

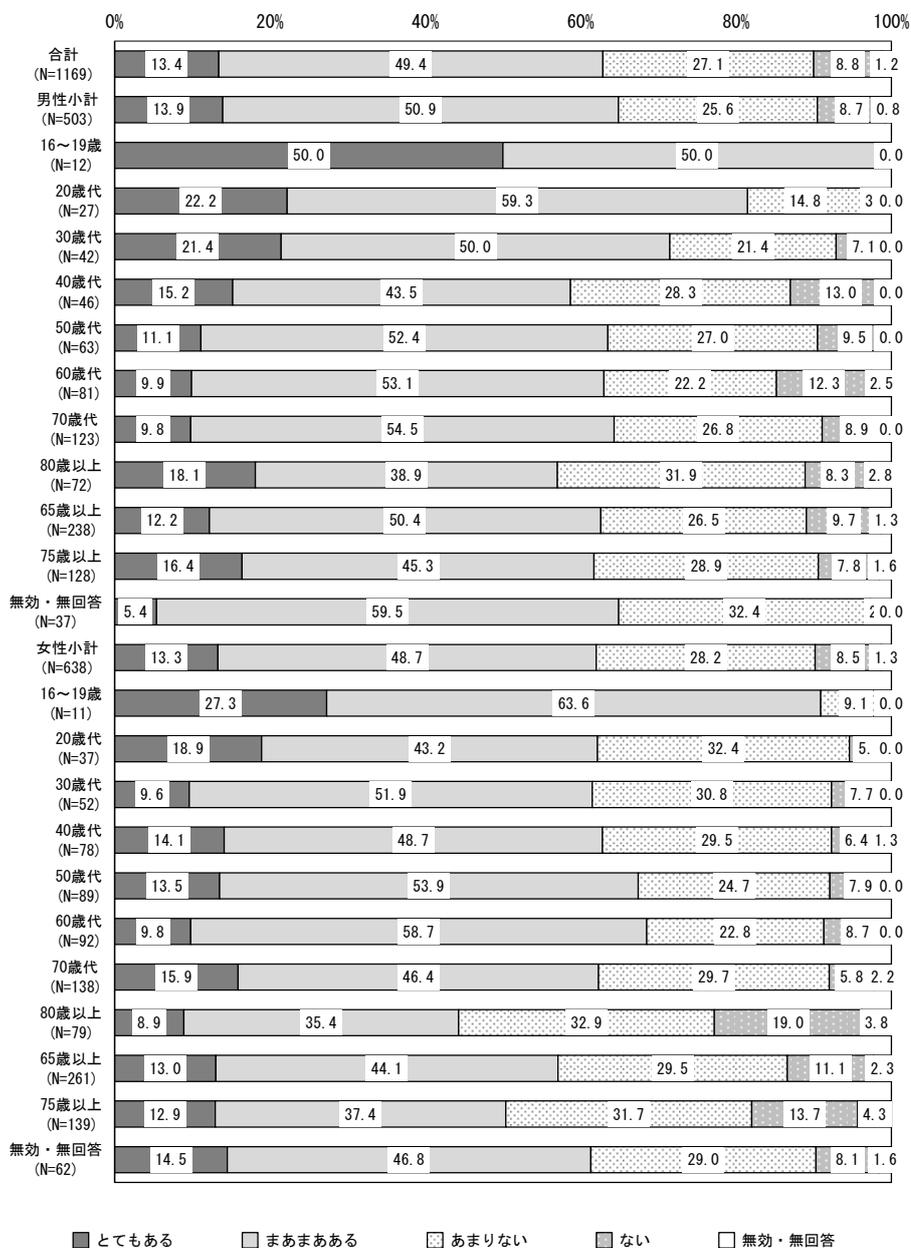
【全体】

「まあまあある」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 27.1%、「とてもある」の割合が 13.4%となっている。

【性・年齢別】

「とてもある」、「まあまあある」の割合が高いのは、男性で 16～19 歳、20 歳代、女性は 16～19 歳であり、8 割を上回っている。

<夢中になれること（全体、性・年齢別）>



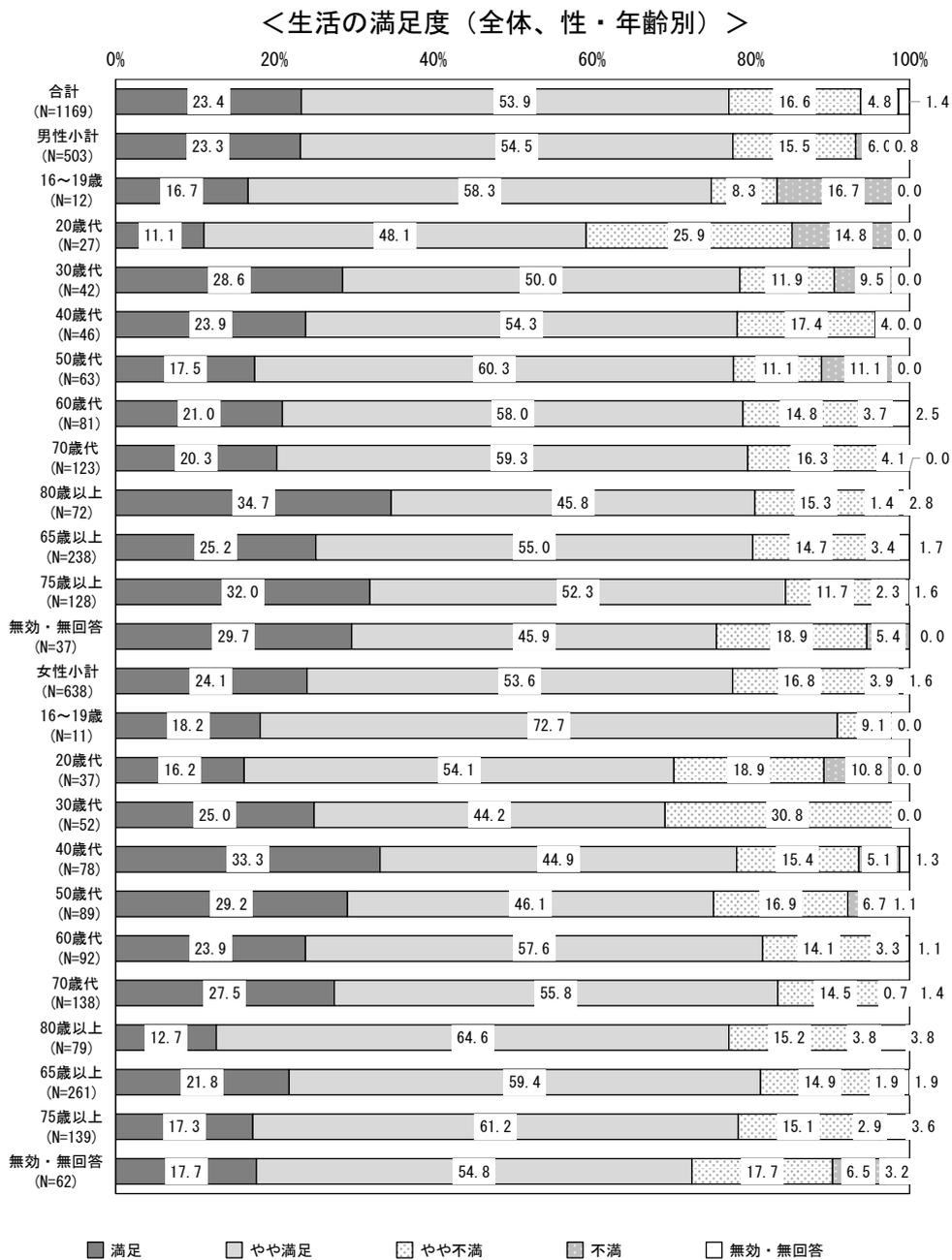
問 2 5 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

【全体】

「やや満足」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「満足」の割合が 23.4%、「やや不満」の割合が 16.6%となっている。

【性・年齢別】

「満足」、「やや満足」の割合が高いのは、男性は 80 歳以上、女性は 16～19 歳、60 歳代、70 歳代であり、8 割を上回っている。



### 3. 健康づくりについて

---

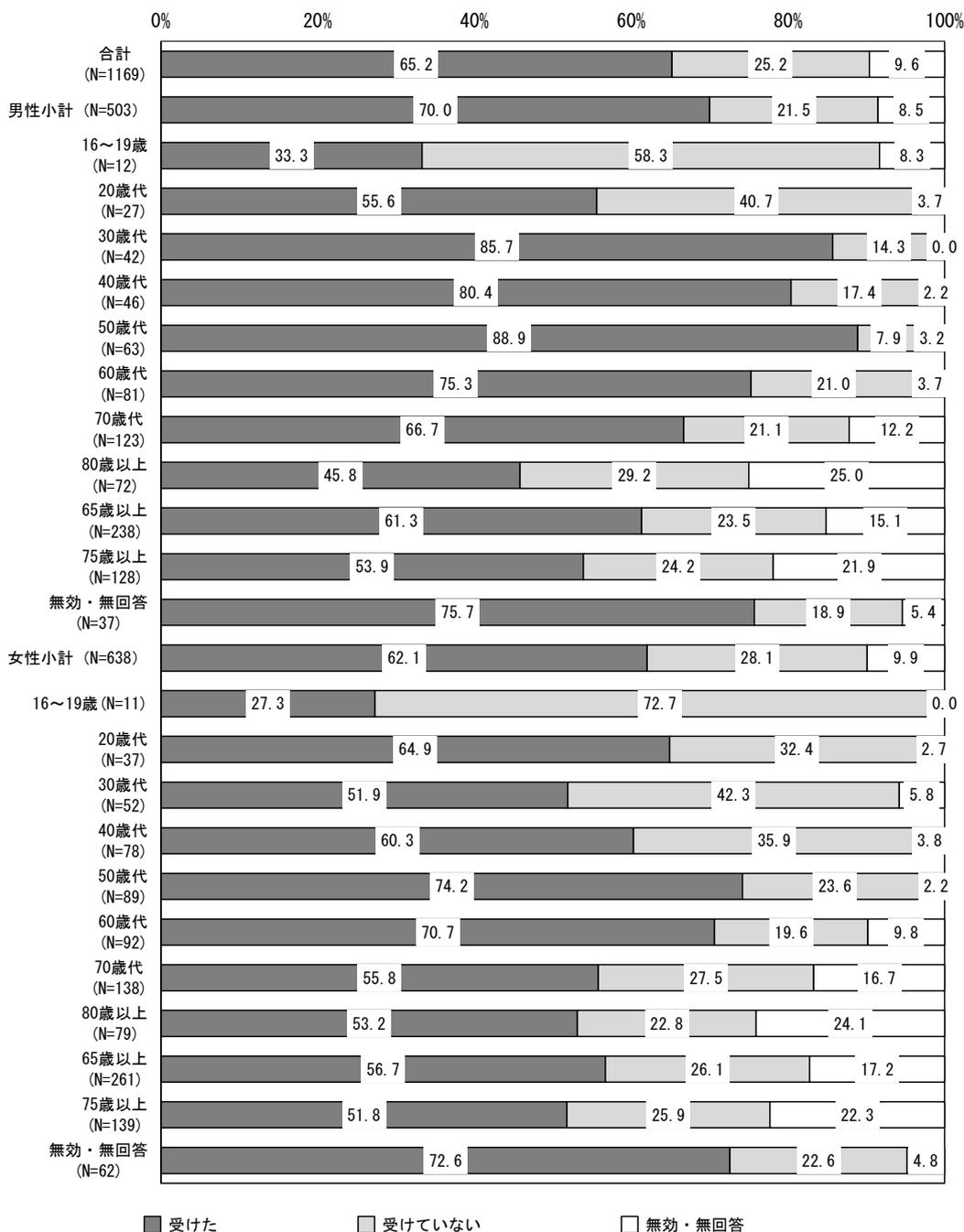
問26 あなたは、この1年間に次の検診（健診）を受けましたか。受診の有無や検診種別（どのような機会に受けたか）について、あてはまるものに○をしてください。

※がん検診については、健康診断、健康診査及び人間ドックの中で受診したものを含みます。

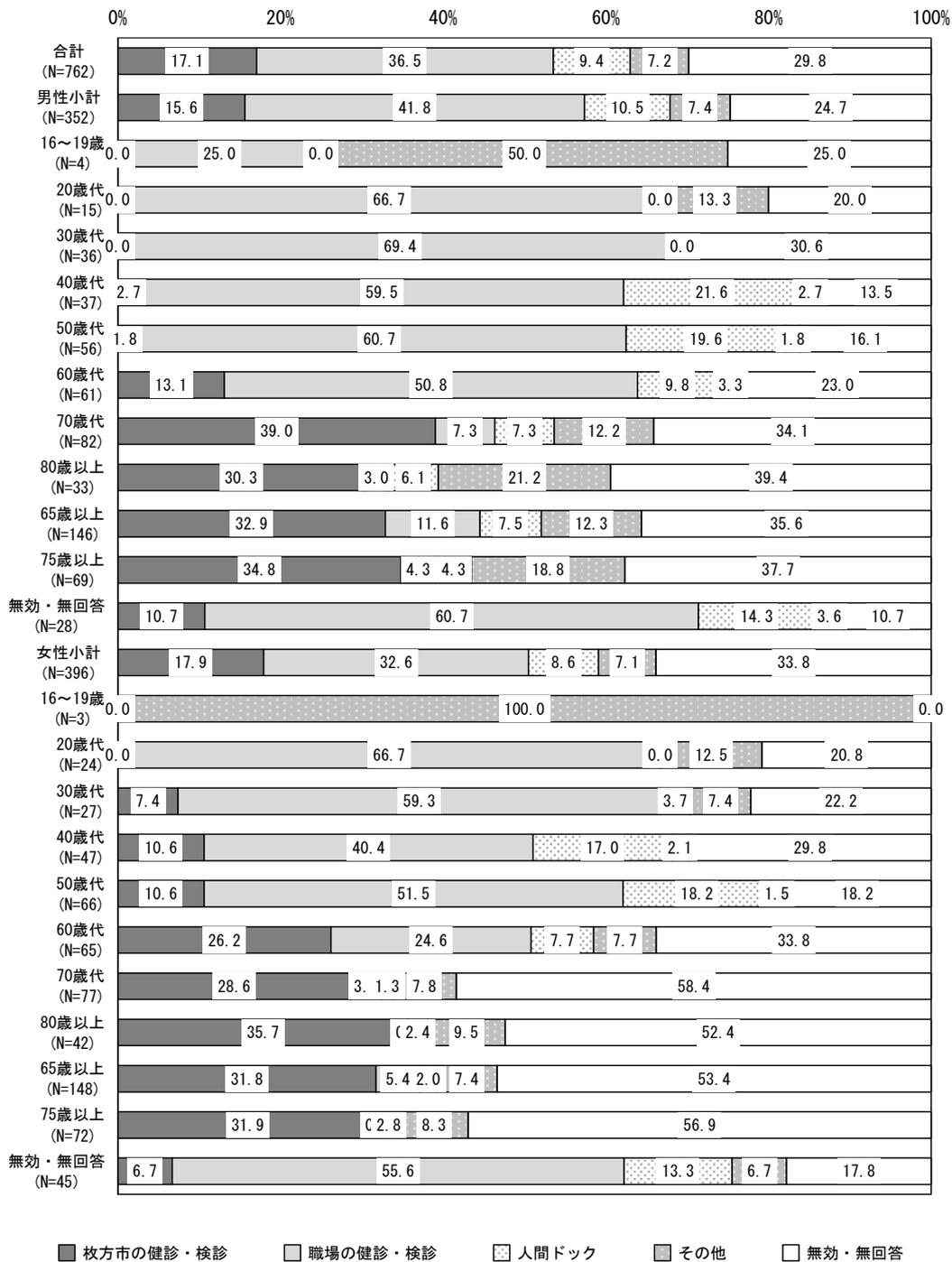
- (1) 住民健診、職場健診、特定健康診査、人間ドック、後期高齢者医療健康診査等  
※身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査など

「受けた」の割合 65.2%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が 17.1% となっている。

< 受診の有無（全体、性・年齢別） >



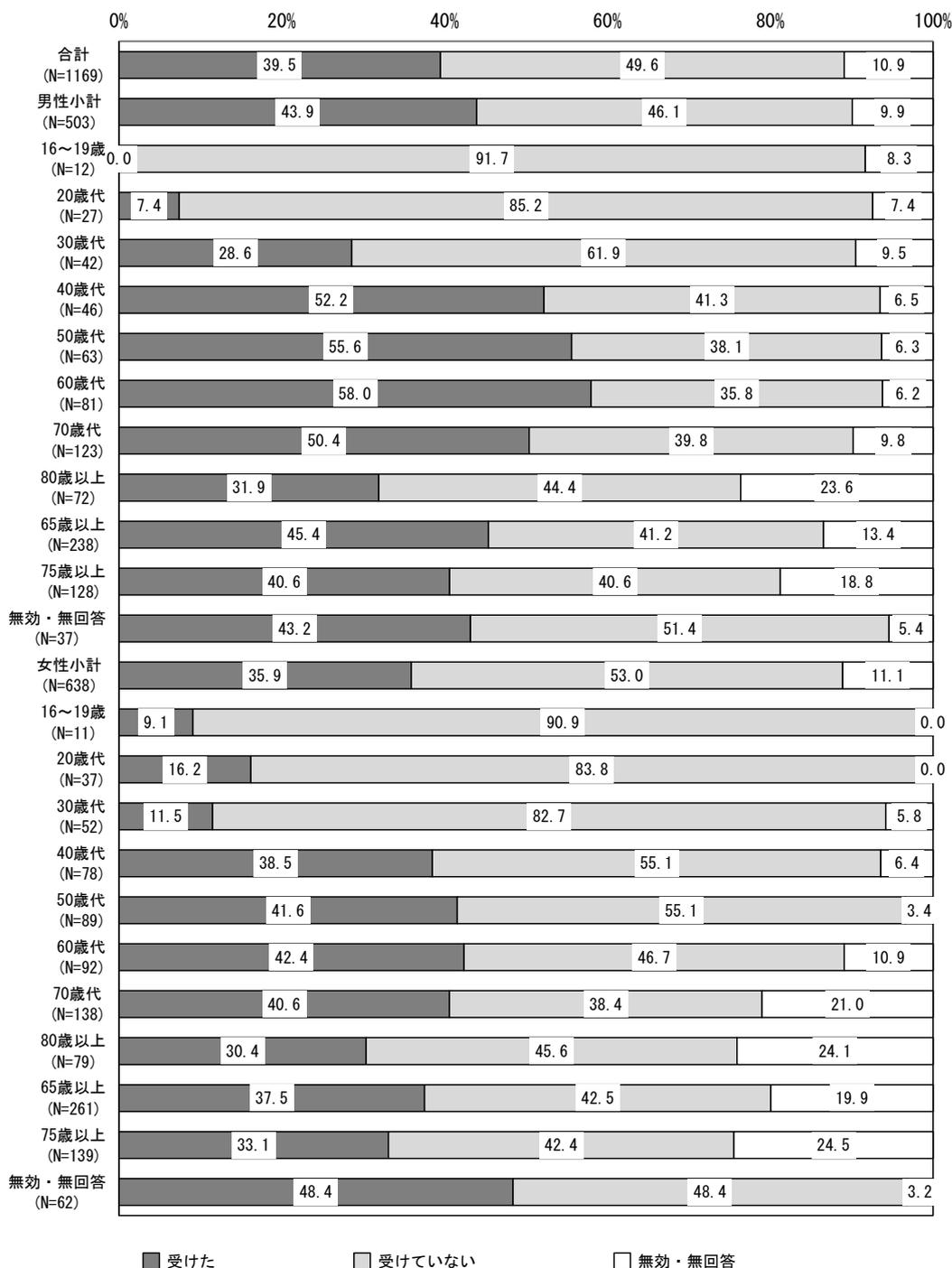
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



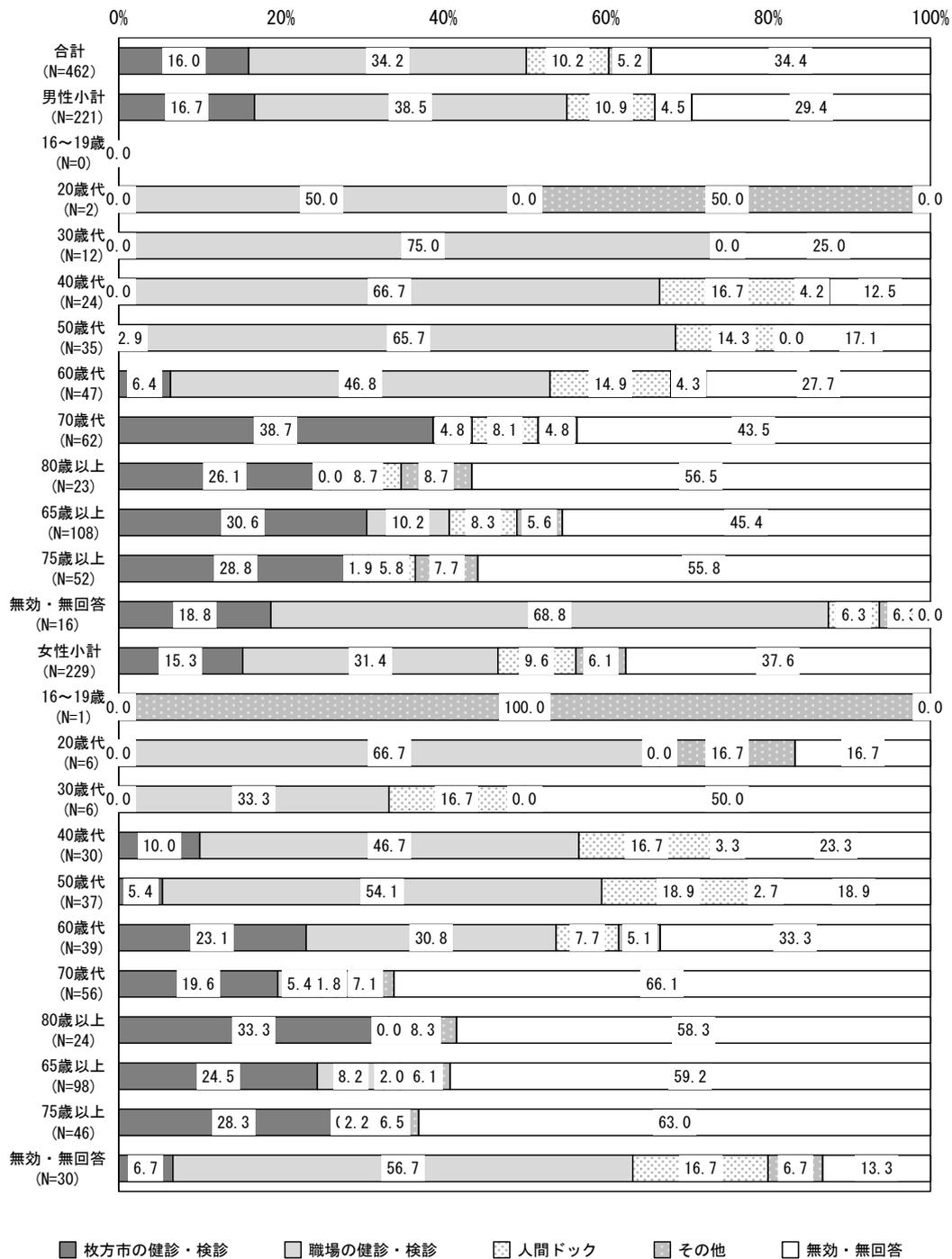
## (2) 肺がん検診

「受けた」の割合が39.5%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が34.2%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が16.0%となっている。

＜受診の有無（全体、性・年齢別）＞



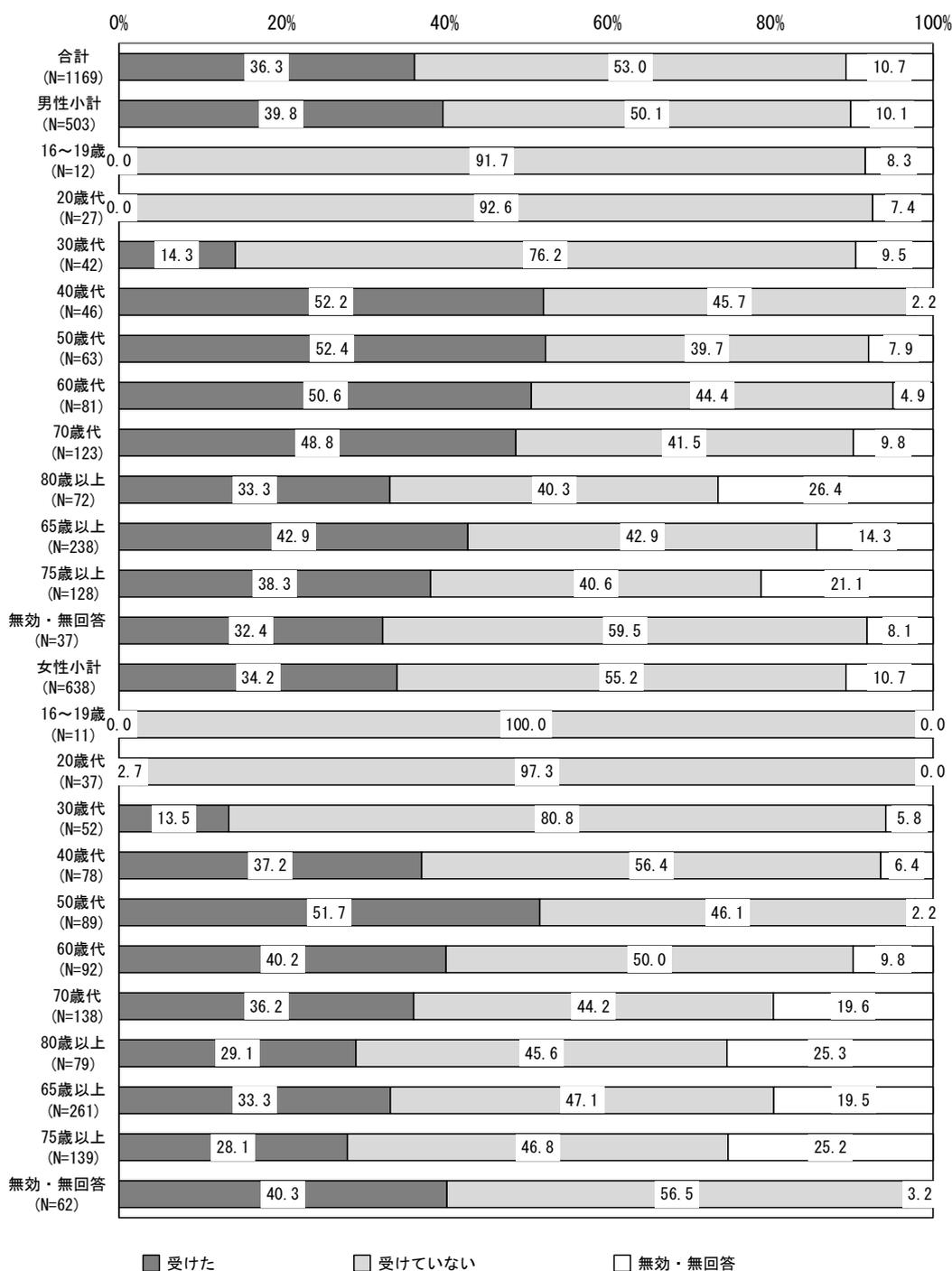
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



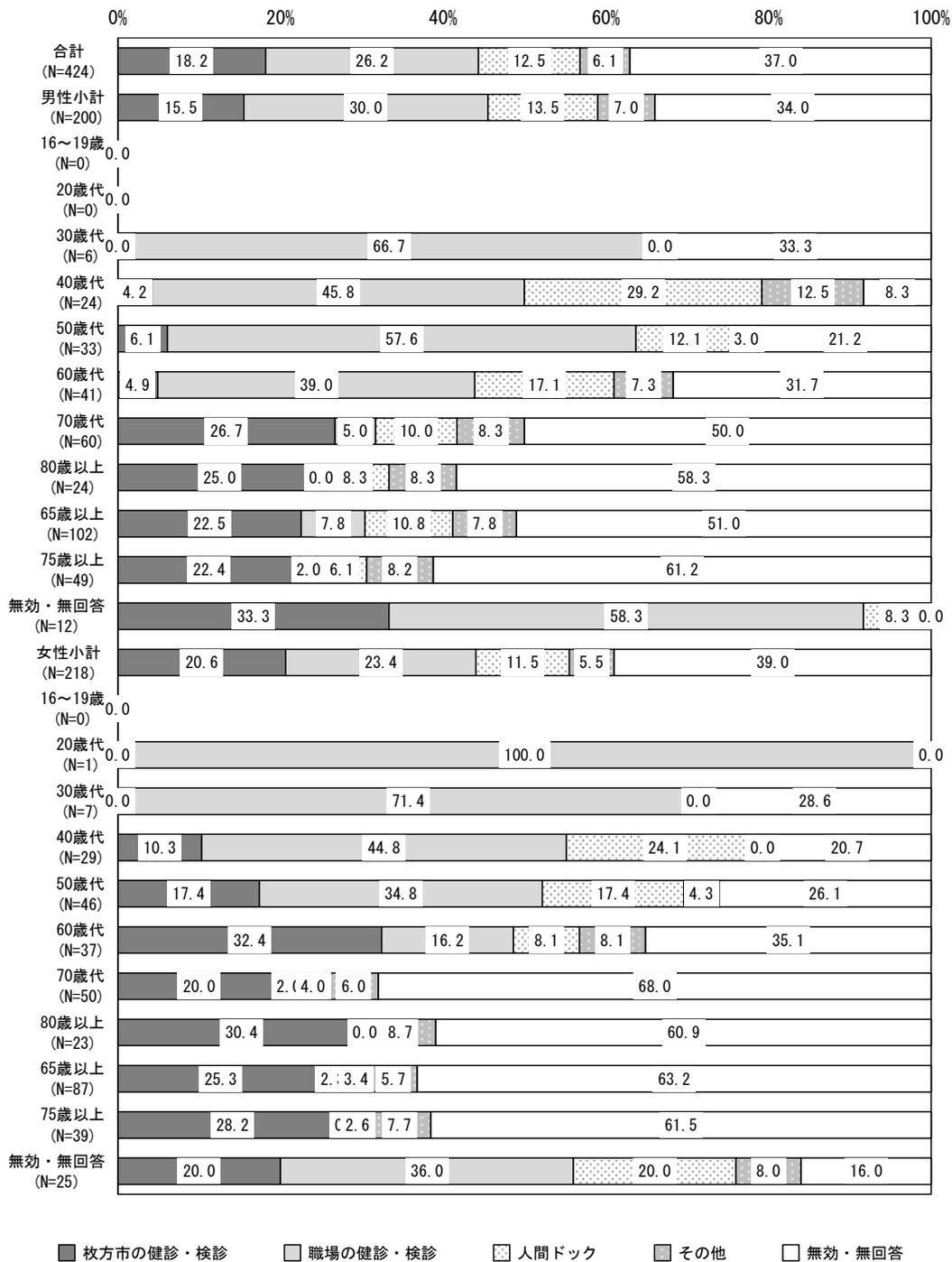
### (3) 大腸がん検診

「受けた」の割合が 36.3%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が 18.2%となっている。

< 受診の有無（全体、性・年齢別） >



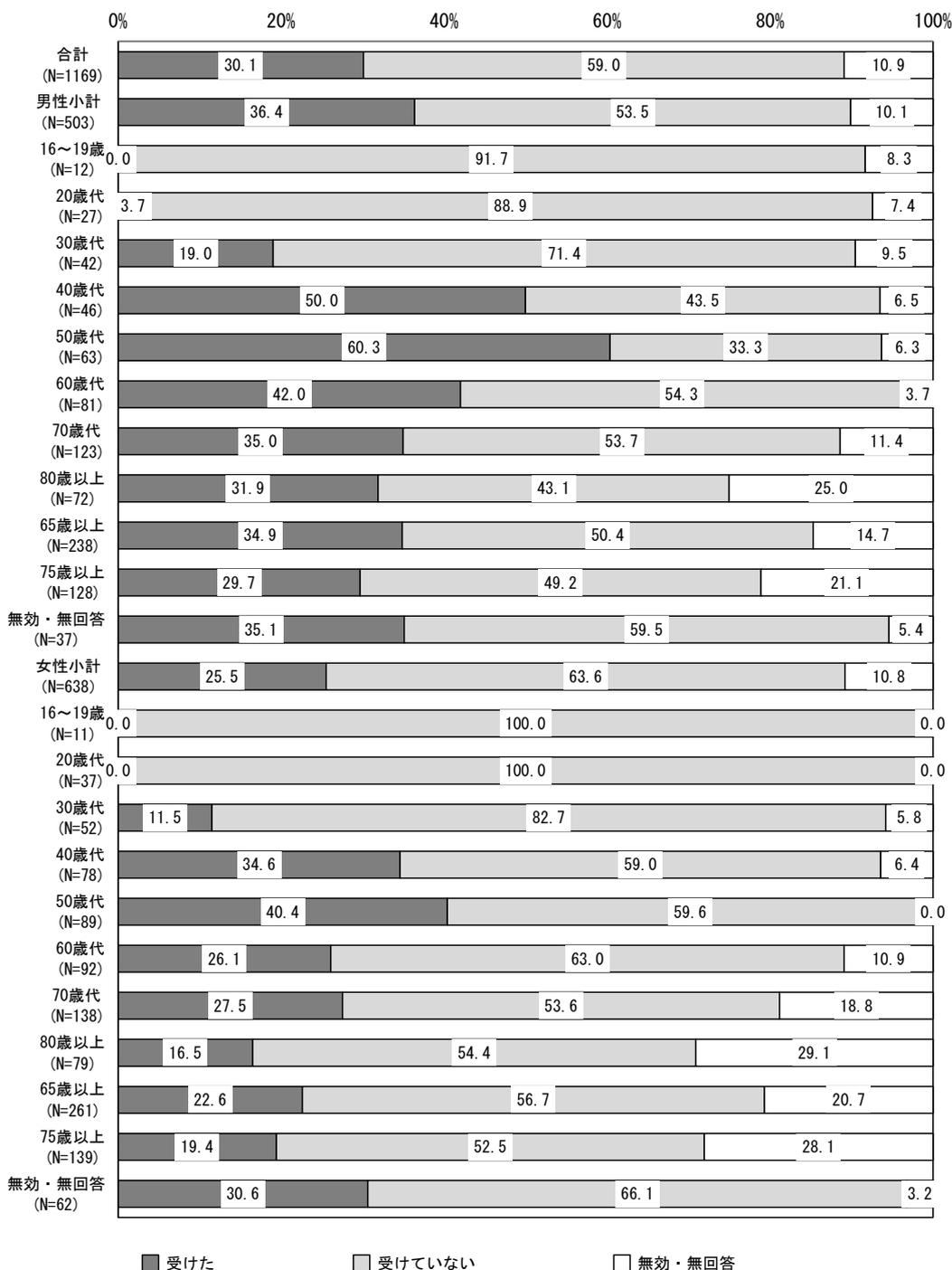
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



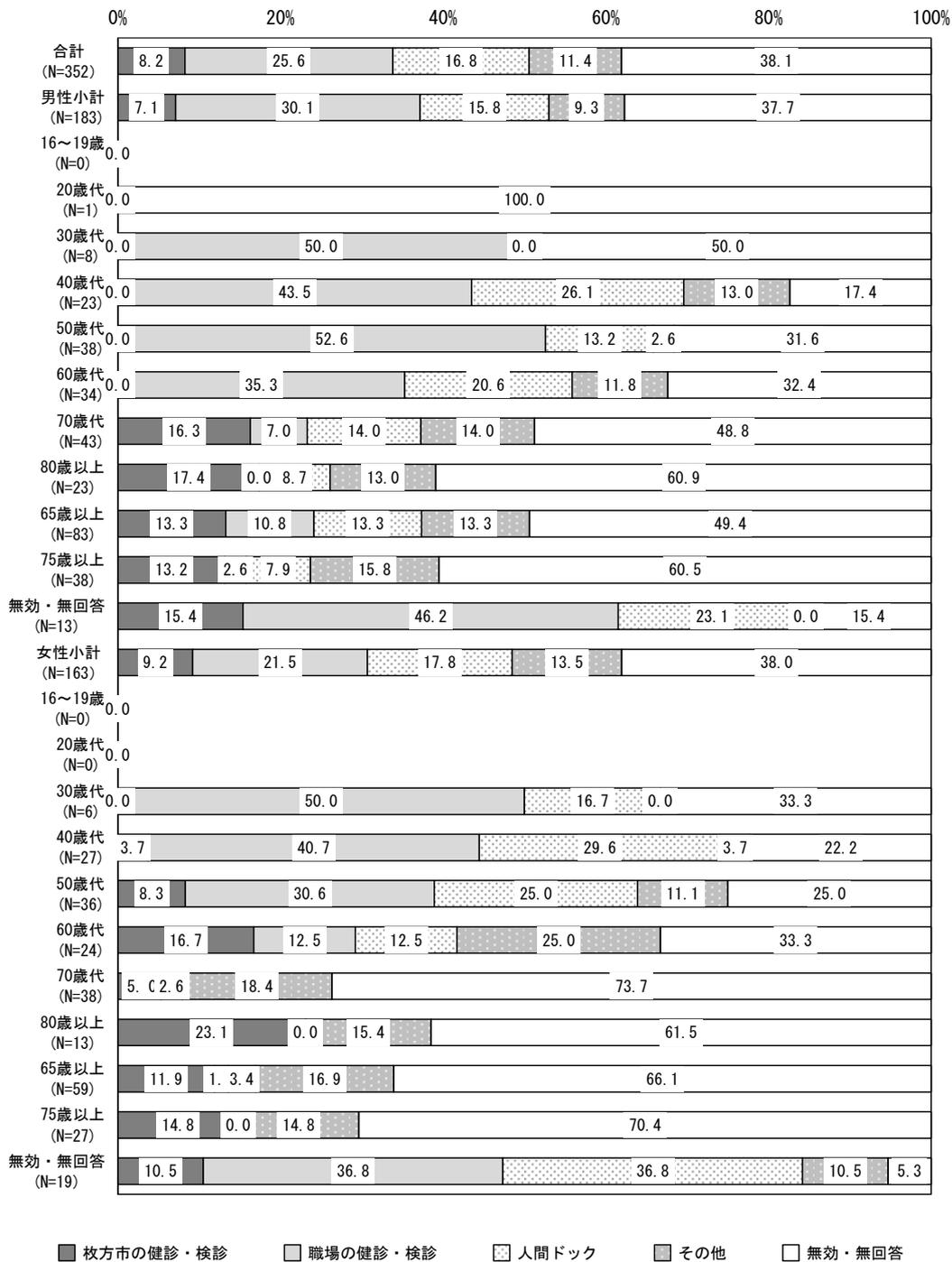
#### (4) 胃がん健診

「受けた」の割合が 30.1%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「人間ドック」の割合が 16.8%となっている。

<受診の有無（全体、性・年齢別）>

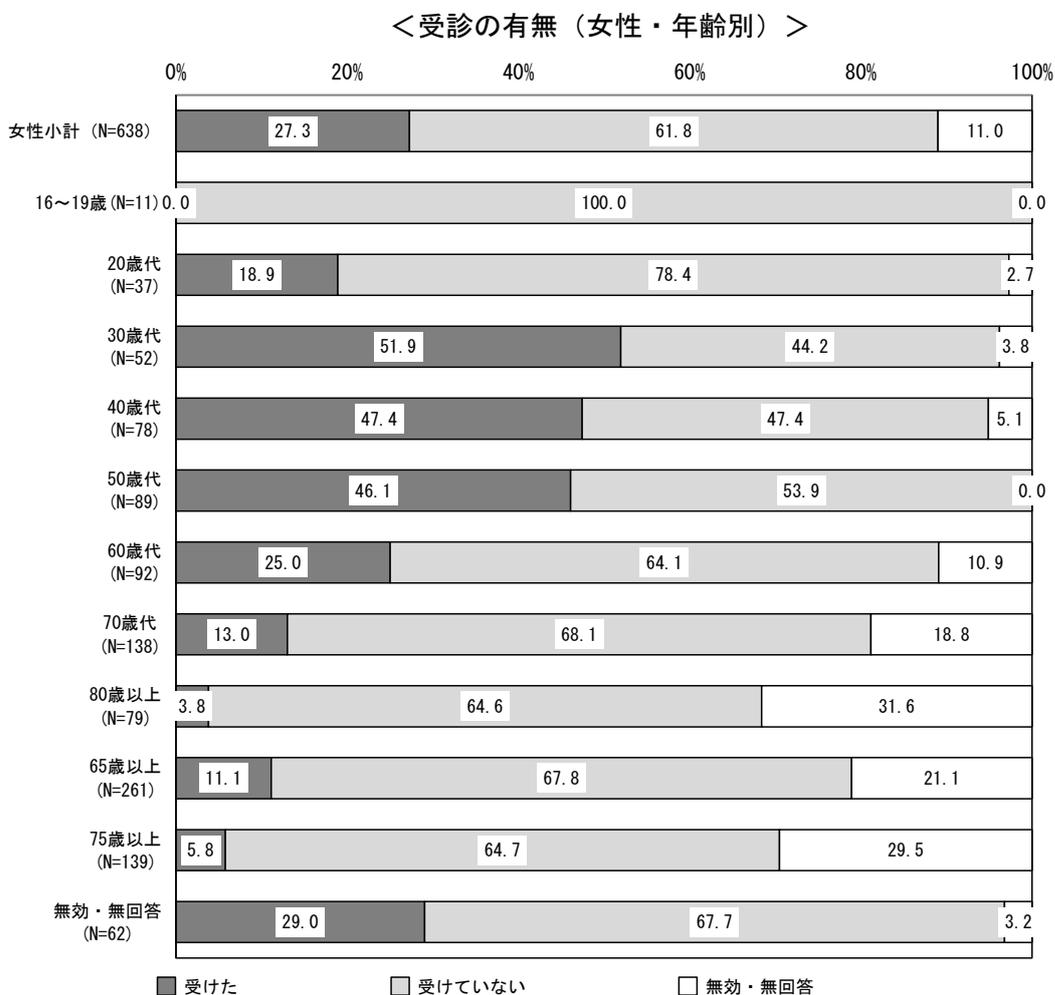


< 検診種別（全体、性・年齢別） >

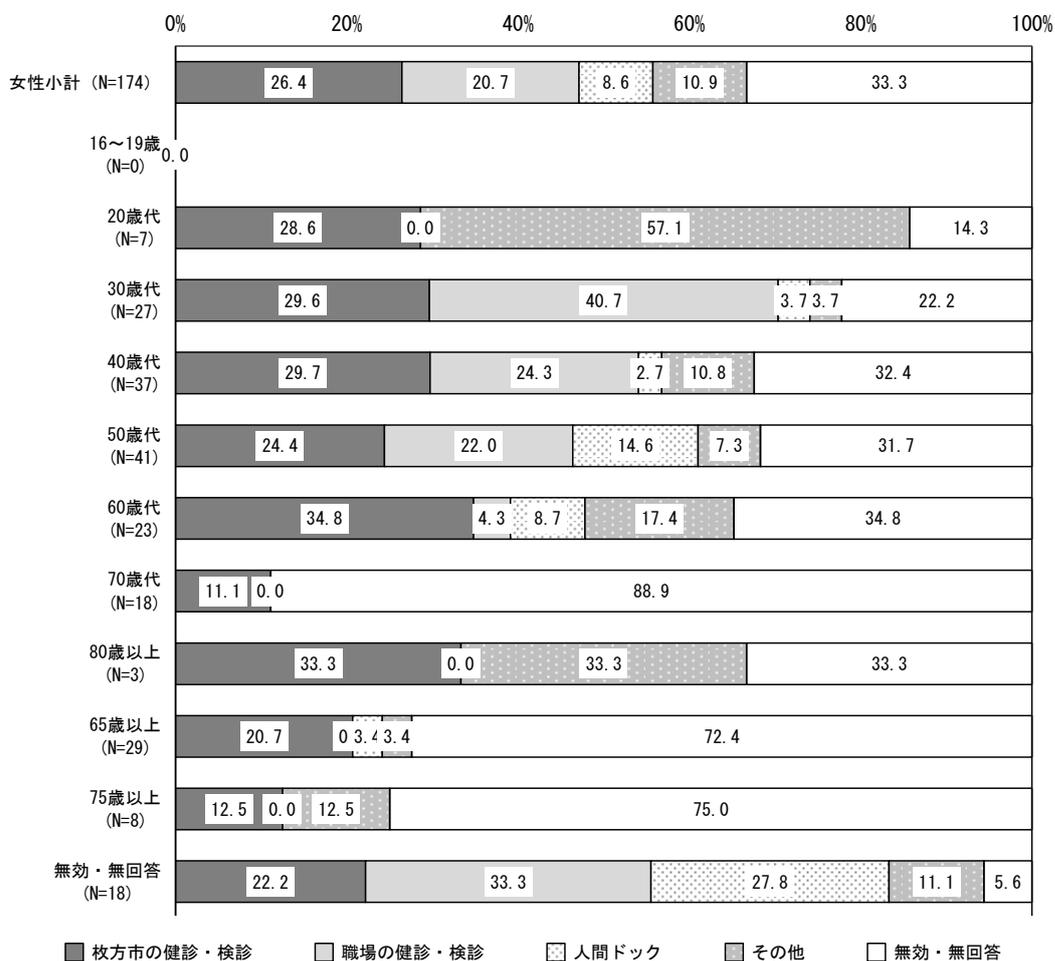


### (5) 子宮頸がん検診

「受けた」の割合が 27.3%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が 20.7%となっている。

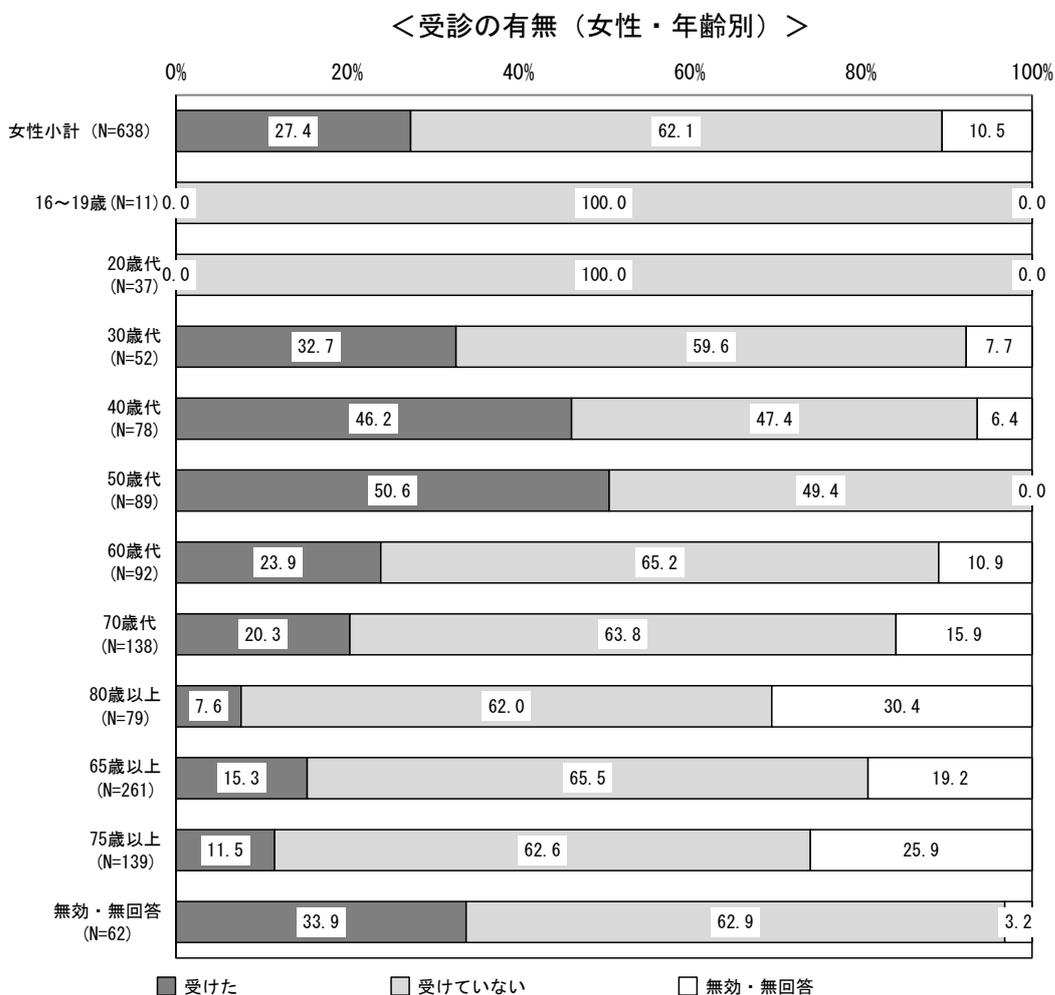


<検診種別（女性・年齢別）>

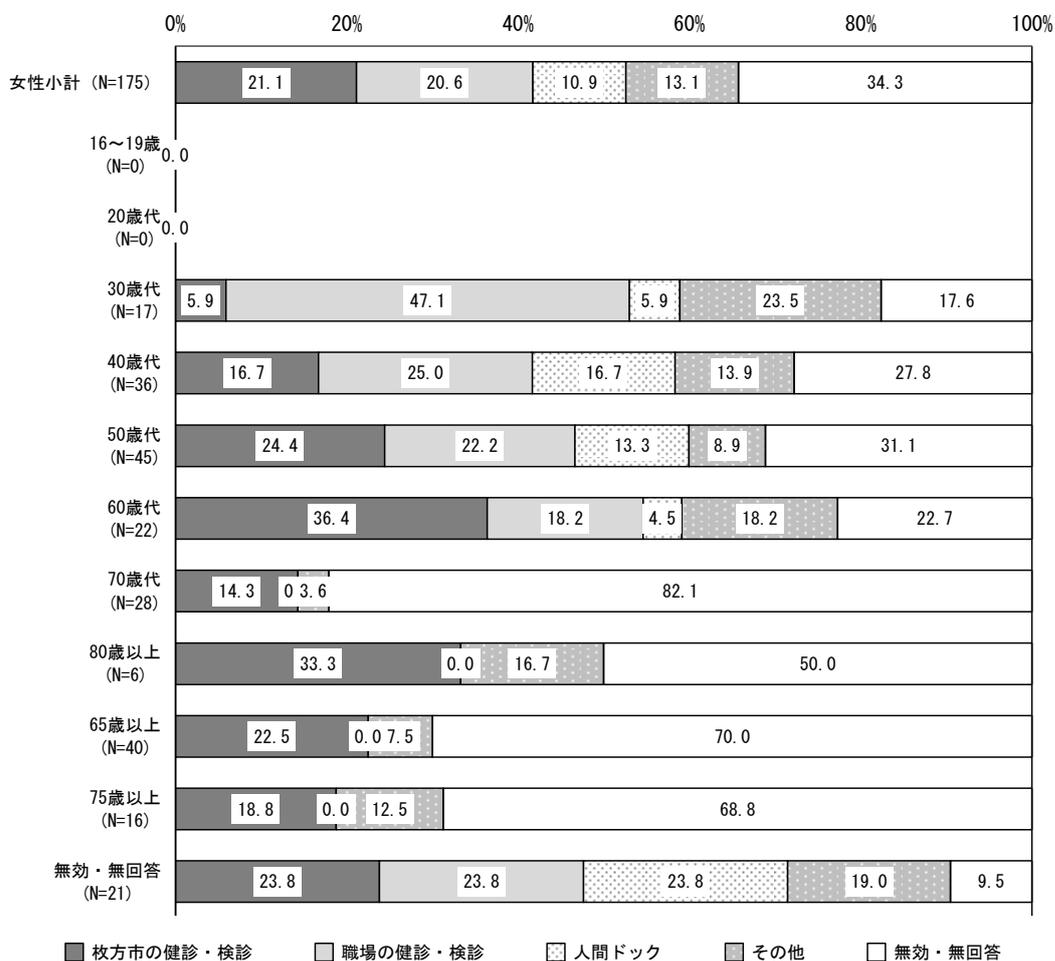


## (6) 乳がん検診

「受けた」の割合が 27.1%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が 20.6% となっている。

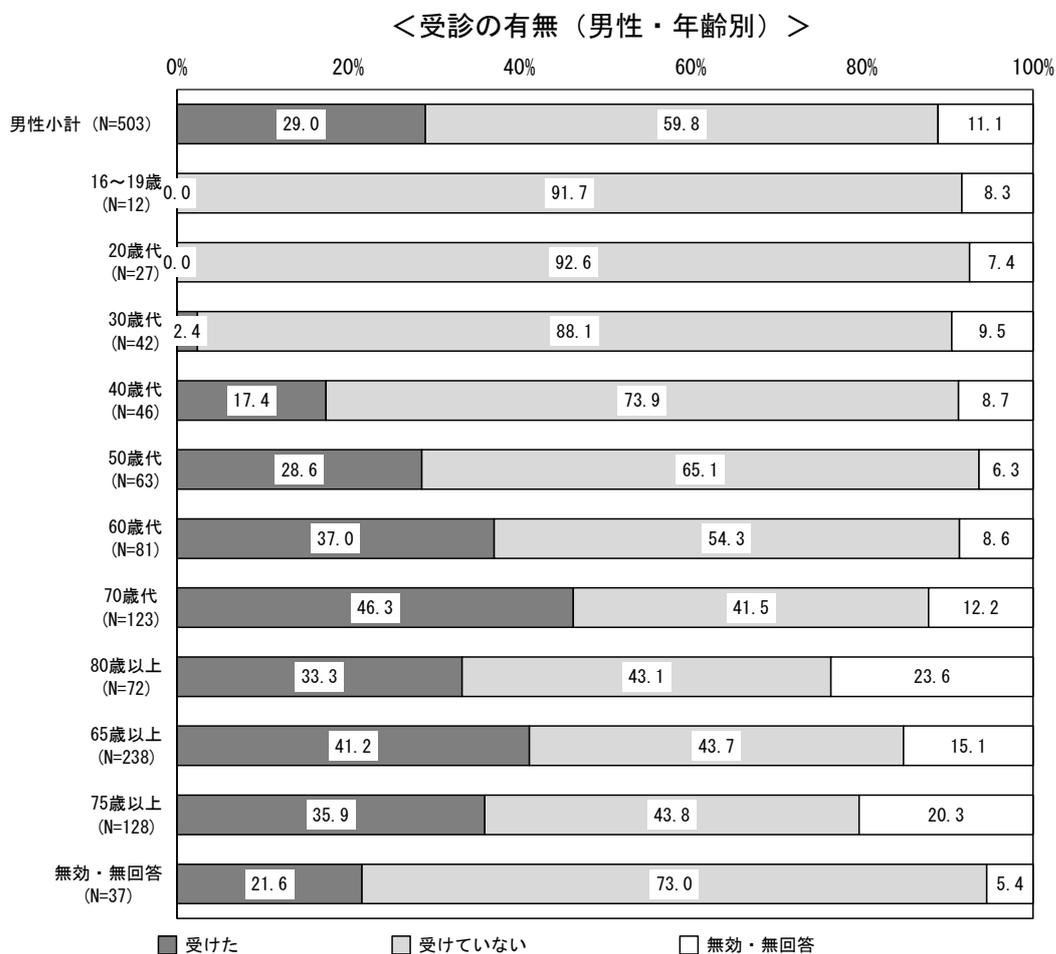


＜検診種別（女性・年齢別）＞

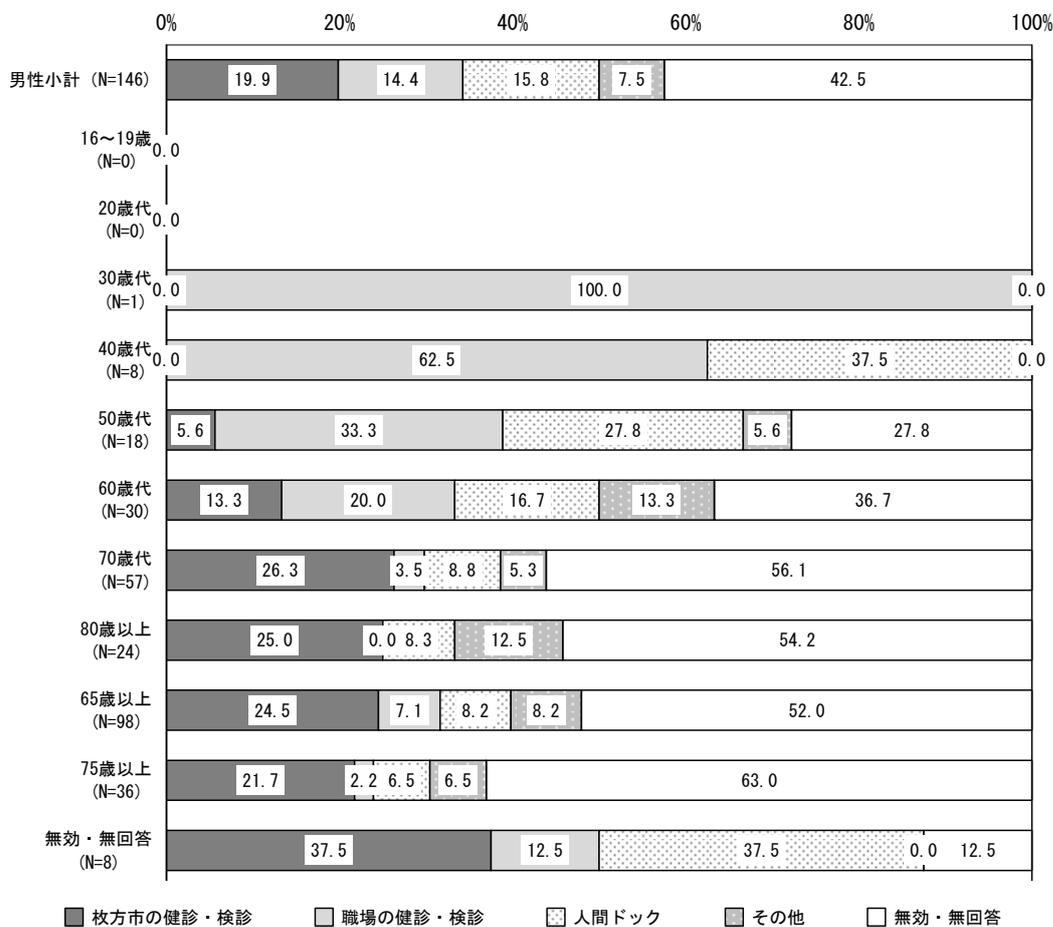


### (7) 前立腺がん検診

「受けた」の割合が 29.0%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 19.9%と最も高く、次いで「人間ドック」の割合が 15.8% となっている。



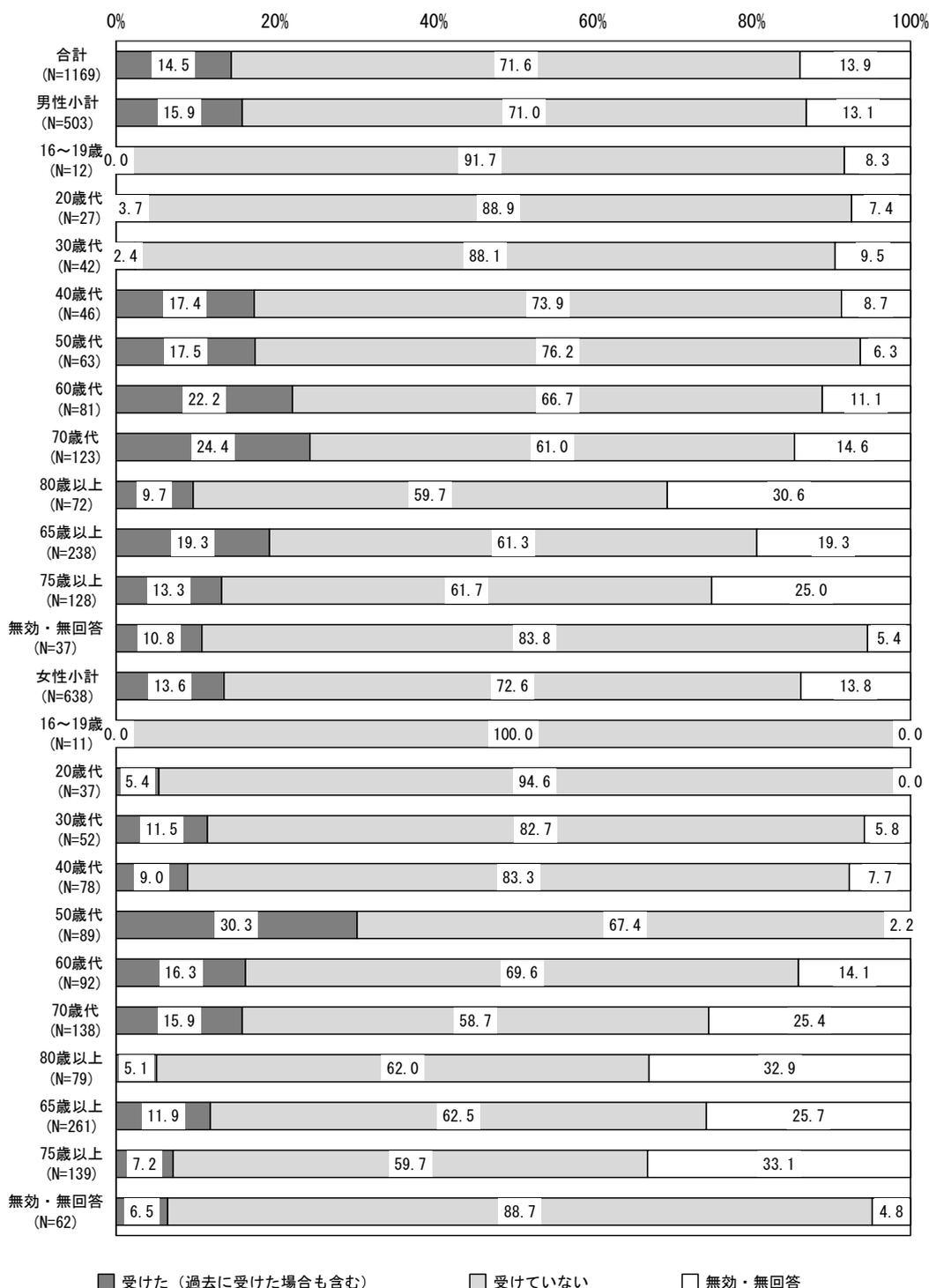
＜検診種別（男性・年齢別）＞



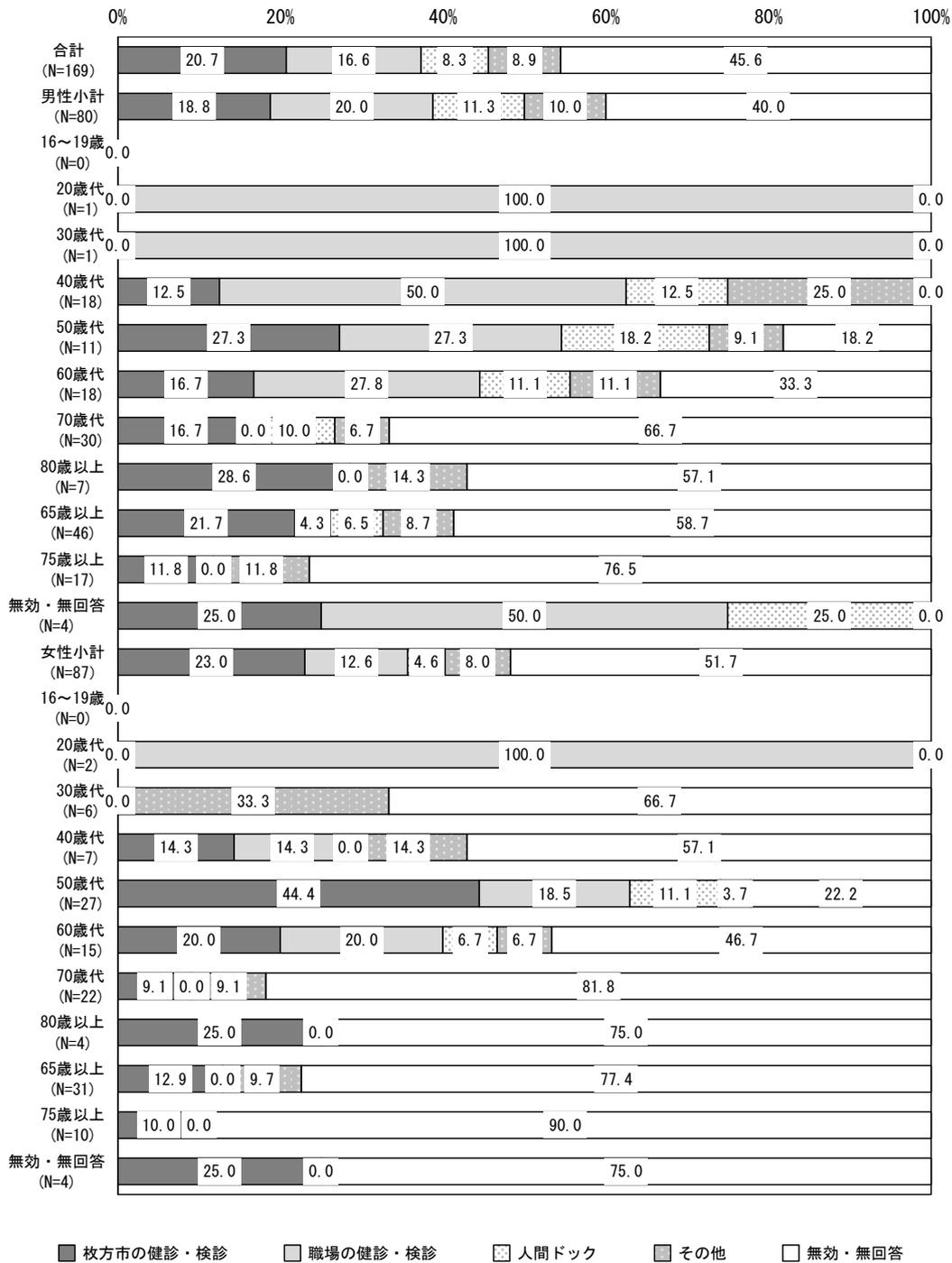
### (8) 肝炎ウイルス健診

「受けた」の割合が14.5%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が20.7%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が16.6%となっている。

<受診の有無（全体、性・年齢別）>



< 検診種別（全体、性・年齢別） >



## 4. 歯と口腔の健康について

問27 食べる時の状態についてお答えください。

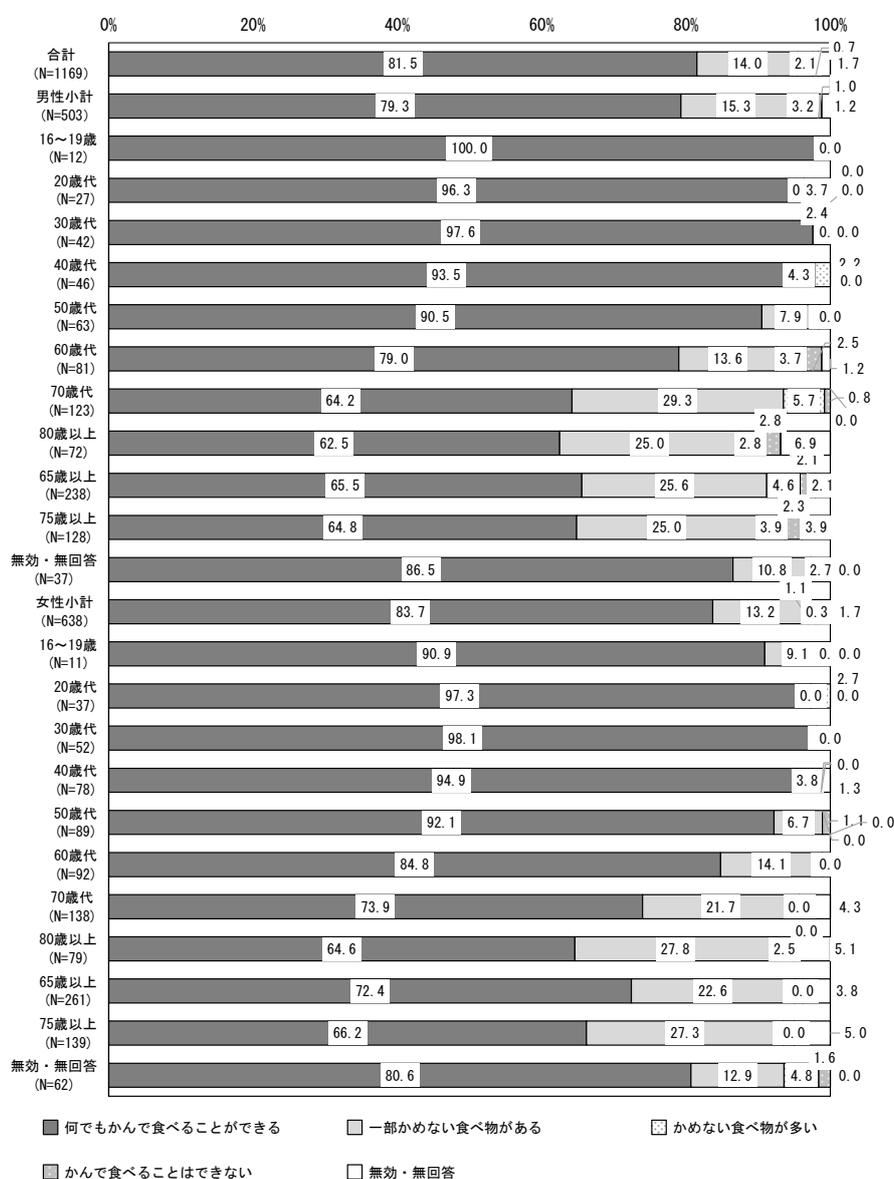
### 【全体】

「何でもかんで食べることができる」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」の割合が 14.0%、「かめない食べ物が多い」の割合が 2.1%となっている。

### 【性・年齢別】

「一部かめない食べ物がある」の割合が高いのは、男女ともに 70 歳以上であり、2 割を上回っている。

<食べる時の状態（全体、性・年齢別）>



問 2 8 食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事中にむせたりすることがありますか。

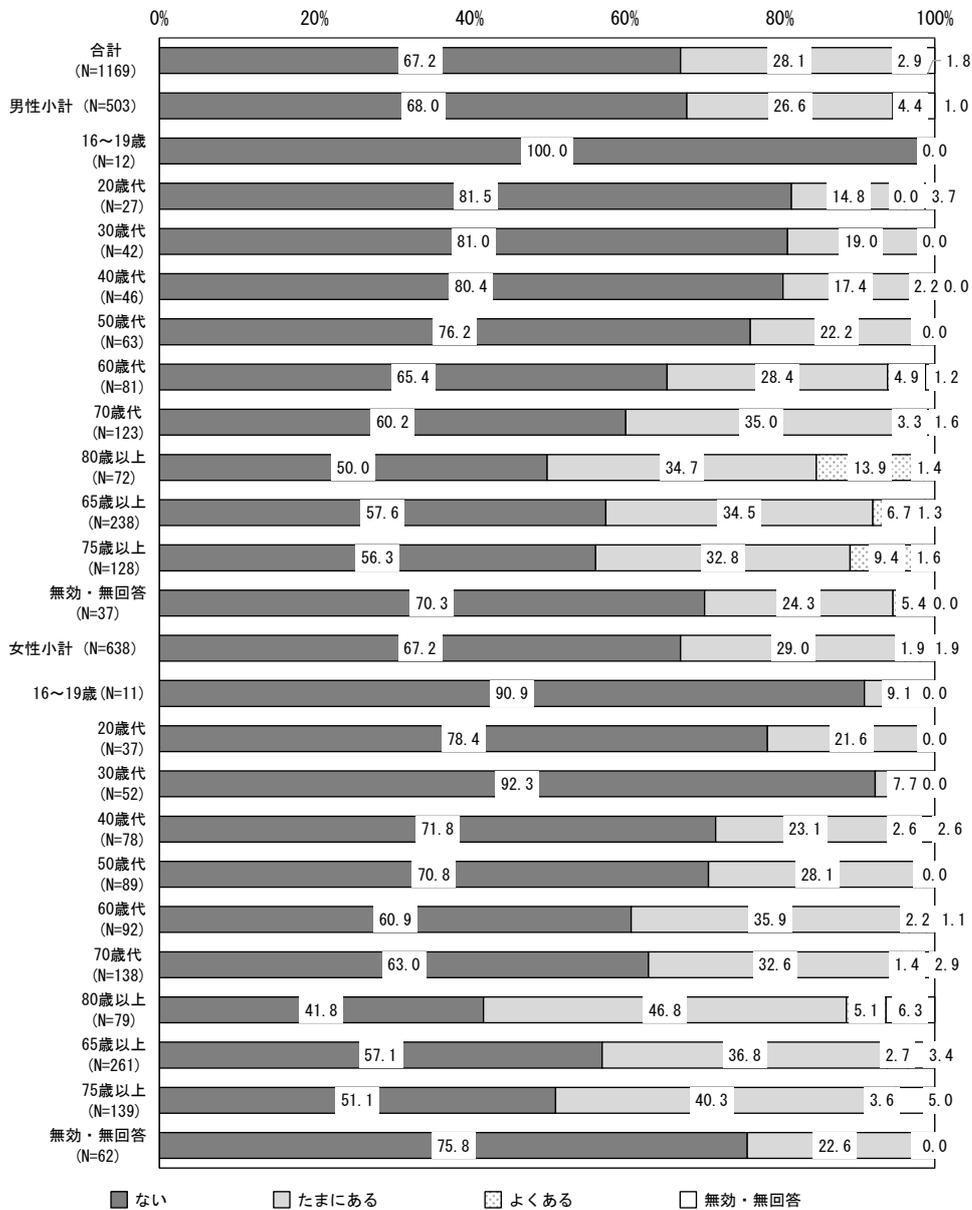
【全体】

「ない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 28.1%、「よくある」の割合が 2.9%となっている。

【性・年齢別】

「たまにある」、「よくある」の割合が高いのは、男女ともに 60 歳以上であり、3 割を上回っている。

< 飲食のしにくさ・食事中にむせる (全体、性・年齢別) >



問 2 9 現在のご自身の歯の本数について教えてください。  
 (さし歯はあなたの歯の本数に含みます。親知らず、入れ歯、インプラントは含みません。歯の総数は、上下14本ずつ合計28本が一般的ですが、28本より多かたり、少なかたりすることもあります。)

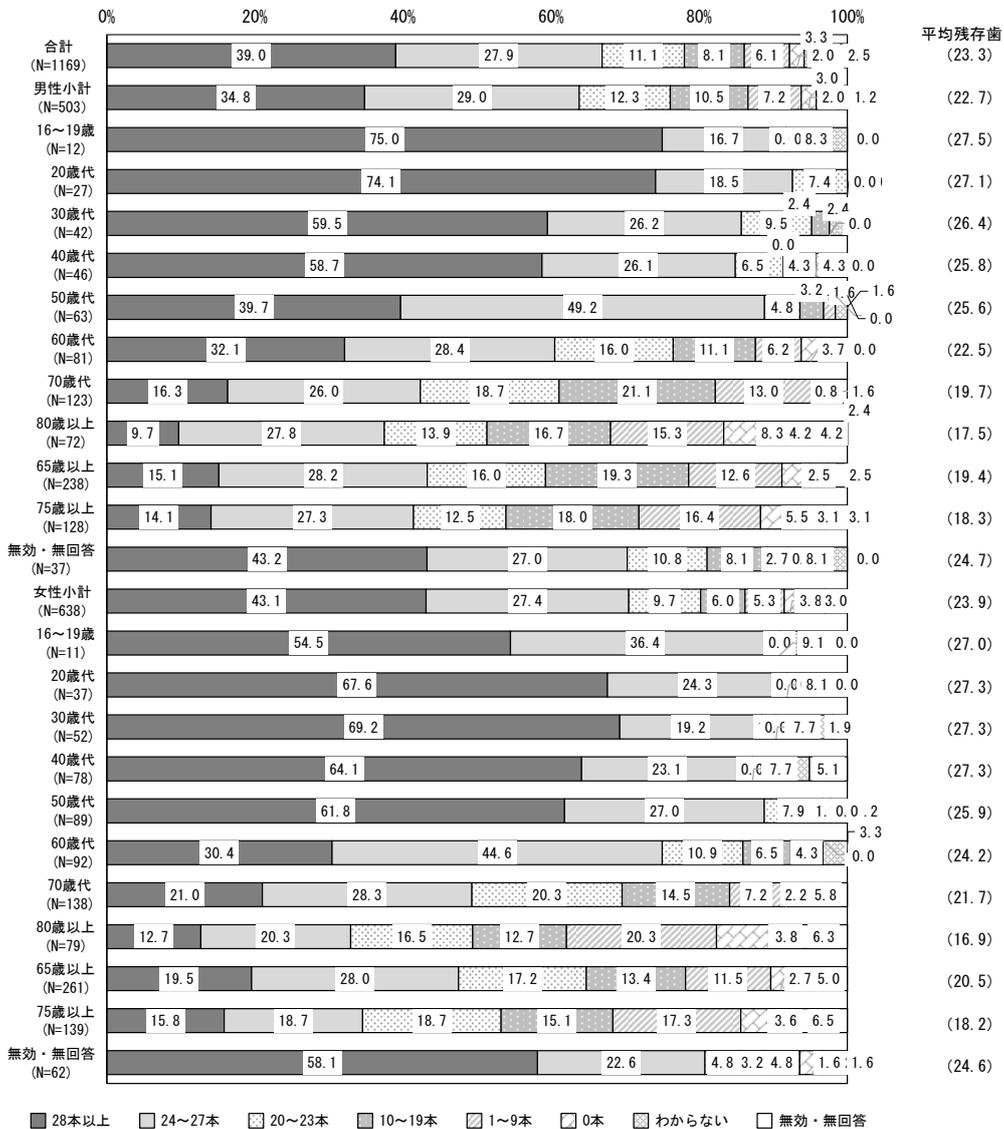
【全体】

「28本以上」の割合が39.0%と最も高く、次いで「24~27本」の割合が27.9%、「20~23本」の割合が11.1%となっている。

【性・年齢別】

全体の平均より歯の本数が少ないのは、男性は60歳代以上、女性は70歳代以上となっている。

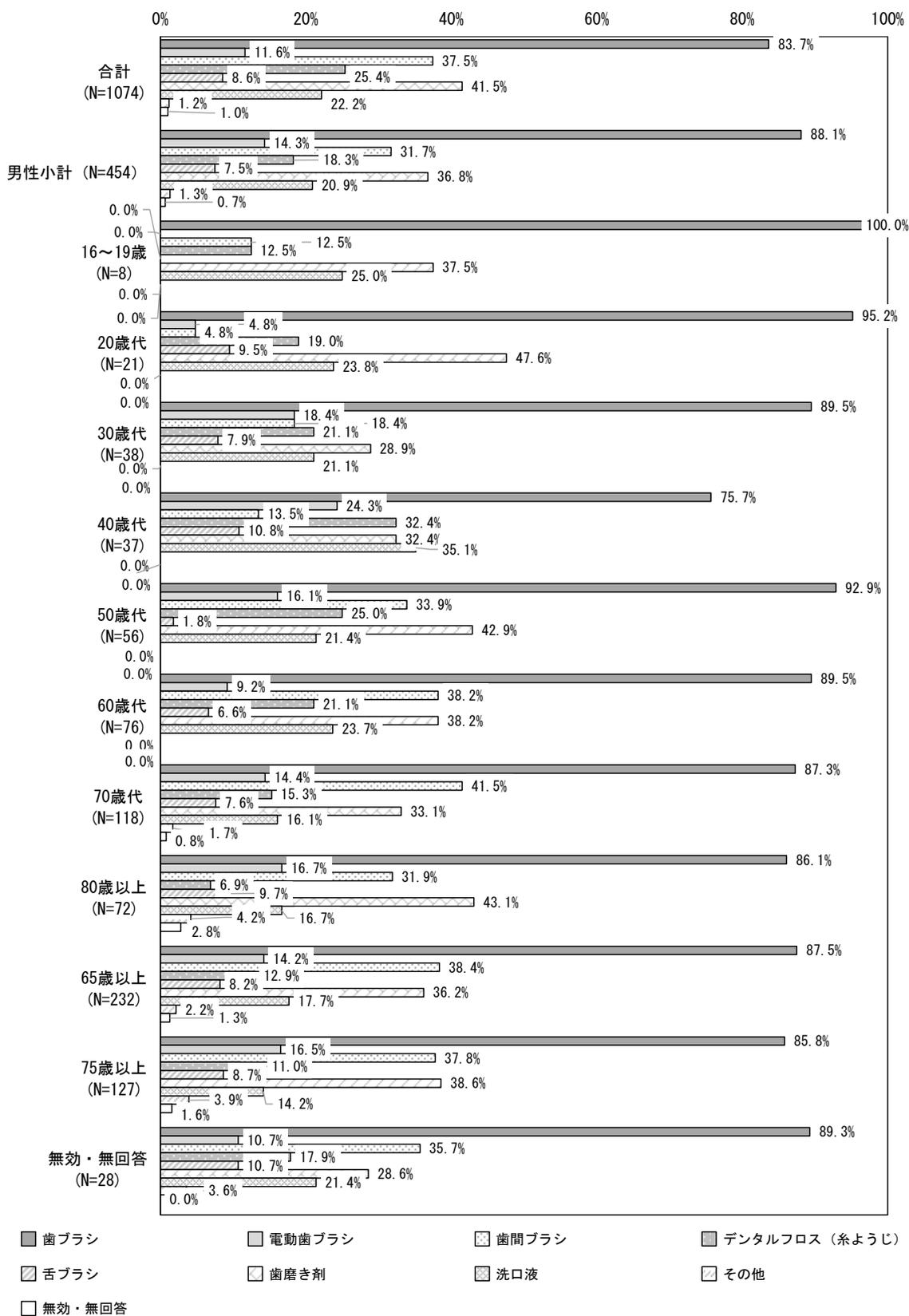
< 歯の本数 (全体、性・年齢別) >



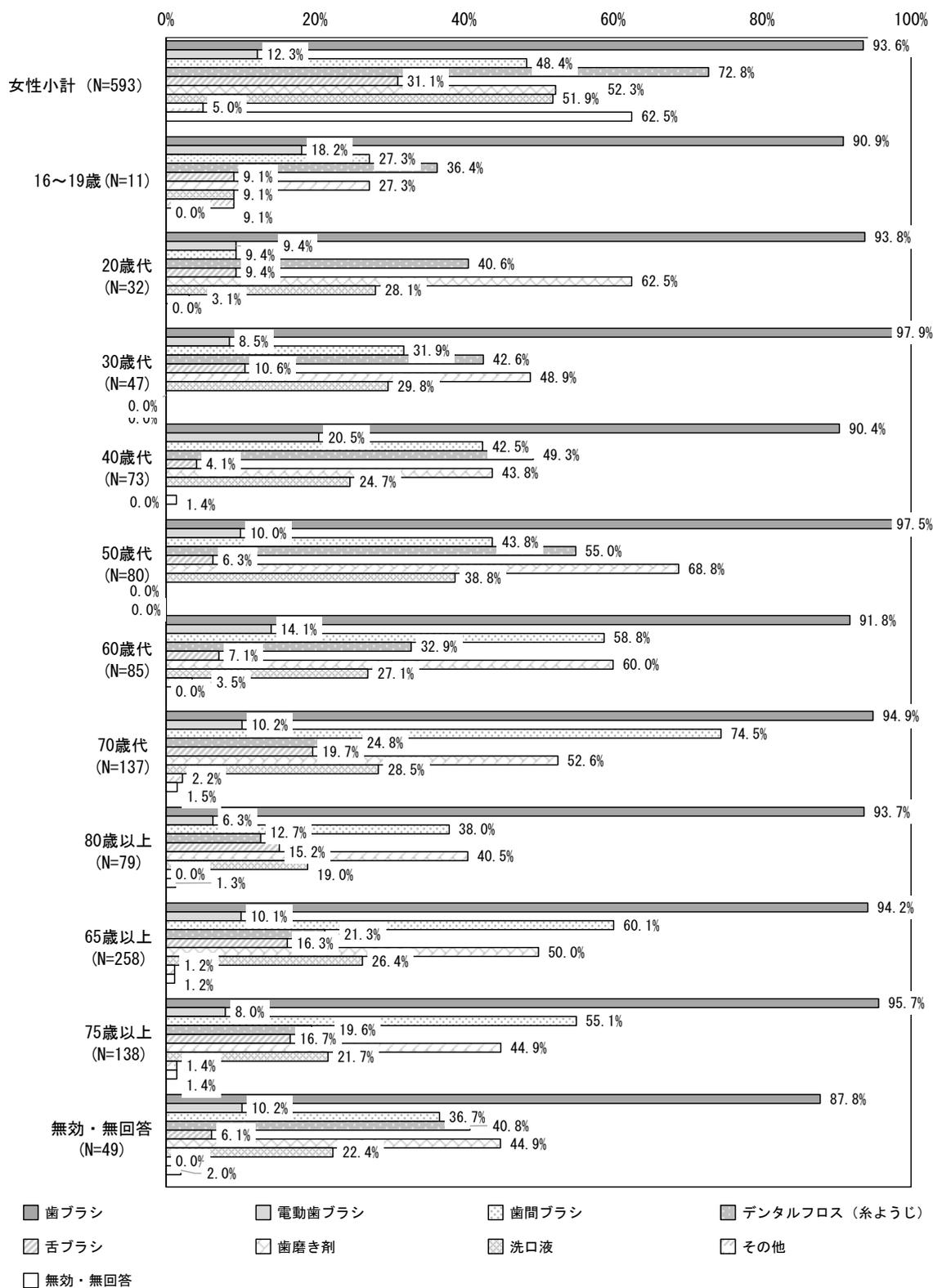
問30 何を使って口腔清掃をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「歯ブラシ」と回答した割合が83.7%と最も高く、次いで「歯磨き剤」の割合が41.5%、「歯間ブラシ」の割合が37.5%となっている。その他の意見では「口腔洗浄機」「うがい薬」「仕上げ用歯ブラシ」などの意見も挙げられている。

< 口腔清掃方法（全体、男性・年齢別） >



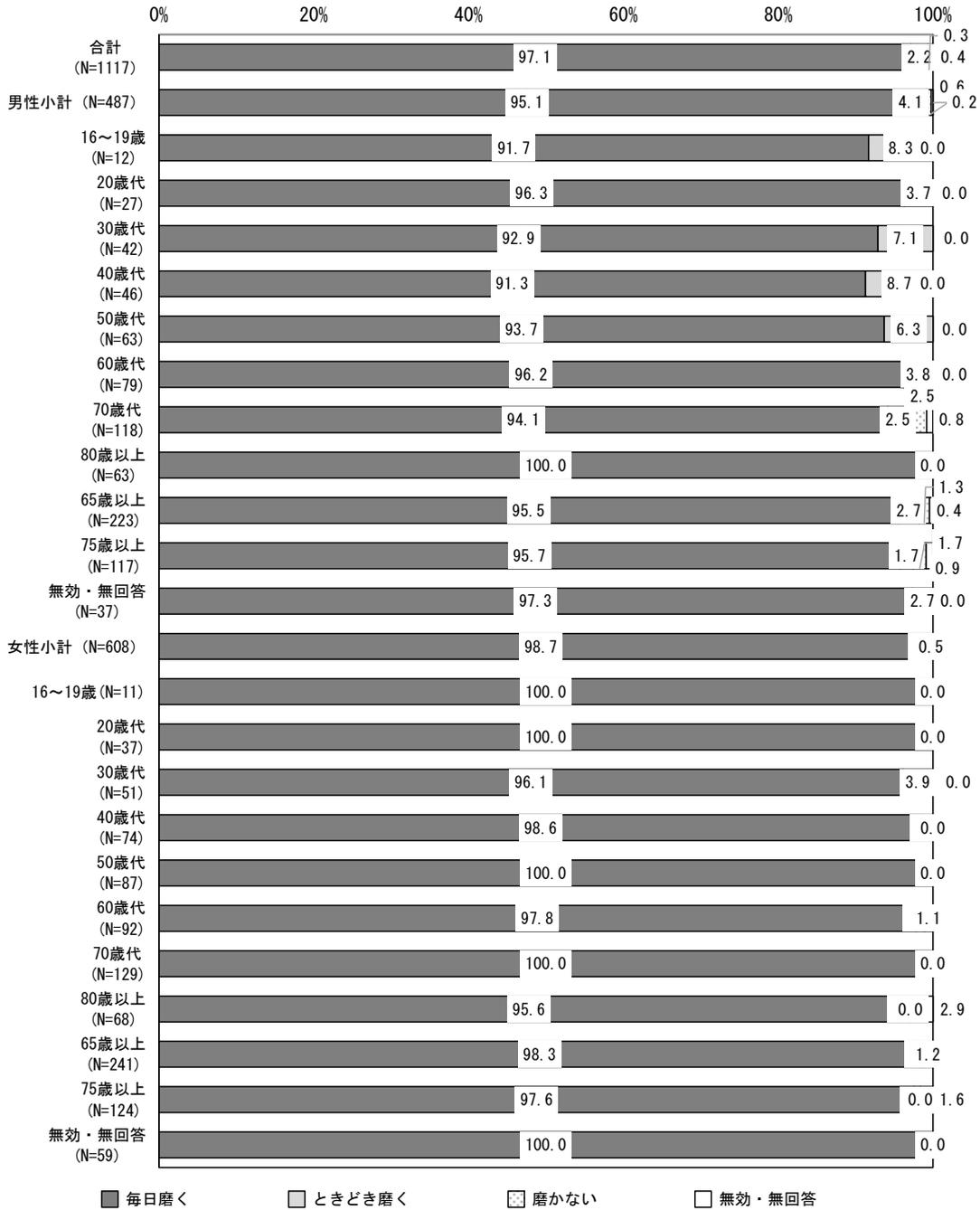
< 口腔清掃方法（女性・年齢別） >



問3 1-1 歯を磨く頻度はどのくらいですか。(歯が全くない人は回答不要です)

「毎日磨く」の割合が97.1%となっている。

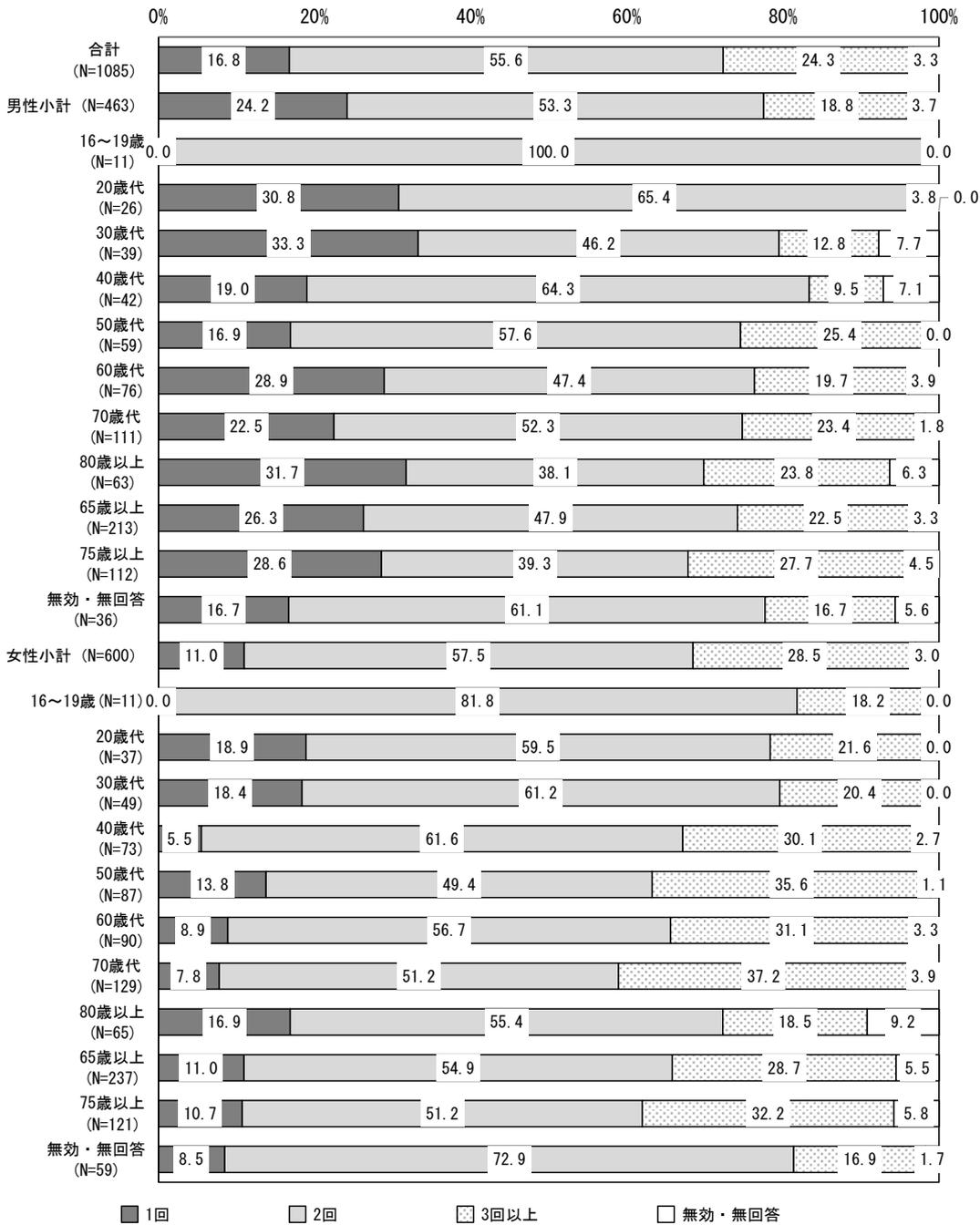
<歯を磨く頻度(全体、性・年齢別)>



問3 1-2 1日何回磨きますか。

「2回」の割合が55.6%と最も高く、次いで「3回以上」の割合が24.3%、「1回」の割合が16.8%となっている。

<歯を磨く回数（全体、性・年齢別）>



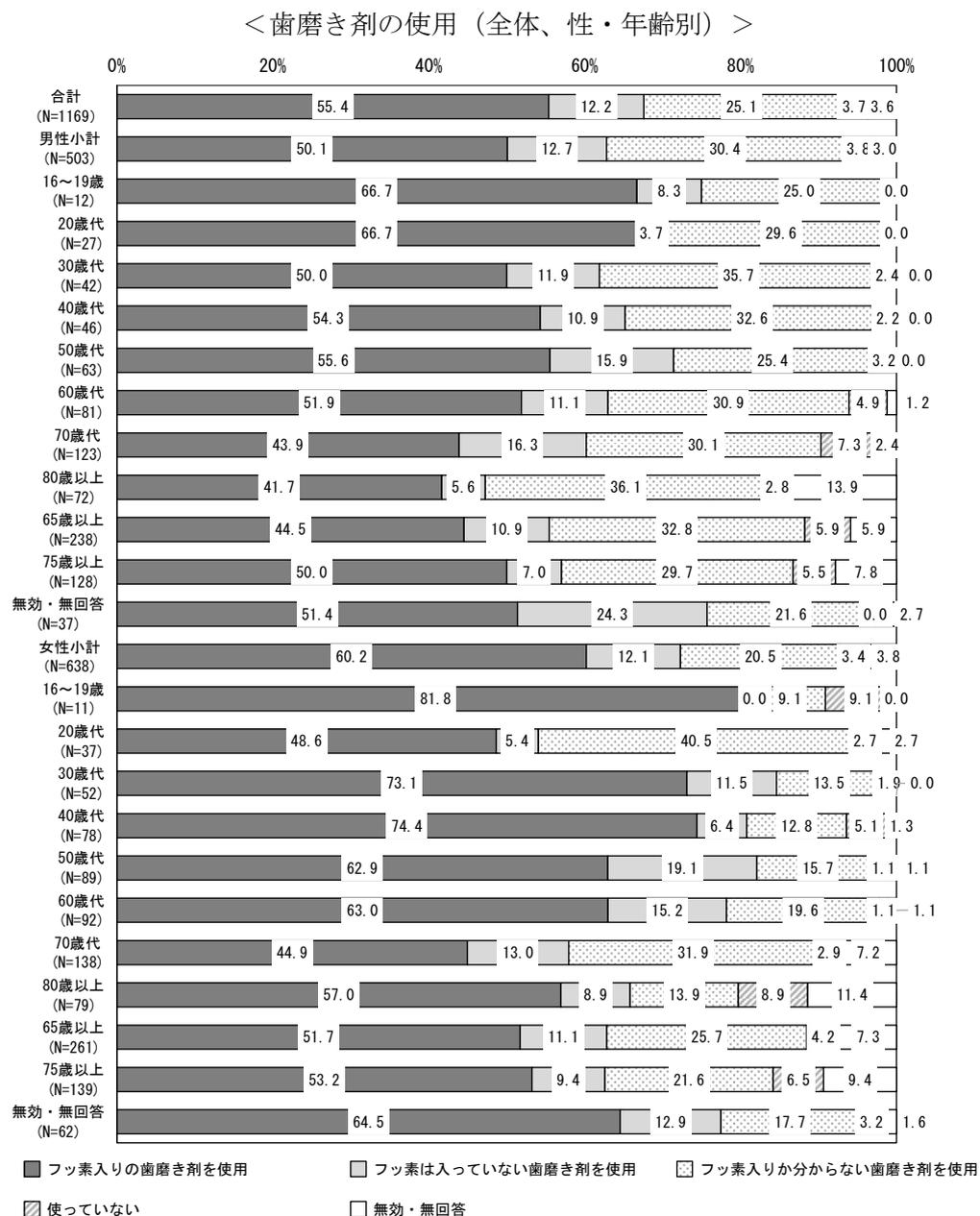
問3 2 歯を磨くときに歯磨き剤を使っていますか。

【全体】

「フッ素入りの歯磨き剤を使用」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「フッ素入りか分からない歯磨き剤を使用」の割合が 25.1%、「フッ素は入っていない歯磨き剤を使用」の割合が 12.2%となっている。

【性・年齢別】

「フッ素は入っていない歯磨き剤を使用」の割合は女性の方が高くなっている。



問33 この1年間に、歯科医院で歯ブラシを使って具体的に口腔の効果的な清掃について個別に指導を受けましたか。

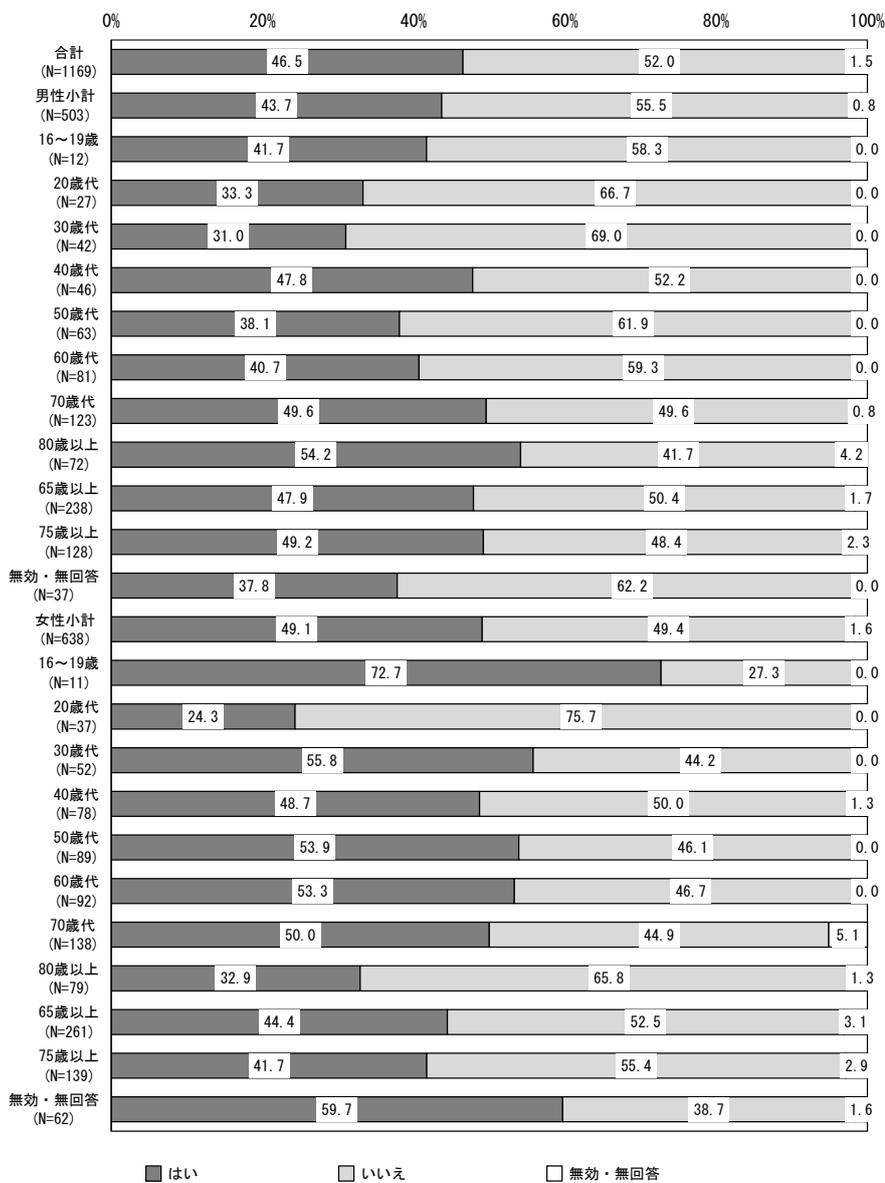
【全体】

「はい」の割合が46.5%となっている。

【性・年齢別】

「はい（指導を受けた）」の割合が高いのは、男性の80歳以上、女性の16～19歳、30歳代、50歳代から70歳代で5割を上回っている。

<口腔清掃に関する指導（全体、性・年齢別）>



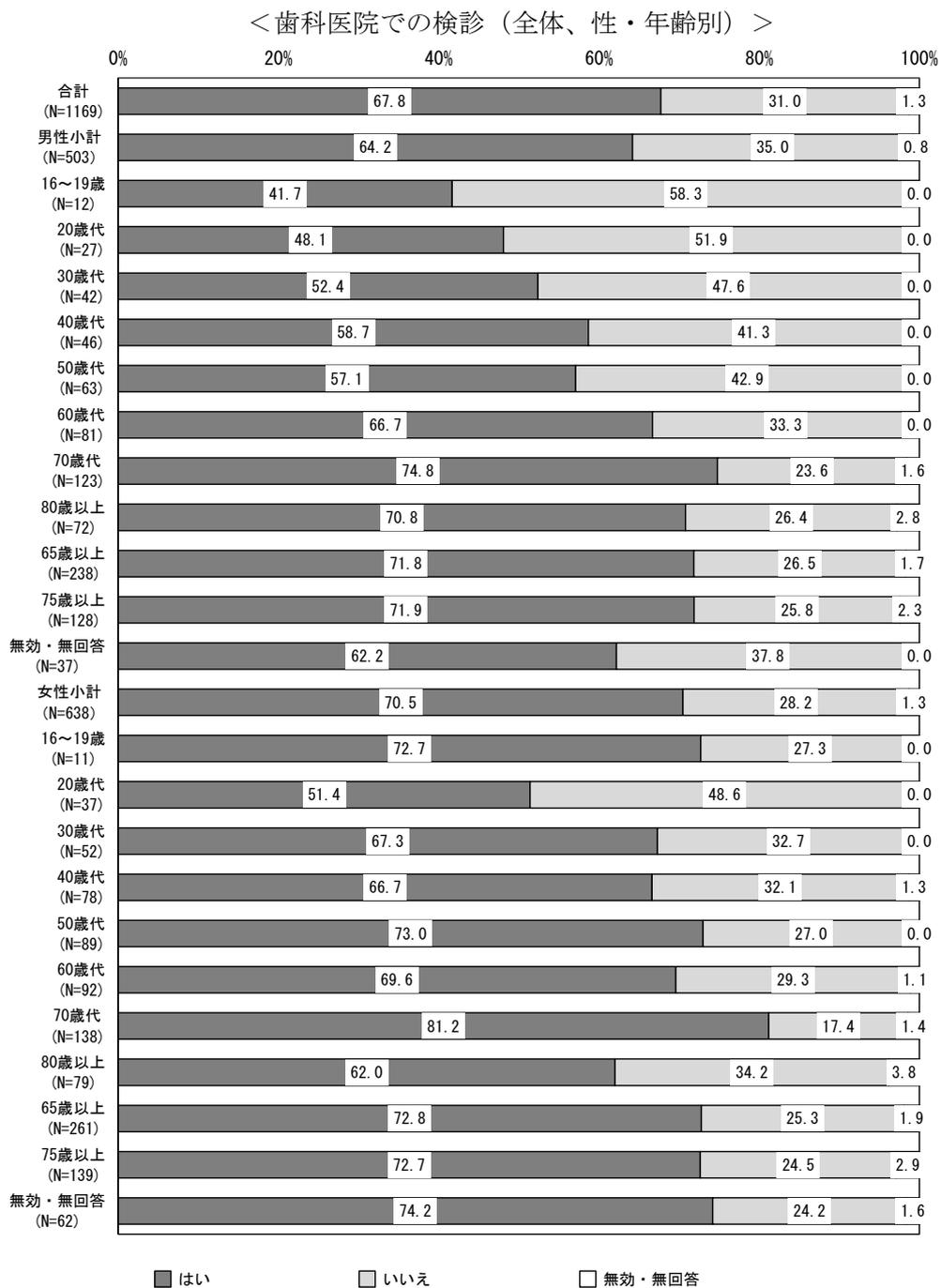
問 3 4 過去 1 年間に、歯科医院で歯科検診を受けましたか。

【全体】

「はい」の割合が 67.8%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の 70 歳以上、女性の 16～19 歳、50 歳代、70 歳以上で 7 割を超えている。



**問35-1 かかりつけの歯科医院※はありますか。**

※かかりつけの歯科医院とは、痛いなどの症状があって不都合な時にだけ通う歯科医院ではなく、定期的に受診して、健診、ブラッシング指導、歯石除去等の口腔管理を受けている歯科医院をさします。

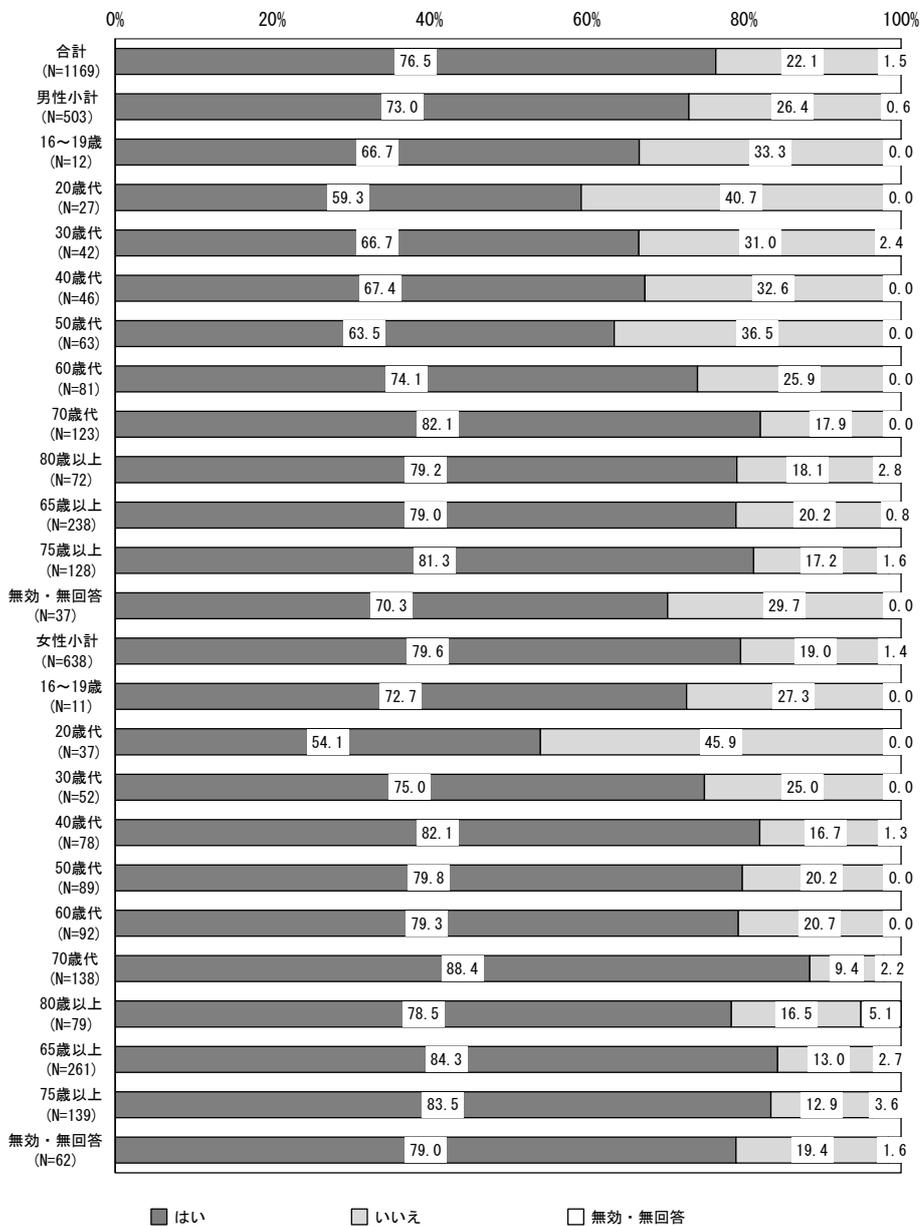
**【全体】**

「はい」の割合が76.5%となっている。

**【性・年齢別】**

「はい」の割合が高いのは、男性の70歳以上、女性の40歳代、70歳代で8割を上回っている。

＜かかりつけの歯科医院（全体、性・年齢別）＞



問35-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、かかりつけ歯科受診への頻度に変化はありますか。

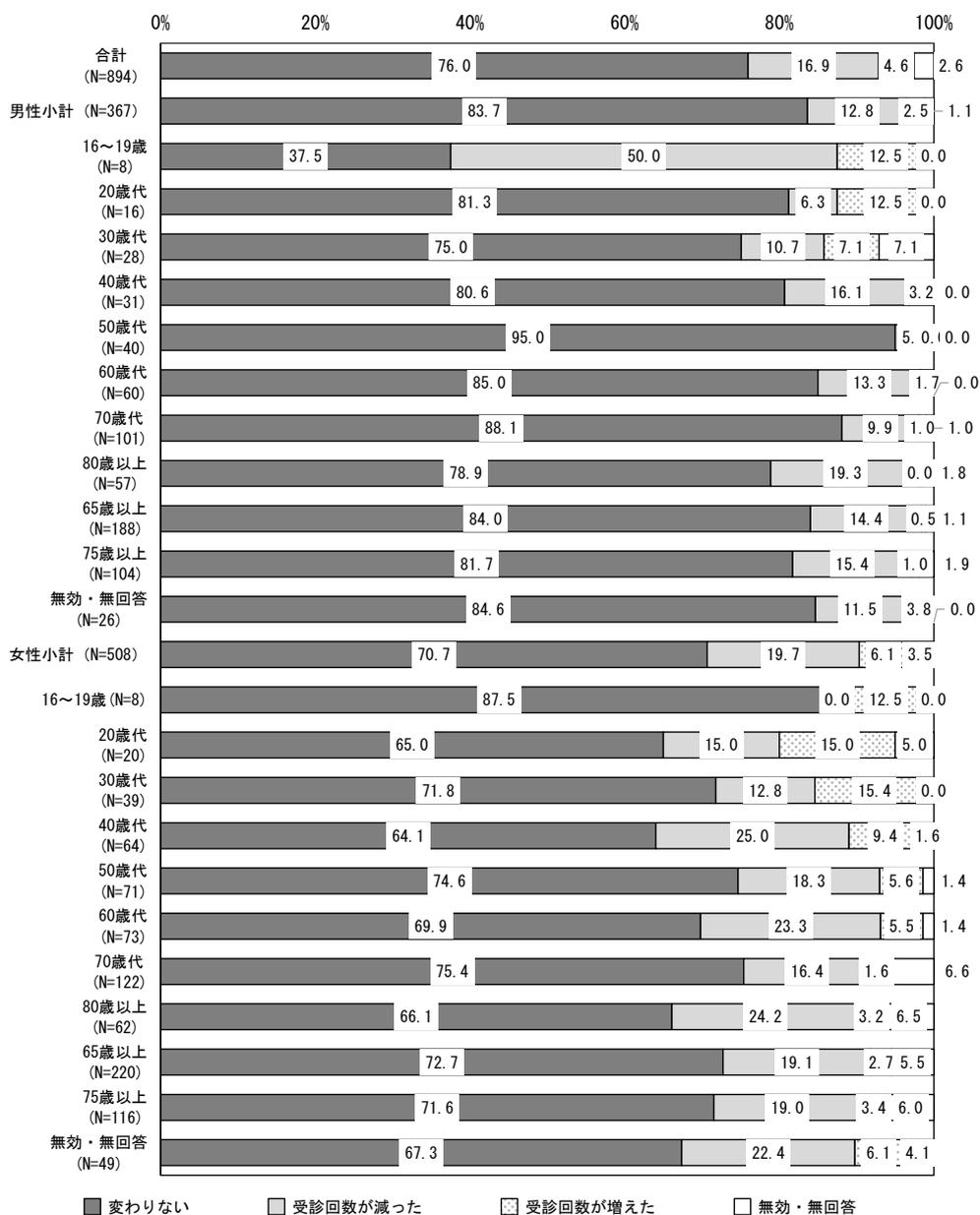
【全体】

「変わらない」の割合が76.0%と最も高く、次いで「受診回数が減った」の割合が16.9%、「受診回数が増えた」の割合が4.6%となっている。

【性・年齢別】

「受診回数が減った」の割合が高いのは、男性の16～19歳、女性の40歳代、60歳代、80歳以上で2割を上回っている。

＜かかりつけの歯科医院受診頻度の変化（全体、性・年齢別）＞

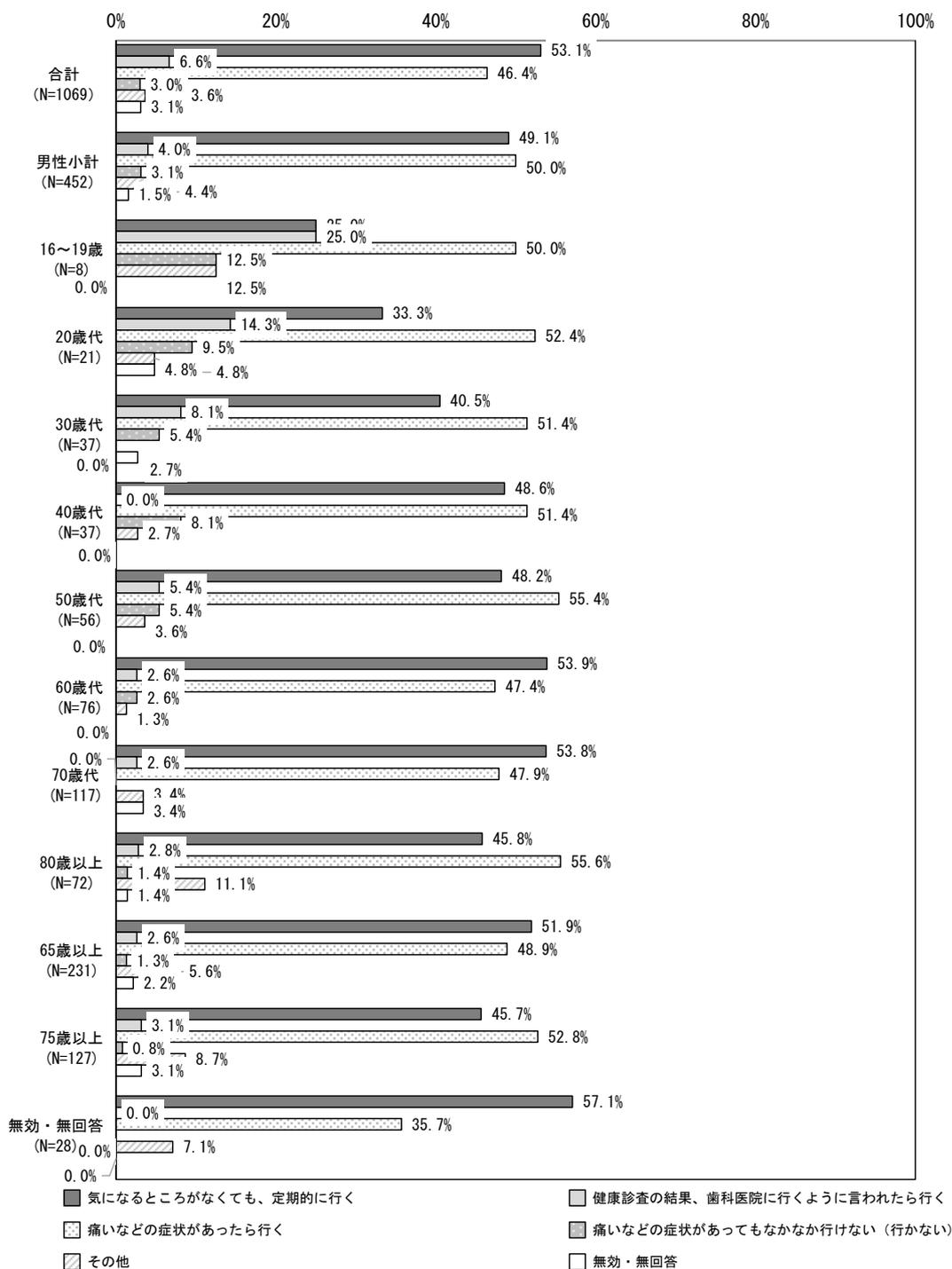


問36 歯科医院へはどのような場合に行きますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

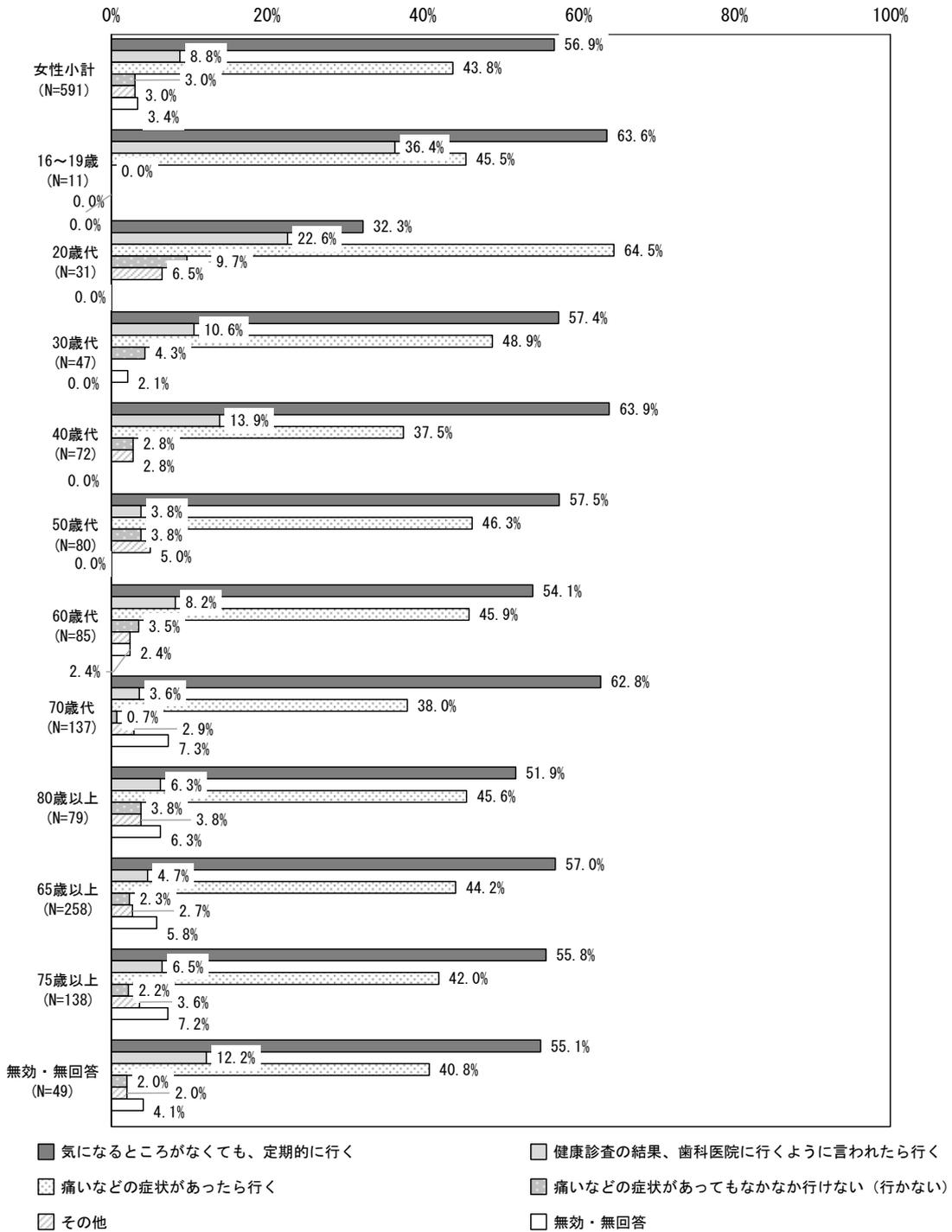
**【全体】**

「気になるところがなくとも、定期的に行く（健診、フッ素塗布、歯石除去、歯のクリーニング等のため）」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「痛いなどの症状があったら行く」の割合が 46.4%、「健康診査の結果、歯科医院に行くように言われたら行く」の割合が 6.6%となっている。その他の意見では「市のサービスをもらったとき」「詰め物が取れるなどトラブルがあったとき」などの意見が挙げられている。

＜歯科医院への通院理由（全体、男性・年齢別）＞



＜歯科医院への通院理由（全体、女性・年齢別）＞



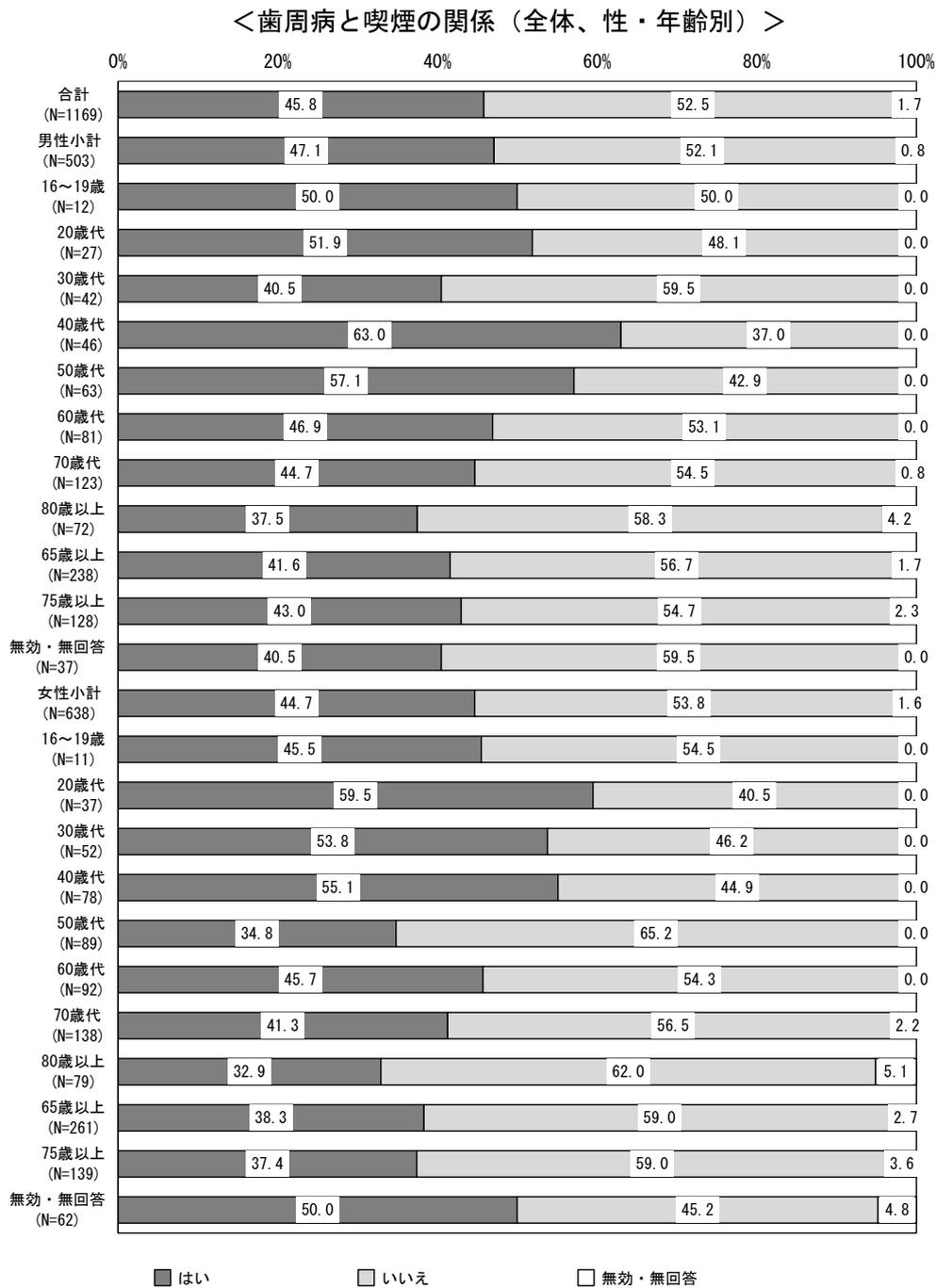
問37 歯周病を進行させる要因として喫煙がありますが、知っていましたか。

【全体】

「はい」の割合が45.8%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の20歳代以下、40歳代、50歳代、女性の20歳代から40歳代で5割を上回っている。



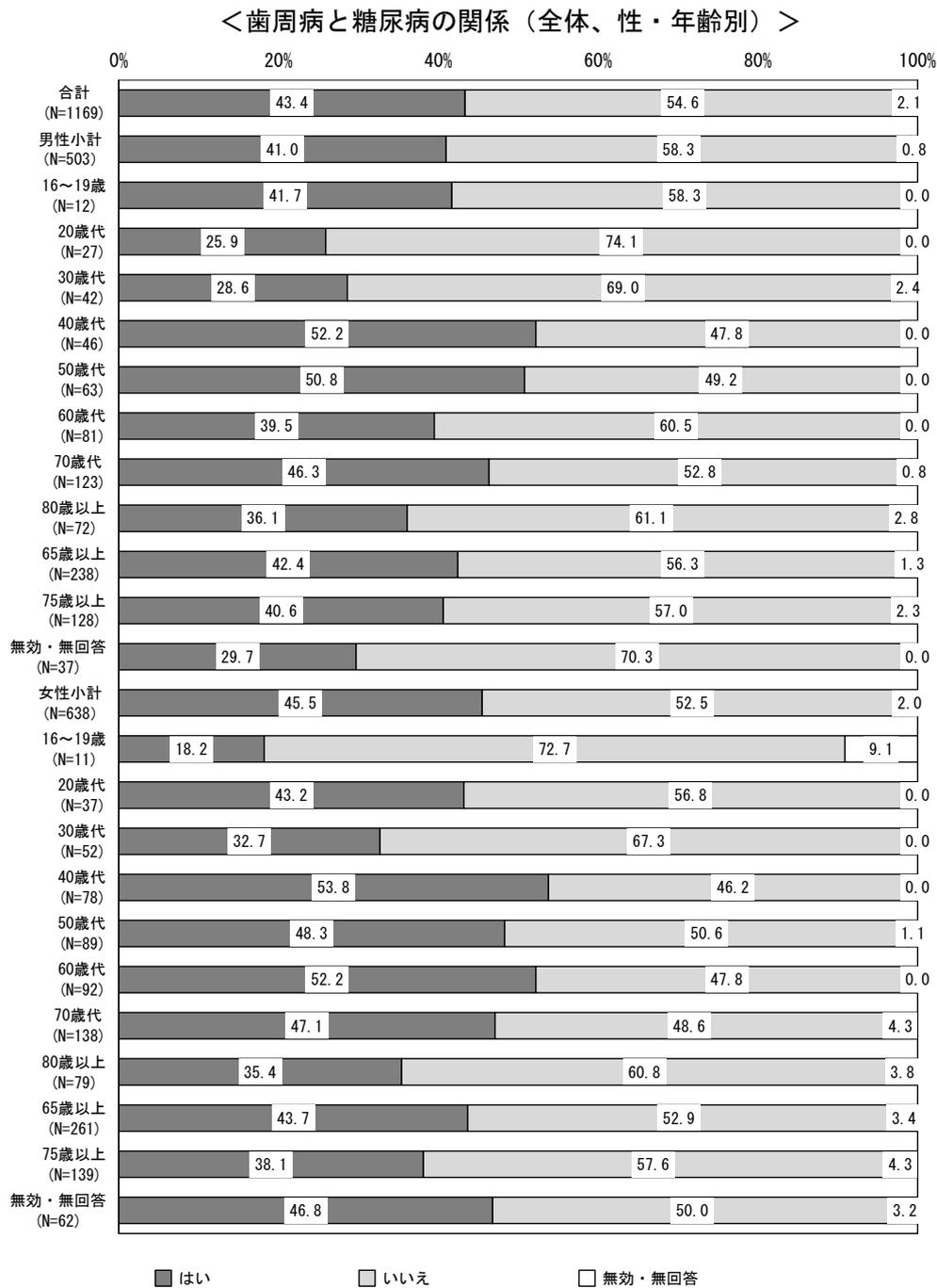
問38 歯周病を進行させる要因として糖尿病がありますが、知っていましたか。

【全体】

「はい」の割合が43.4%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の40歳代、50歳代、女性の40歳代、60歳代で5割を上回っている。

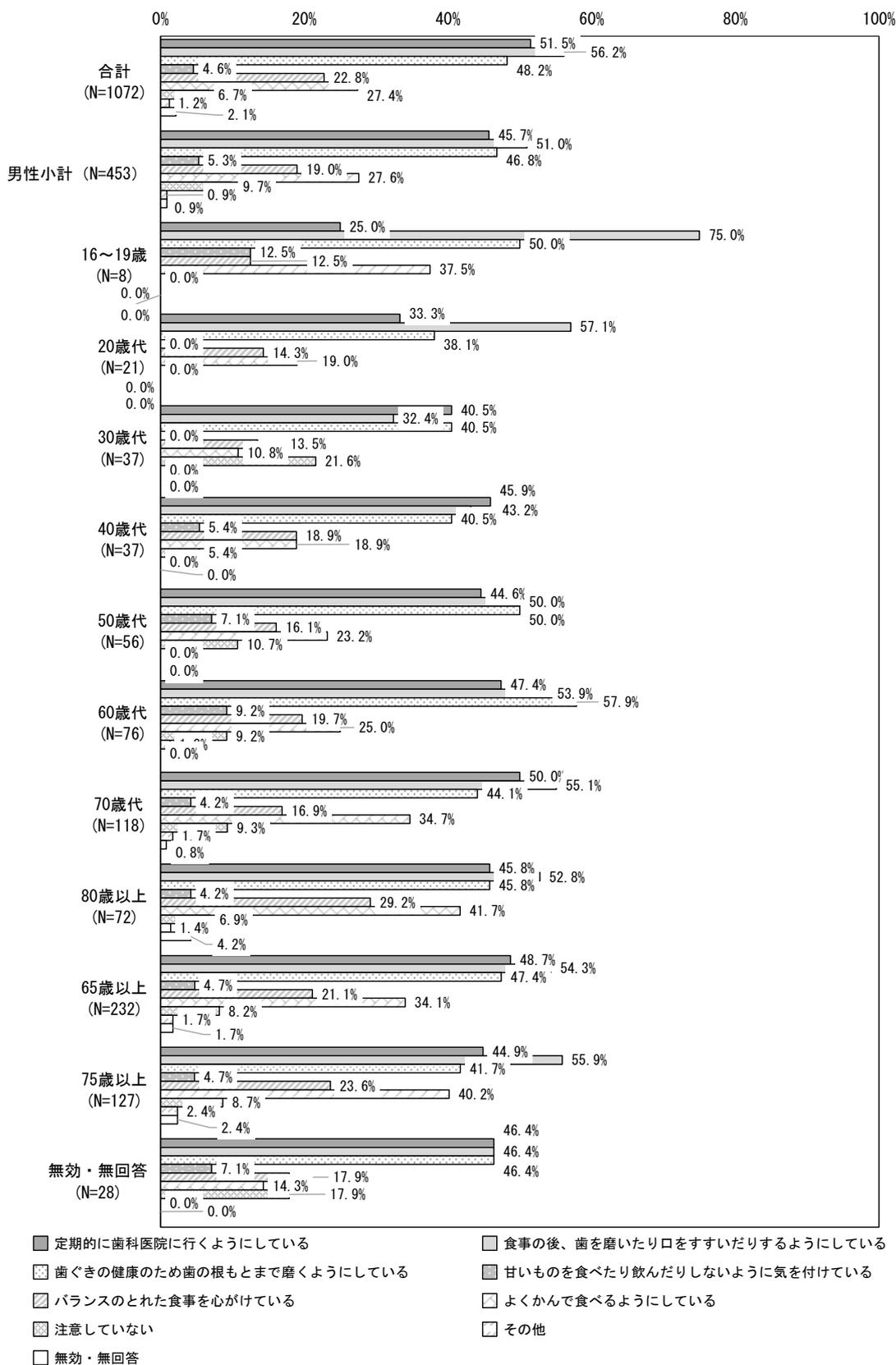


**問39** 歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

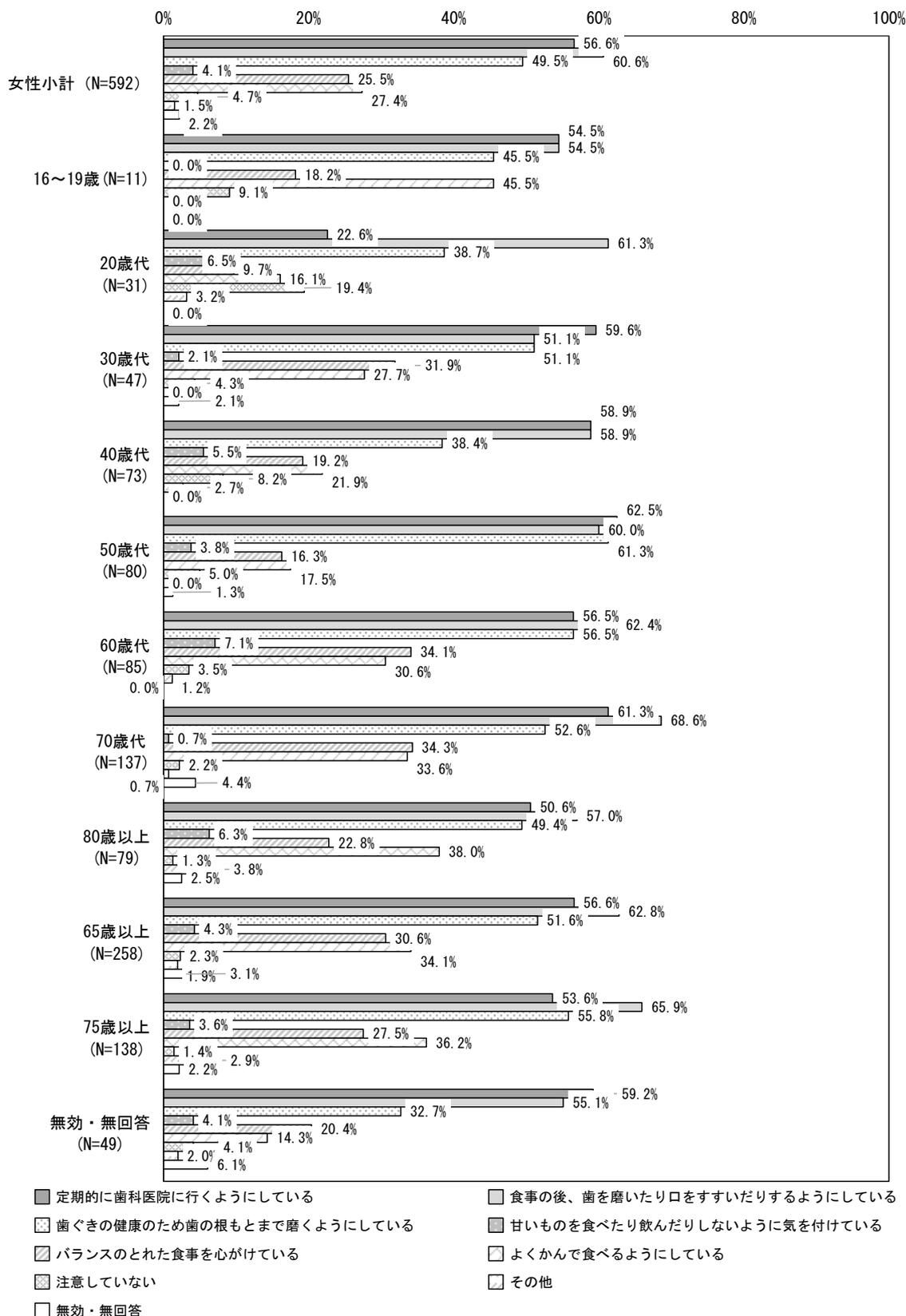
「食事の後、歯を磨いたり口をすすいだりするようにしている」の割合が56.2%と最も高く、次いで「定期的に歯科医院に行くようにしている」の割合が51.5%、「歯ぐきの健康のため歯の根もとまで磨くようにしている」の割合が48.2%となっている。

その他の意見では「フロスを毎日利用する」「歯磨きの際に丁寧に磨くよう心掛けている」などの意見が挙げられている。

＜歯や歯ぐきの健康で注意していること（全体、男性・年齢別）＞



＜歯や歯ぐきの健康で注意していること（女性・年齢別）＞



**問40 口腔ケアが、「誤嚥性肺炎※」の予防につながることを知っていますか。**

※「誤嚥性肺炎」とは、加齢などにより、のみこむ能力が低下することが原因となり、口腔内の細菌が、誤って食べ物や唾液などと一緒に肺に入ることによって肺炎になってしまうことです。日頃の歯磨きや入れ歯の手入れ等の口腔内清掃や定期的に専門的な「口腔ケア」を行うことで、この「誤嚥性肺炎」を減少させることができると言われています。

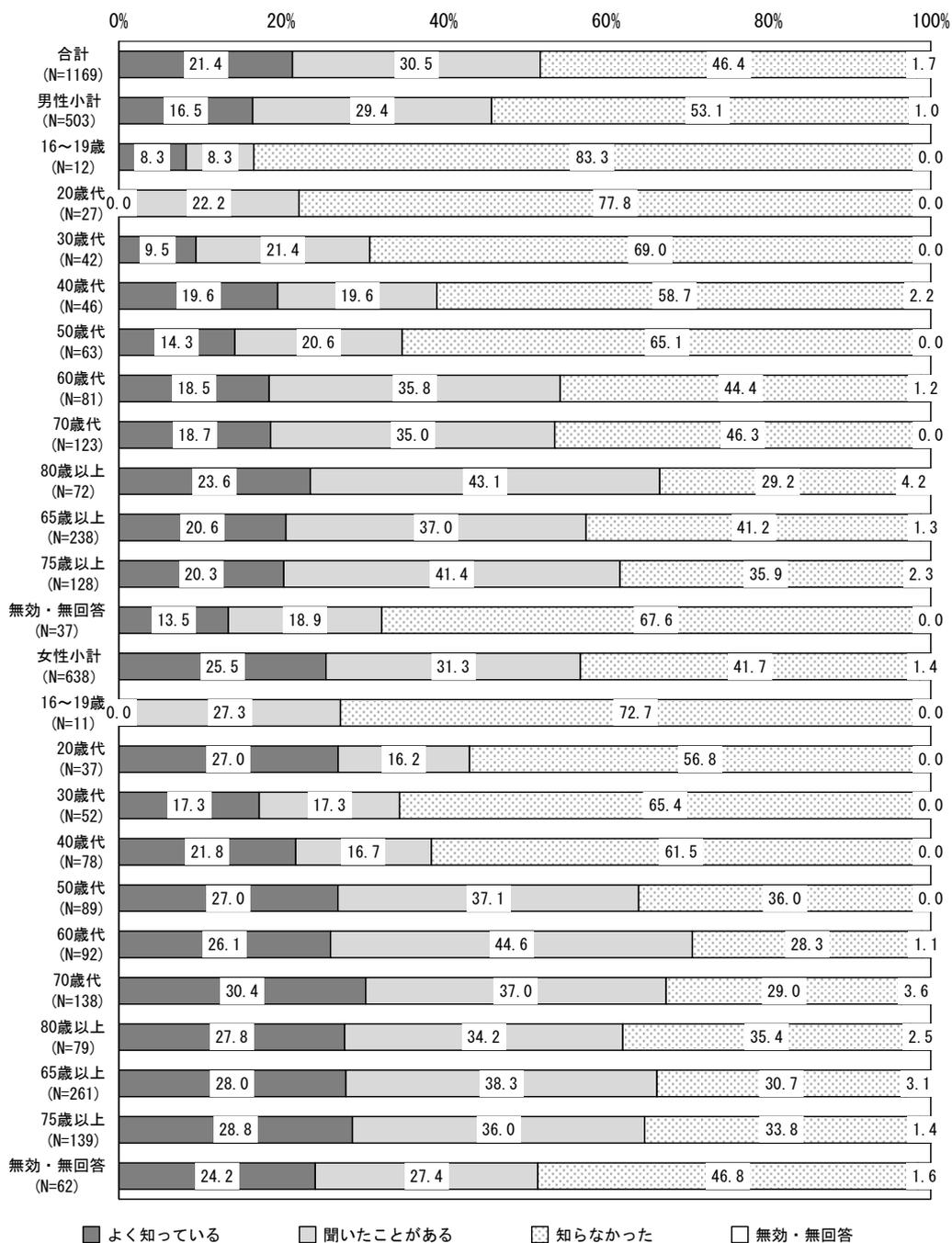
**【全体】**

「知らなかった」の割合が46.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が30.5%、「よく知っている」の割合が21.4%となっている。

**【性・年齢別】**

「よく知っている」の割合が高いのは、男性の80歳以上、女性の20歳代、40歳代から80歳以上で2割を上回っている。

< 口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防（全体、性・年齢別） >



問 4 1 「噛ミング 3 0※」という言葉を知っていますか。

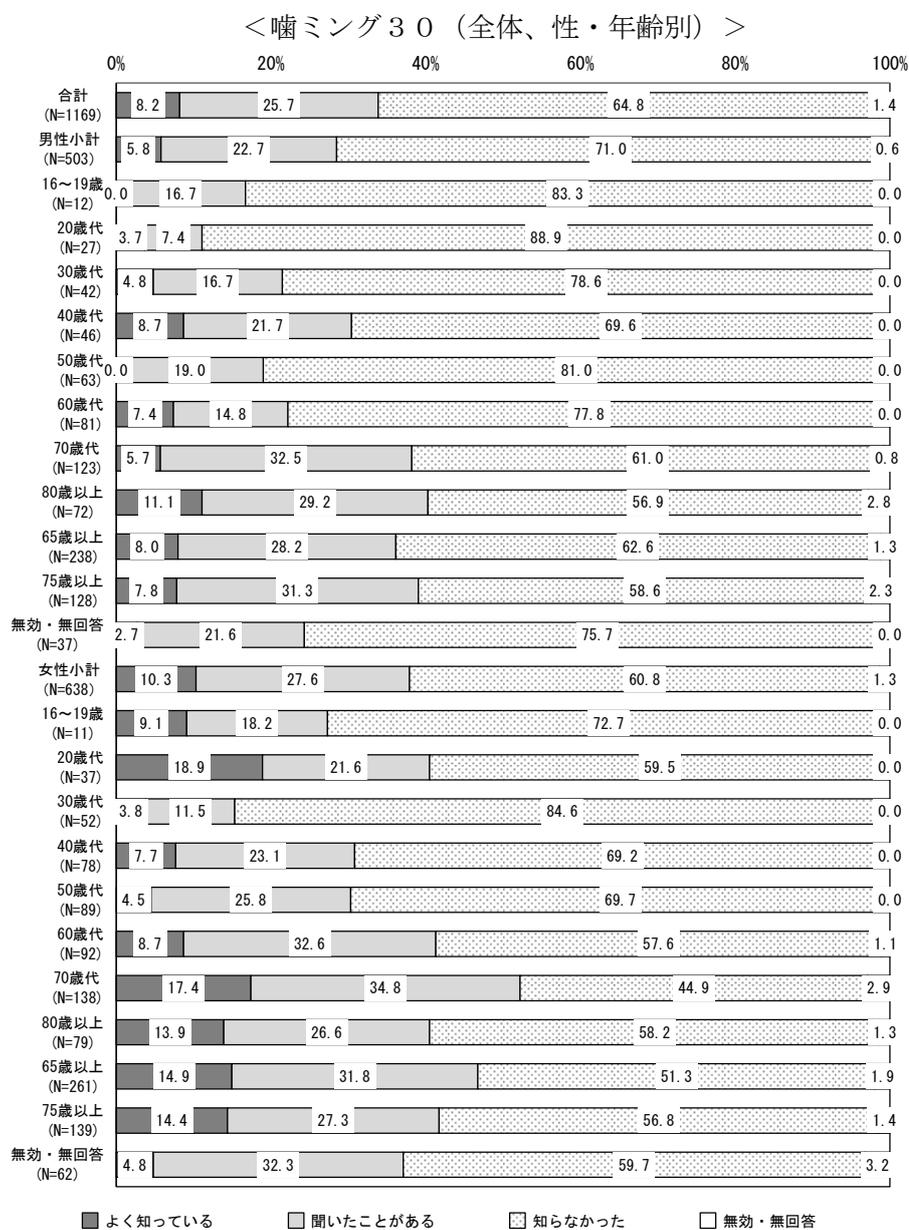
※厚生労働省では、ひと口 30 回以上かんで食べることを目標とする「噛ミング 30 (カミングサンマル)」を提唱しています。

【全体】

「知らなかった」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 25.7%、「よく知っている」の割合が 8.2%となっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」又は「聞いたことがある」の割合が高いのは、男性では 40 歳代、70 歳代、80 歳以上、女性では 20 歳代、40 歳代以上で 3 割を上回っている。



問42 「8020運動※」という言葉を知っていますか。

※「8020（ハチ・マル・ニイ・マル）運動」は、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動で、生涯にわたり自分の歯で食べ、味わい、元気に話すことを目指して、歯と口腔の健康づくりを進めることを意味します。

【全体】

「よく知っている」の割合が35.1%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が31.9%、「聞いたことがある」の割合が31.5%となっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」又は「聞いたことがある」の割合が高いのは、男性では50歳代、70歳代以上、女性では16～19歳と40歳代以上で6割を上回っている。

